

荒尾市子ども・子育て支援事業計画
策定のためのアンケート調査結果報告書

平成31年3月

荒 尾 市

目次

第1部 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の対象	1
3 調査の方法	1
4 調査の期間	1
5 回収結果	1
6 報告書の見方	1
第2部 調査の結果	3
第1章 就学前児童の保護者に対する調査	3
1. お住いの地域について.....	3
2. 宛名のお子さんご家族の状況について.....	5
3. 子育ての環境について.....	8
4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について.....	10
5. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	13
6. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について.....	23
7. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な教育・保育事業の利用希望について.....	26
8. 宛名のお子さんの病気の際の対応について.....	30
9. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について.....	36
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	42
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	44
12. その他、子育て全般について.....	53
第2章 小学校の保護者に対する調査	60
1. お住いの地域について.....	60
2. 宛名のお子さんご家族の状況について.....	62
3. 子育ての環境について.....	65
4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について.....	68
5. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について.....	71
6. 宛名のお子さんの病気の際の対応について.....	73
7. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について.....	78
8. 放課後の過ごし方について.....	82
9. 放課後児童クラブ[学童保育]の利用について.....	83
10. 宛名のお子さんの遊びや地域活動について.....	87
11. 宛名のお子さんにかかわらず、子育て全般について.....	91

第 1 部

調査の概要

1 調査の目的

子育て家庭の実態と子育て支援ニーズ等を把握することによって、今後の子ども・子育て支援施策の充実に活かすとともに「荒尾市子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎資料とするため。

2 調査の対象

(1) 就学前児童の保護者

平成31年1月現在、荒尾市在住の就学前児童の中から無作為抽出した1,500名の保護者。

(2) 小学校児童の保護者

平成31年1月現在、荒尾市在住の小学生の中から無作為抽出した1,500名の保護者。

3 調査の方法

郵送による配布・回収

4 調査の期間

平成31年1月16日（水）から平成31年1月31日（木）まで。

5 回収結果

	配布数	有効回答数	有効回収率
就学児童の保護者	1,500 件	869 件	57.9%
小学生の保護者	1,500 件	821 件	54.7%

6 報告書の見方

- (1) 回答割合は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 複数回答を可とした質問では、回答比率の合計が100.0%を超える。
- (3) グラフやコメントにおいて、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

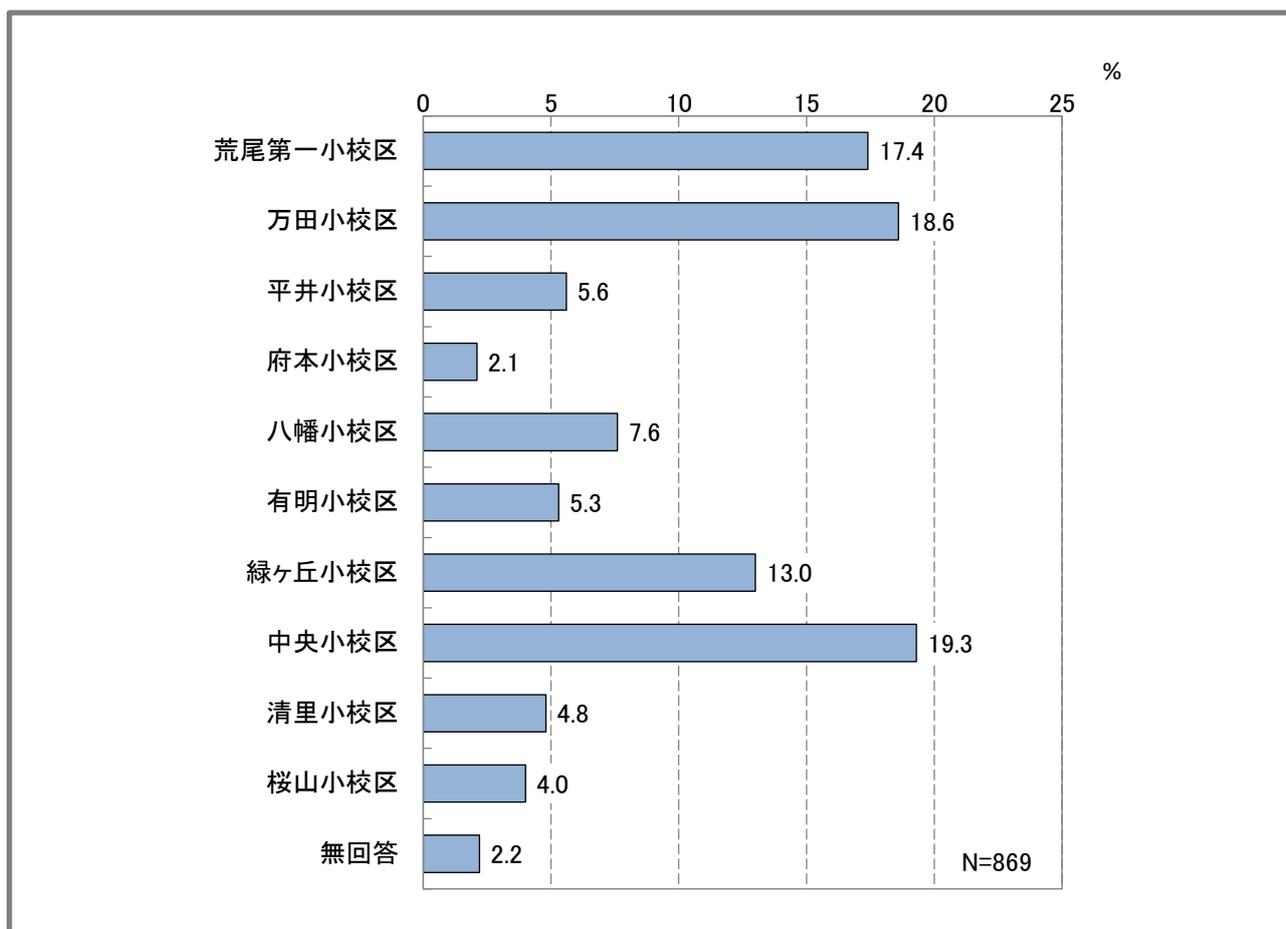
第2部

調査の結果

第1章 就学前児童の保護者に対する調査

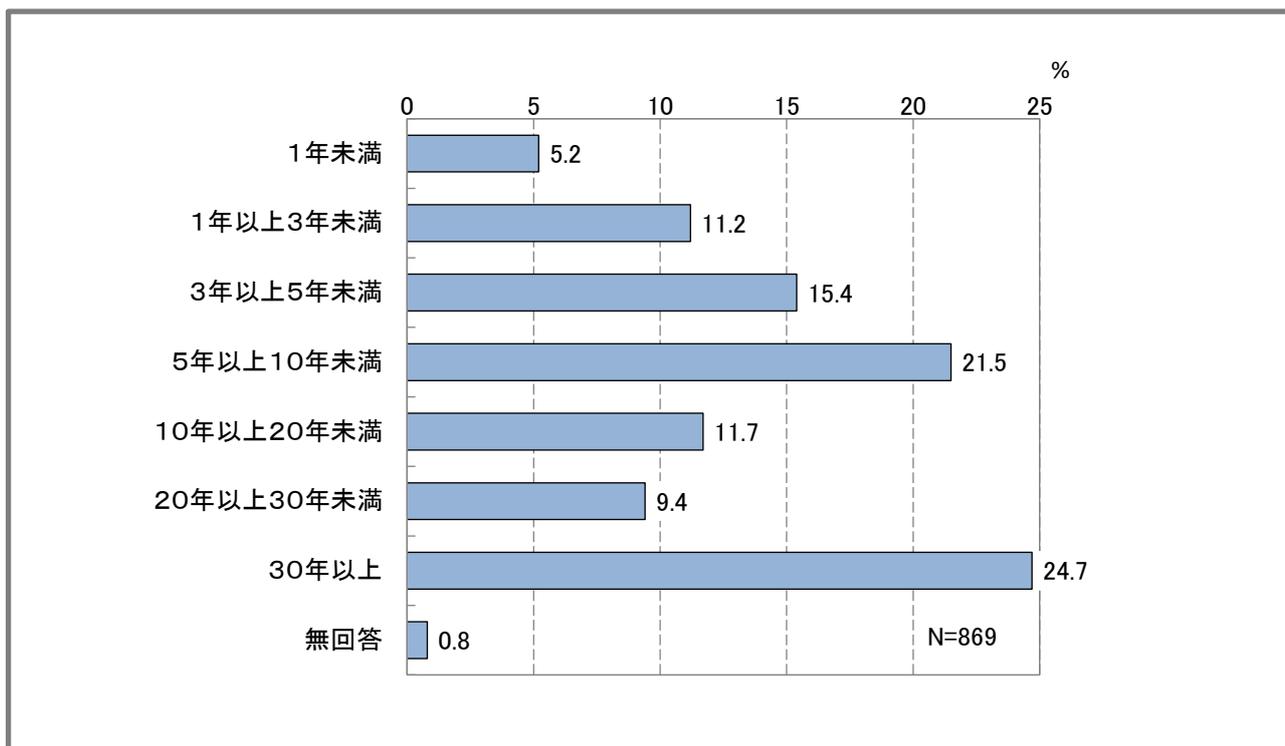
1. お住いの地域について

問1 あなたのお住いの小学校区は次のうちどちらですか。（1つだけ○）



- 居住地区については「中央小校区」の回答割合が19.3%と最も高く、次いで「万田小校区」が18.6%、「荒尾第一小校区」が17.4%となっている。

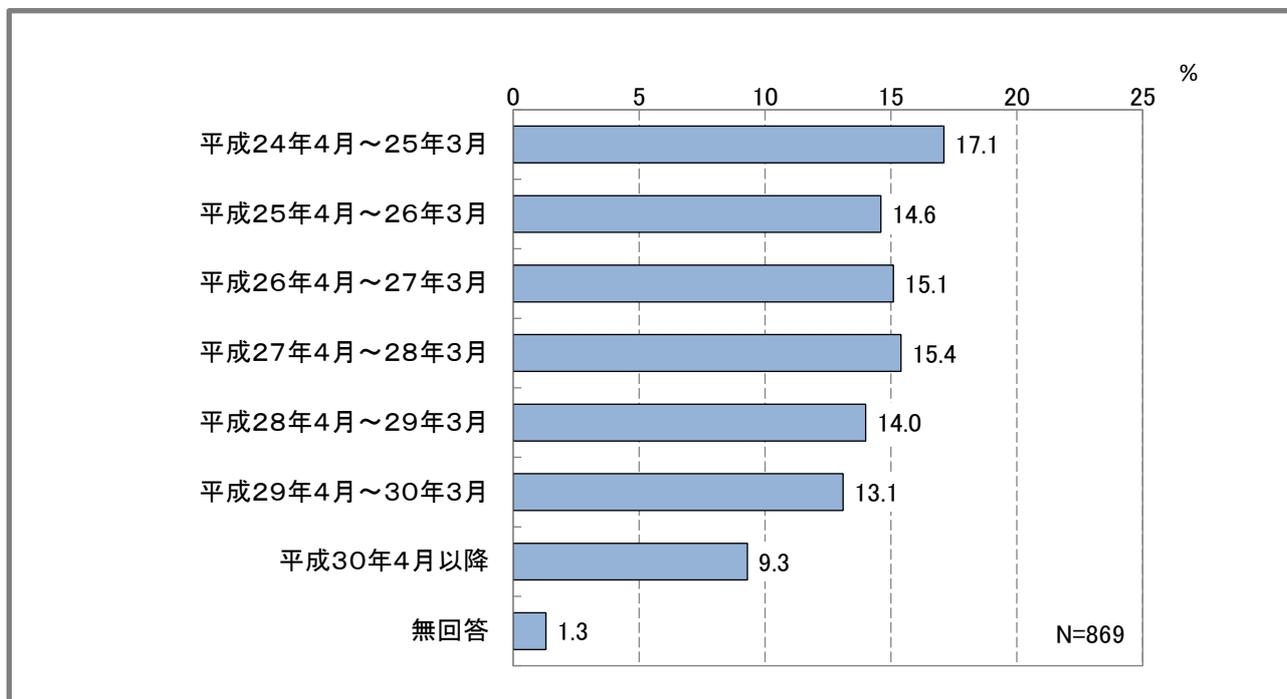
問2 あなたは荒尾市に住んで何年になりますか。（1つだけ○）



- 居住年数については「30年以上」の回答割合が24.7%と最も高く、次いで「5年以上10年未満」が21.5%、「3年以上5年未満」が15.4%となっている。

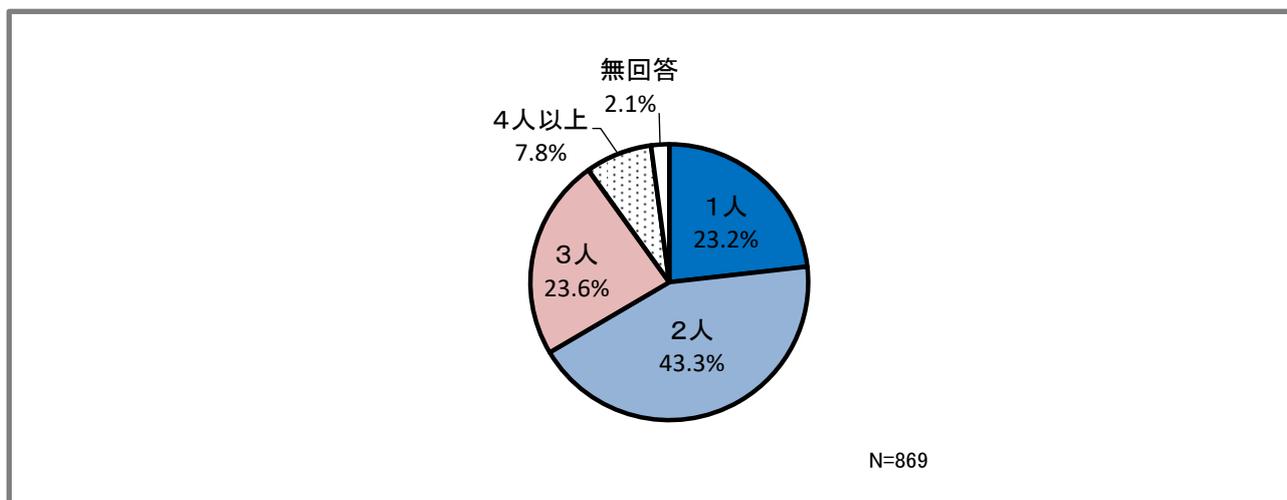
2. 宛名のお子さんご家族の状況について

問3 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。



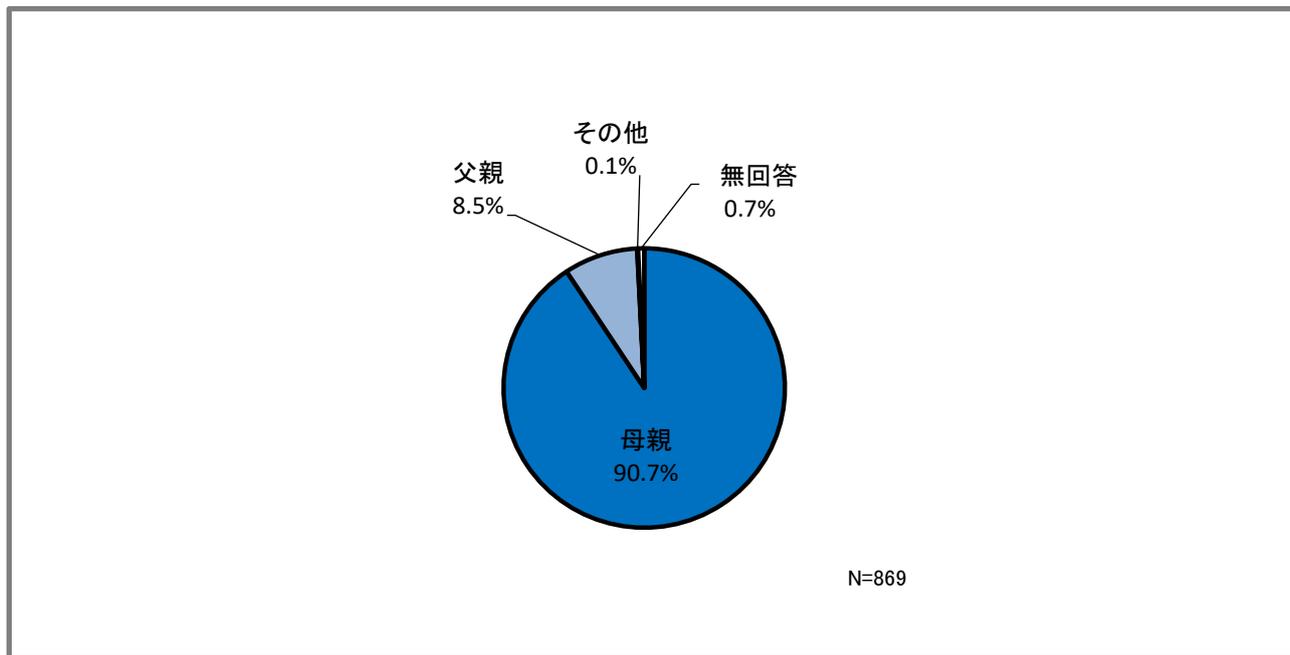
- 子どもの年齢別比率については「平成24年4月～25年3月」の回答割合が17.1%と最も高く、次いで「平成27年4月～28年3月」が15.4%、「平成26年4月～27年3月」が15.1%となっている。

問4 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。



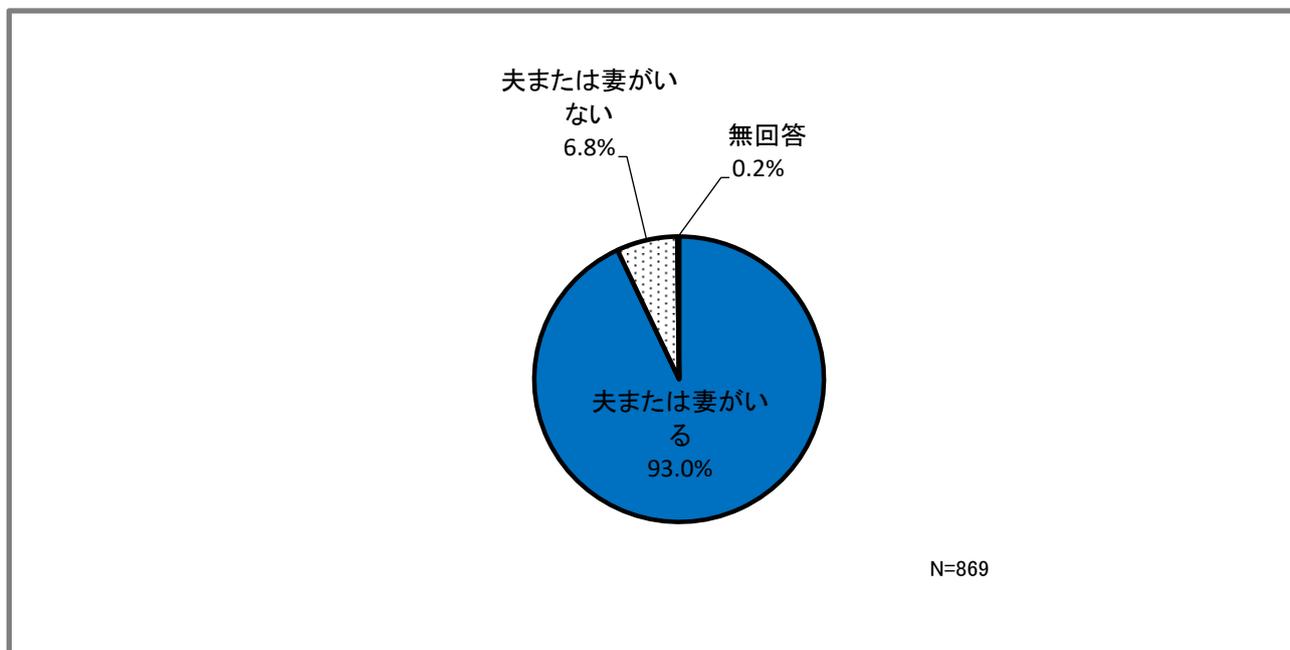
- 対象児童を含む子どもの数については「2人」の回答割合が43.3%と最も高く、次いで「3人」が23.6%、「1人」が23.2%となっている。

問5 このアンケートにご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。（1つだけ○）



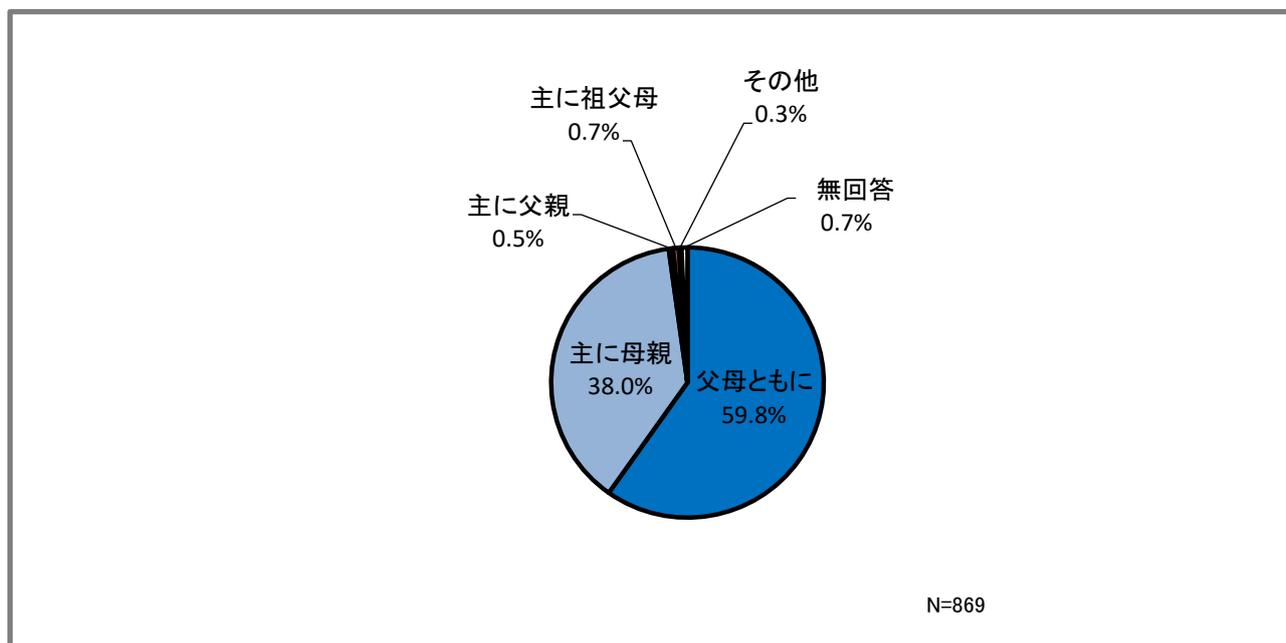
- 回答者については「母親」が90.7%、「父親」が8.5%となっている。

問6 このアンケートにご回答いただいている方についてお答えください。（1つだけ○）



- 回答者の配偶関係については「夫または妻がいる」が93.0%、「夫または妻がない」が6.8%となっている。

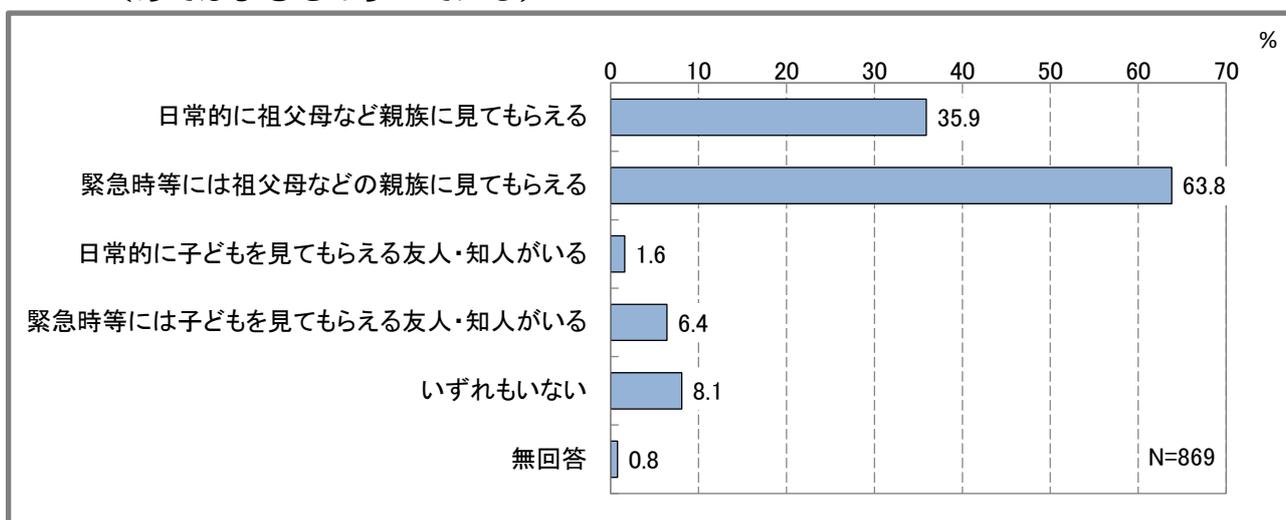
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係であてはまる番号1つに○をつけてください。



- 子どもの子育てについては「父母ともに」行っていると回答割合が 59.8%と最も高く、次いで「主に母親」が 38.0%、「主に祖父母」が 0.7%となっている。

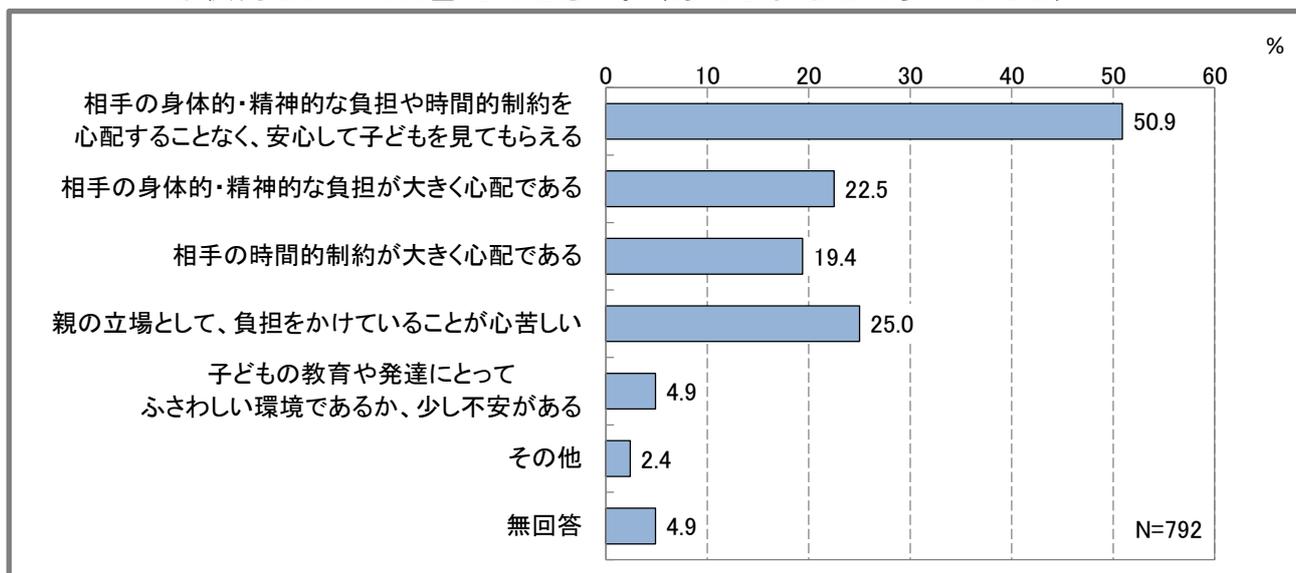
3. 子育ての環境について

問8 日頃、宛名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。
（あてはまるものすべてに○）



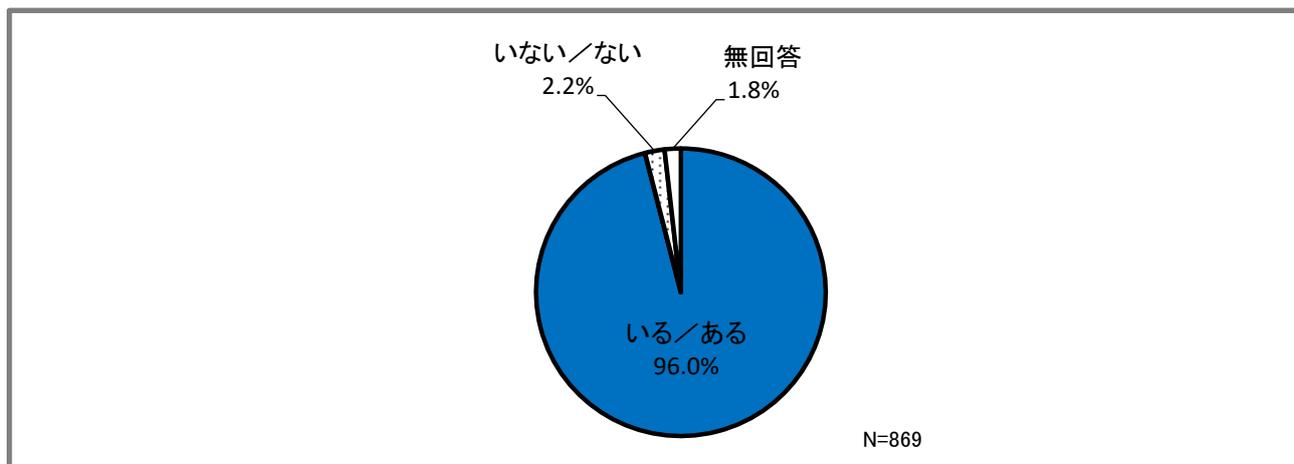
- 子どもを預かってもらえるかについては「緊急時等には祖父母などの親族に見てもらえる」の回答割合が63.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母など親族に見てもらえる」が35.9%、「いずれもない」が8.1%となっている。

問8-1 問8で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。お子さんを見てもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）



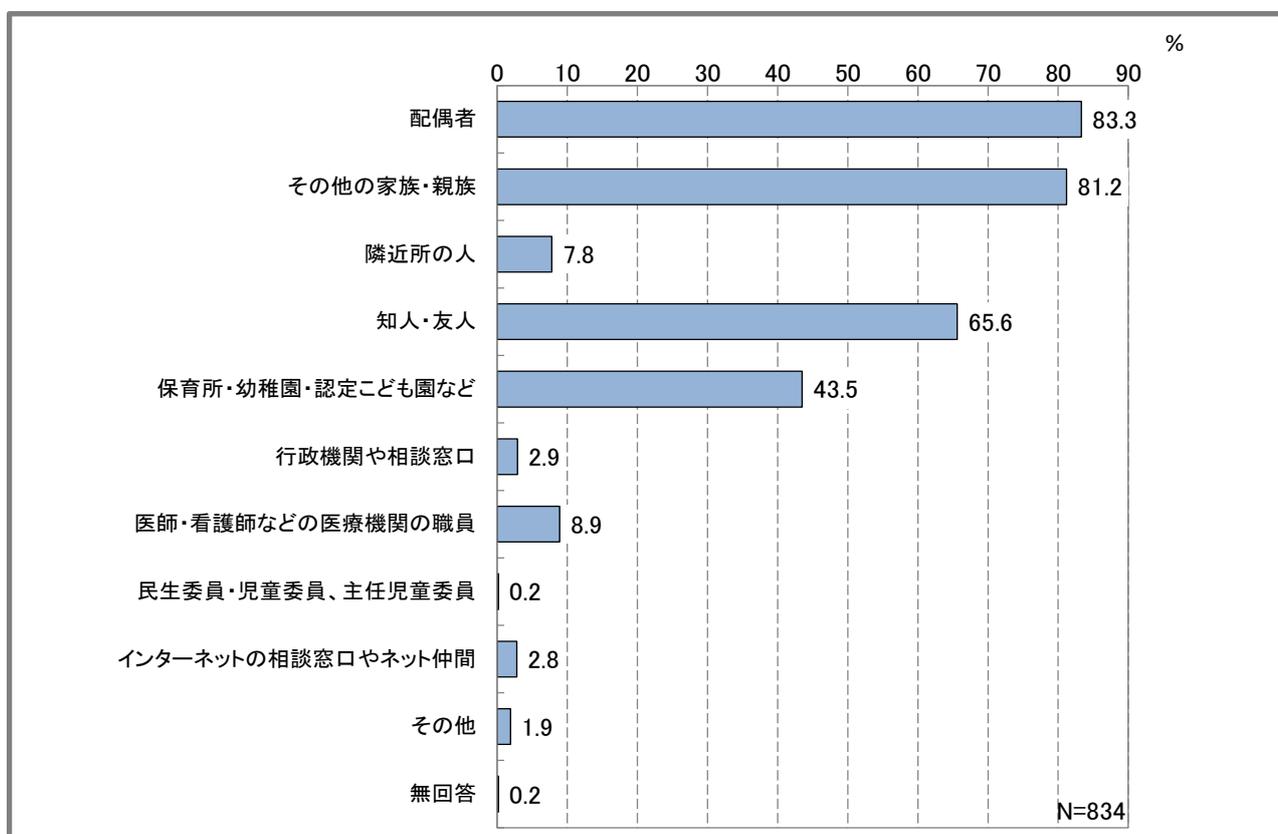
- 親族・知人に子どもを預かってもらえる人のうち、その状況については「相手の身体、精神的負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」の回答割合が50.9%と最も高く、次いで「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が25.0%、「相手の身体的・精神的な負担が大きく心配である」が22.5%となっている。

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。（1つだけ○）



- 子育てについて気軽に相談できる人や場所については「いる／ある」が 96.0%、「いない／ない」が 2.2%となっている。

問9-1 問9で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

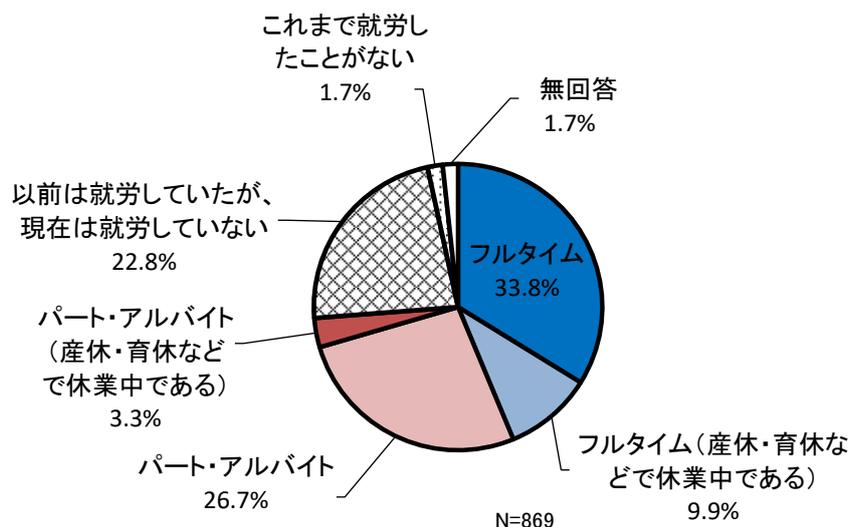


- 子育てに関する相談先については「配偶者」の回答割合が 83.3%と最も高く、次いで「その他の家族・親族」が 81.2%、「知人・友人」が 65.6%となっている。

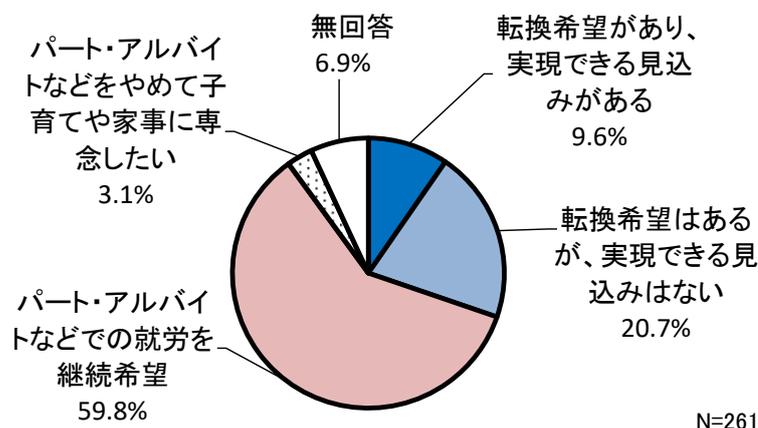
4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親【父子家庭の場合は記入不要】

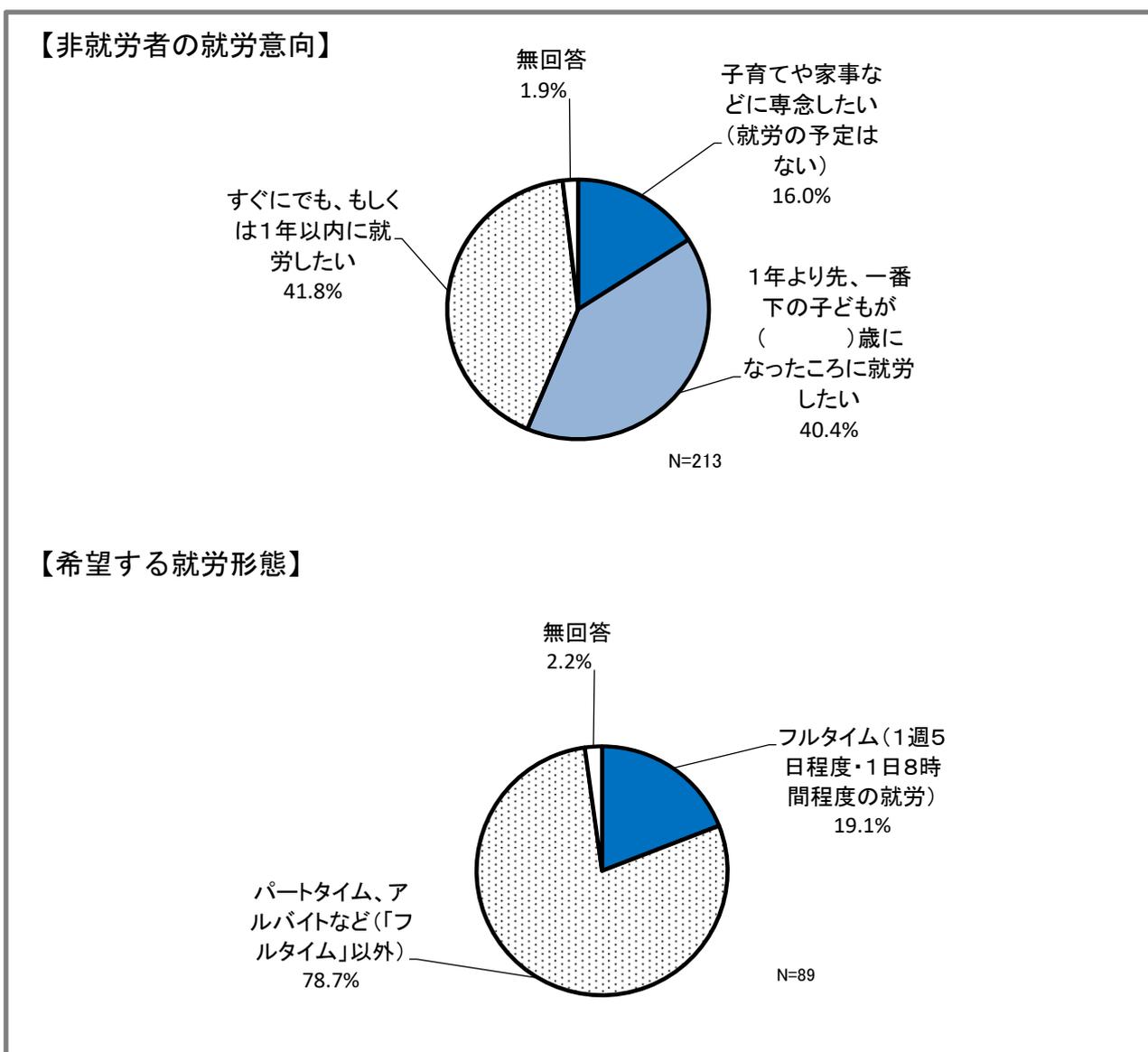


【パート・アルバイトなどの方のフルタイムへの転換希望】



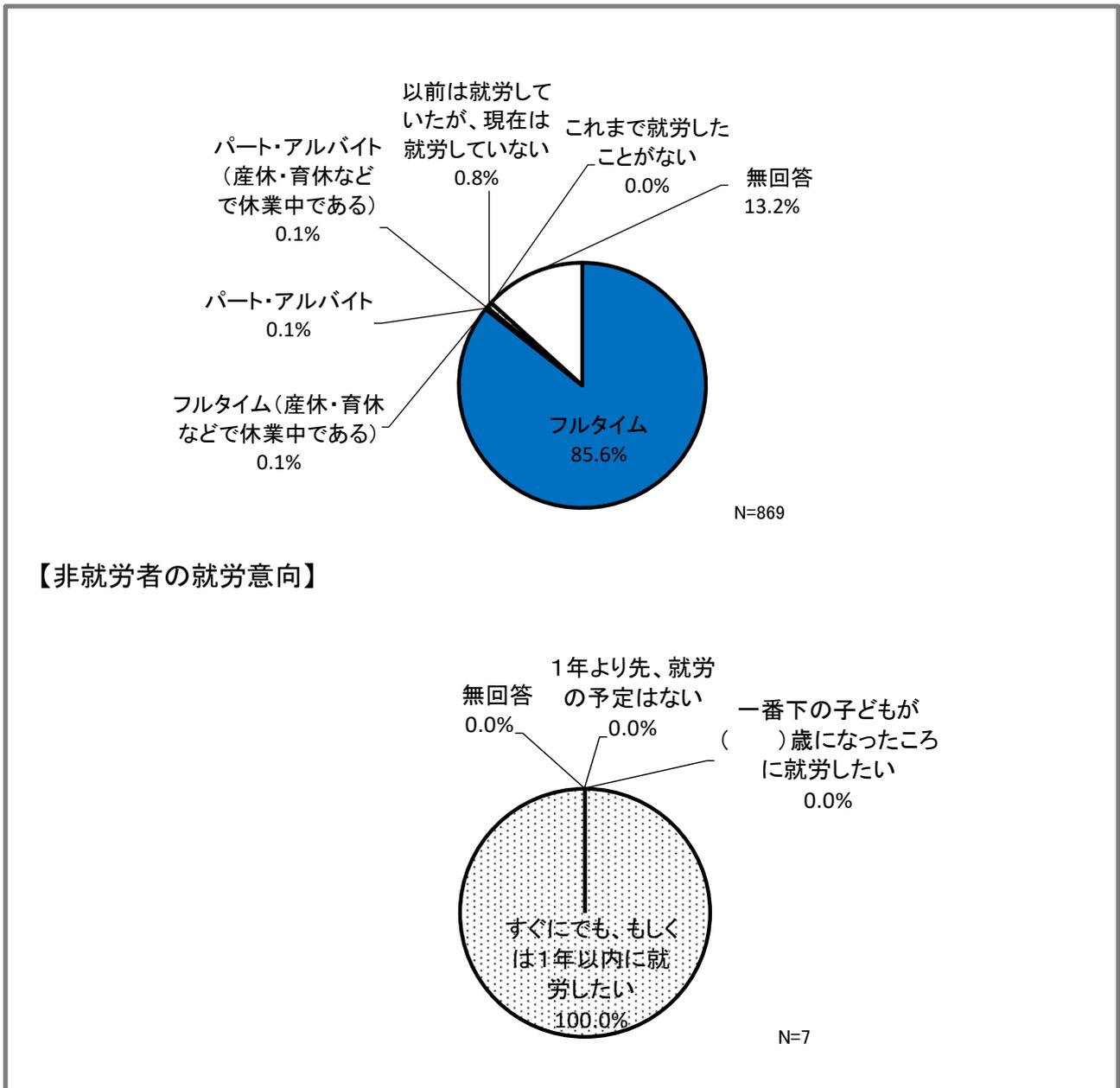
- 母親の就労状況については「フルタイム」の回答割合が33.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が26.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が22.8%となっている。
- パート・アルバイトなどで就労していると回答した人のうち、フルタイムへの転換希望については「パート・アルバイトなどでの就労を継続希望」の回答割合が59.8%と最も高く、「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が20.7%、「転換希望があり、実現できる見込みがある」が9.6%となっている。

（1）母親【父子家庭の場合は記入不要】



- 現在就労していない母親の就労希望については「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が41.8%、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が40.4%となっており、就労していない母親の82.2%に就労希望のあることがわかる。
- 就労希望があると回答した人のうち、希望する就労形態については「パートタイム、アルバイトなど(「フルタイム」以外)」が78.7%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が19.1%となっている。

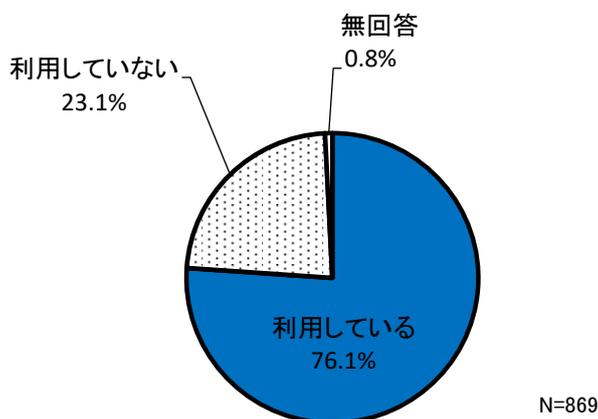
（2）父親【母子家庭の場合は記入不要】



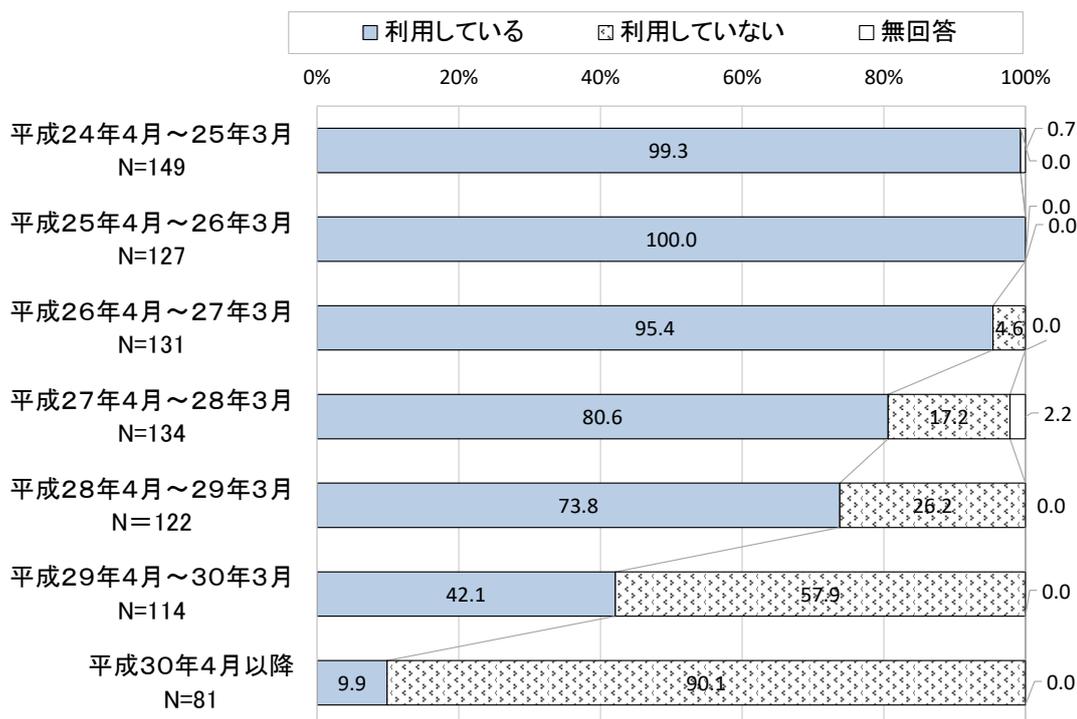
- 父親の就労状況については「フルタイム」の回答割合が85.6%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.8%、「フルタイムで就労しているが、育休などで休業中である」が0.1%となっている。
- 現在就労していない父親については「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が100.0%となっている。

5. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問11 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（1つだけ〇）

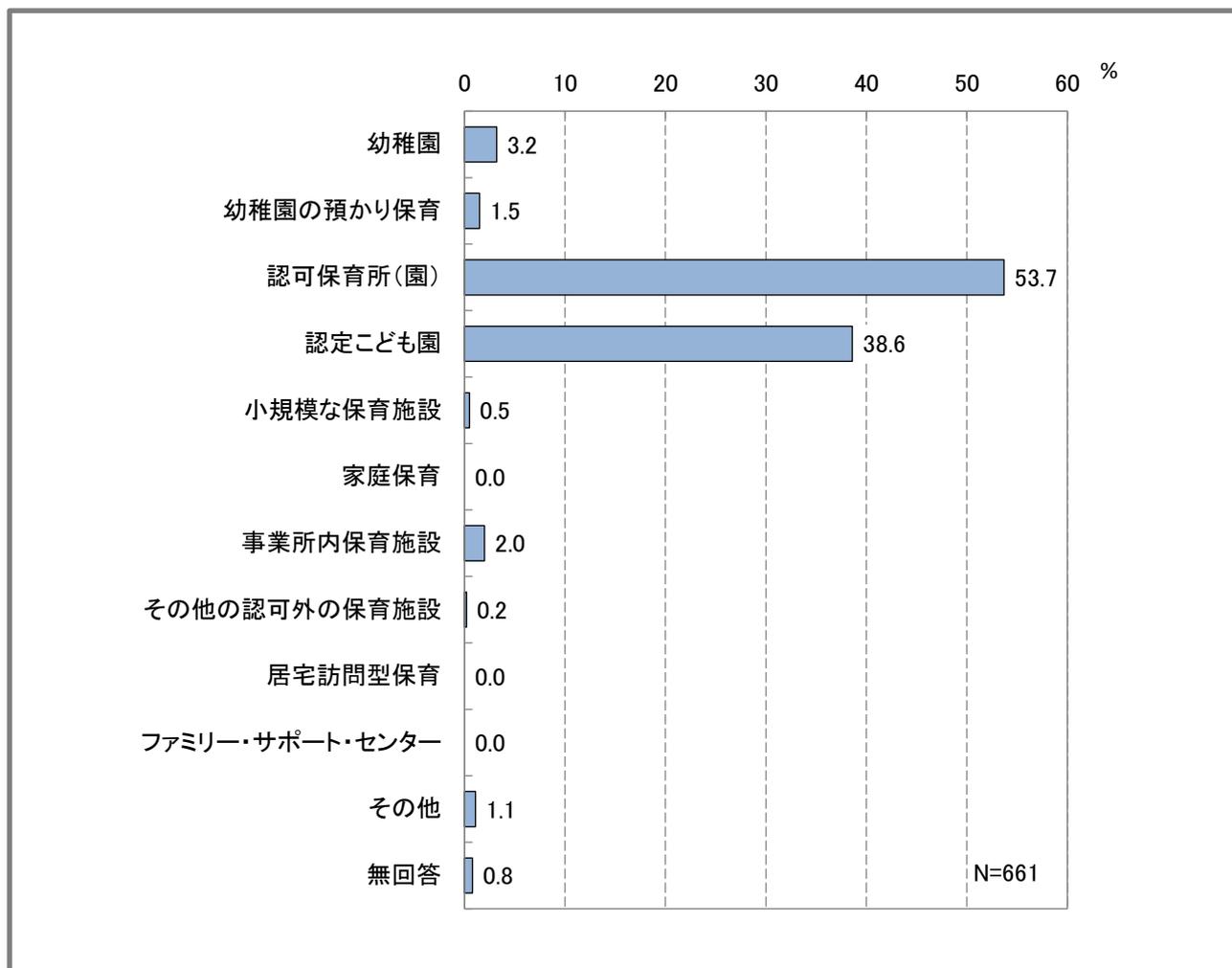


【年齢階層別クロス集計】



- 「定期的な教育・保育の事業」については「利用している」が76.1%、「利用していない」が23.1%となっており、子どもの年齢が高くなるにつれて「利用している」という回答割合も高くなっている。

問1 1-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

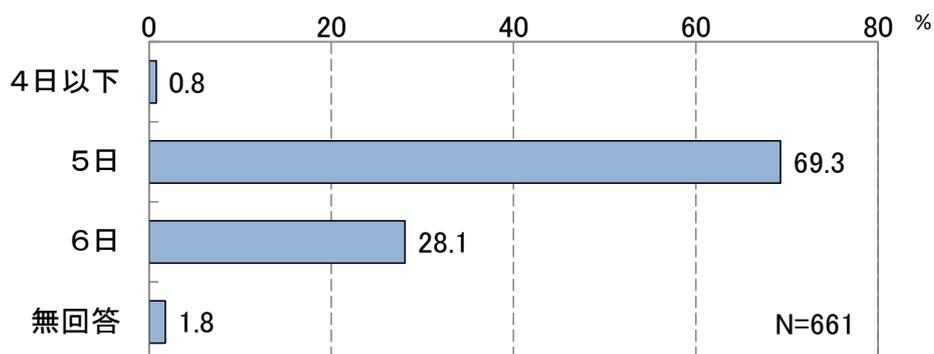


- 教育・保育の事業の利用者のうち「定期的に」利用している事業については「認可保育所(園)」の回答割合が53.7%と最も高く、次いで「認定こども園」が38.6%、「幼稚園」が3.2%となっている。

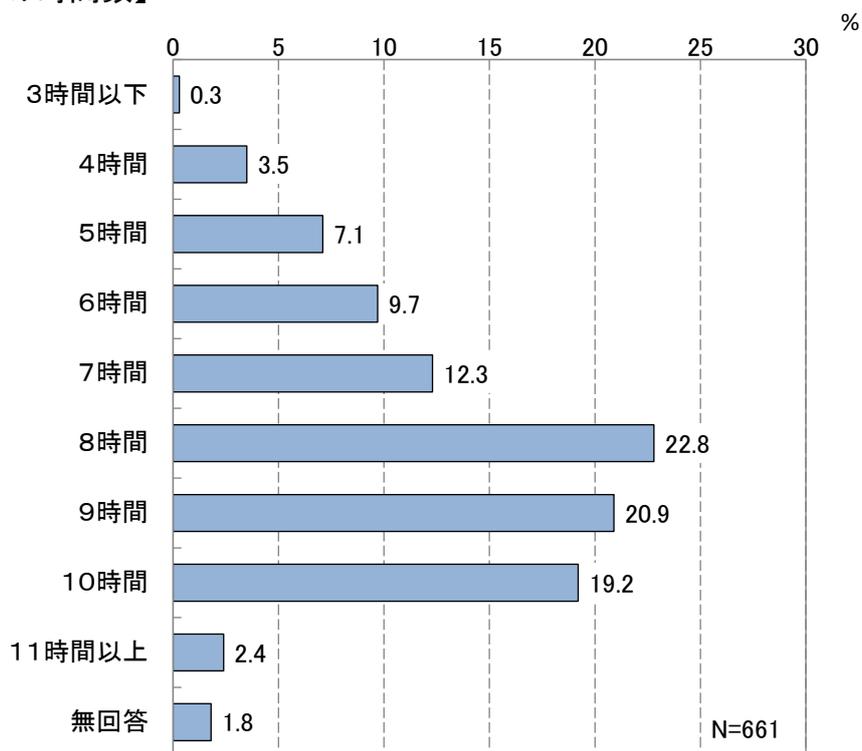
問1 1-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かを、（ ）内に具体的な数字でご記入ください。

（1）現在

【1週当たりの日数】

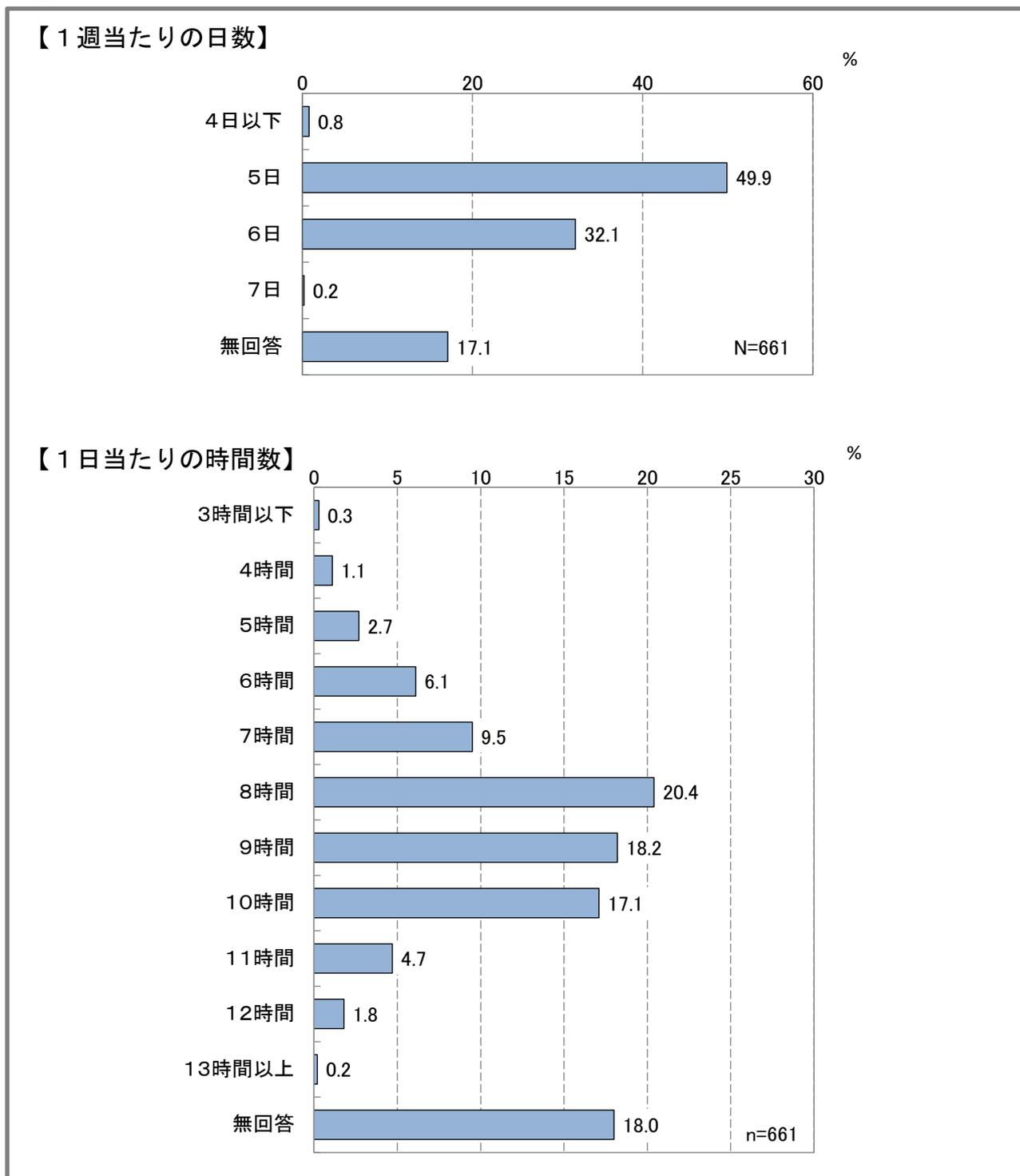


【1日当たりの時間数】



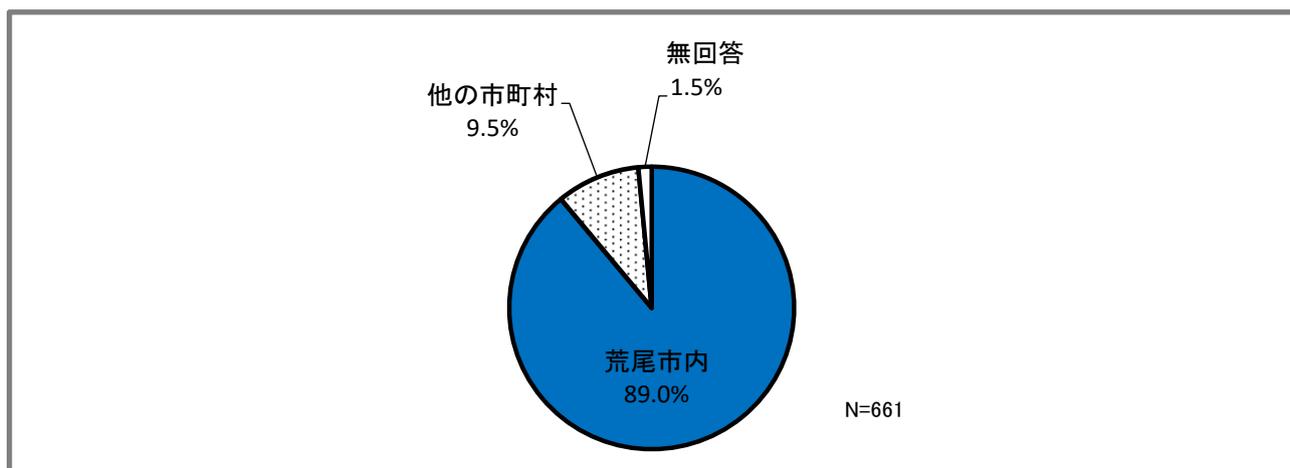
- 教育・保育の事業の利用状況については1週あたり「5日」の回答割合が69.3%と最も高く、次いで「6日」が28.1%、「4日以下」が0.8%となっている。
- また1日あたり「8時間」の回答割合が22.8%と最も高く、次いで「9時間」が20.9%、「10時間」が19.2%となっている。

(2) 希望



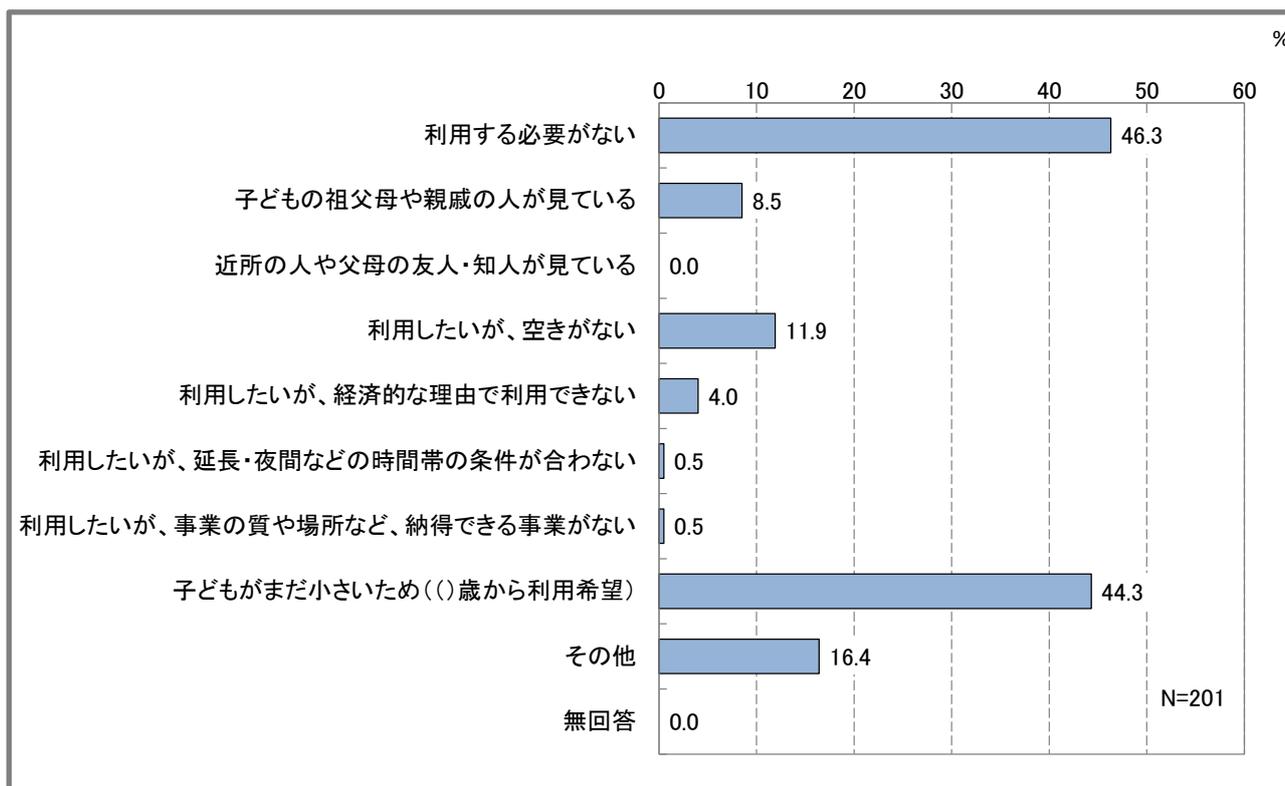
- 教育・保育事業の利用希望については1週当たり「5日」の回答割合が49.9%と最も高く、次いで「6日」が32.1%、「4日以下」が0.8%となっている。
- また1日当たり「8時間」の回答割合が20.4%と最も高く、次いで「9時間」が18.2%、「10時間」が17.1%となっている。

問1 1-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。



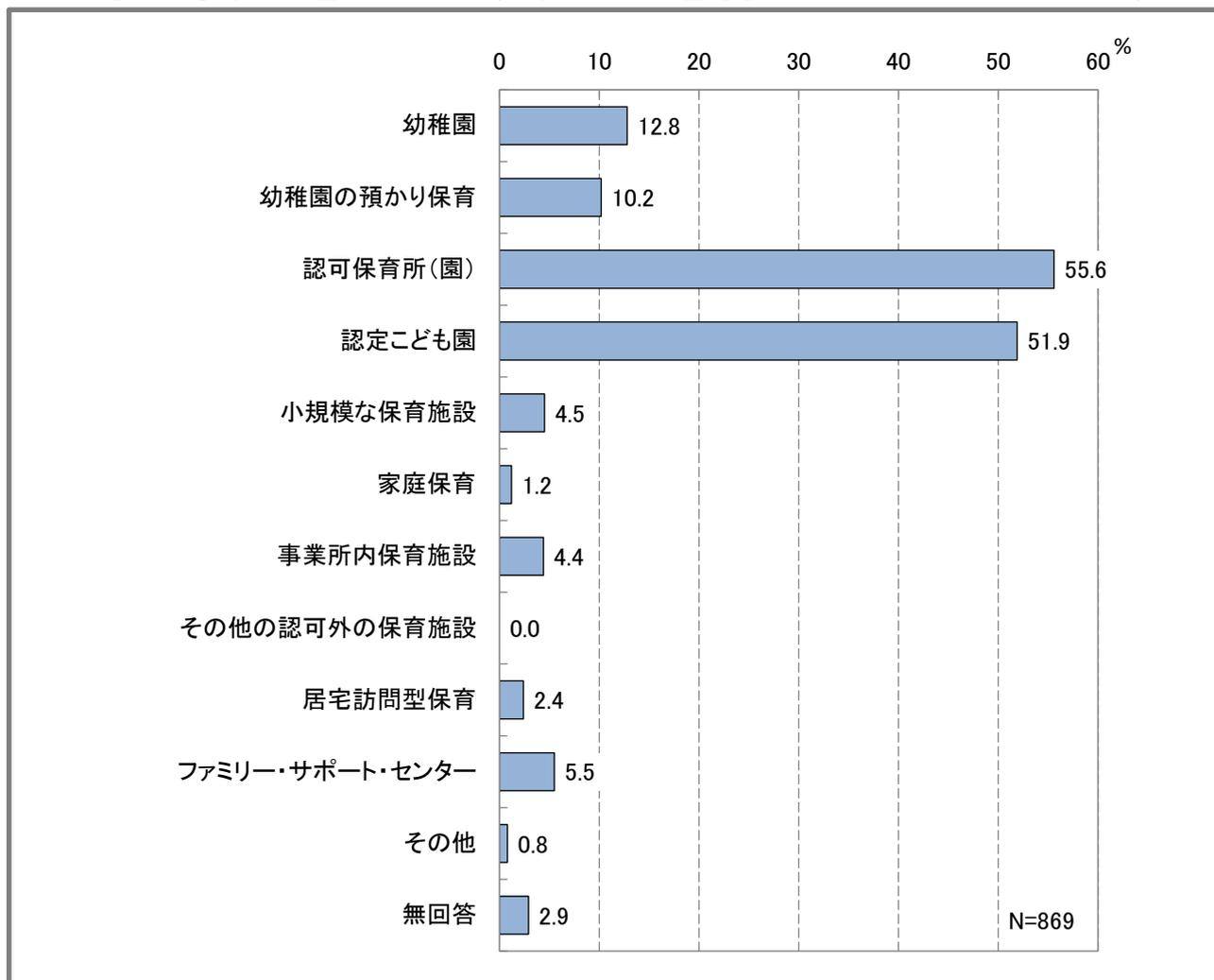
- 現在、利用している教育・保育事業の実施場所については「荒尾市内」が 89.0%、「他の市町村」が 9.5%となっている。

問1 1-4 問1 1で「2.利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。



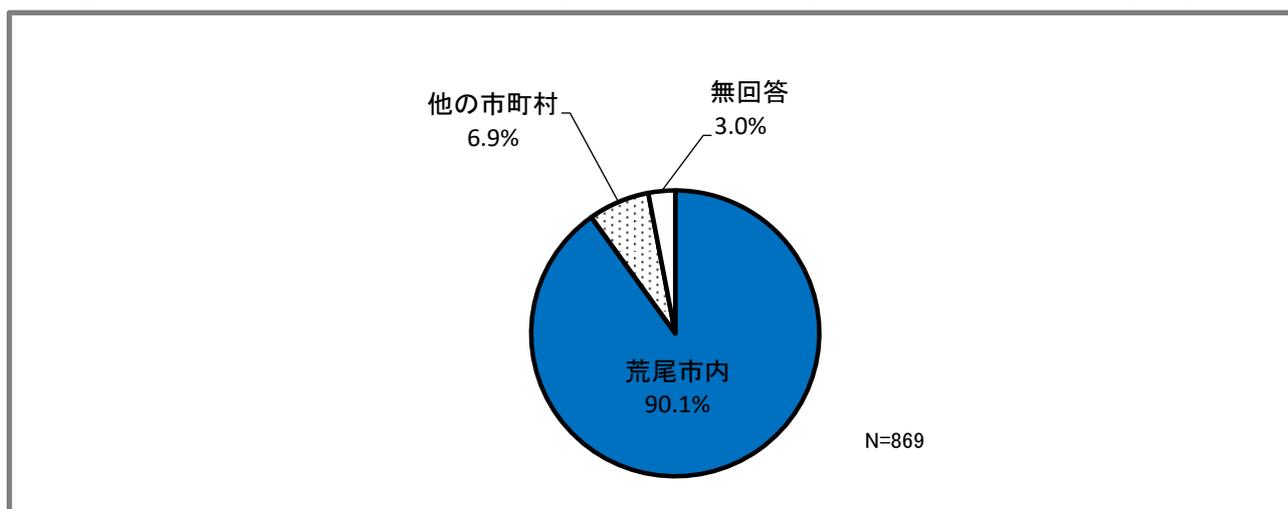
- 「定期的な教育・保育の事業」を利用していない方のうち、その理由については「利用する必要がない」の回答割合が 46.3%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため（ ）歳から利用希望」が 44.3%、「その他」16.4%となっている。

問12 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の日中の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



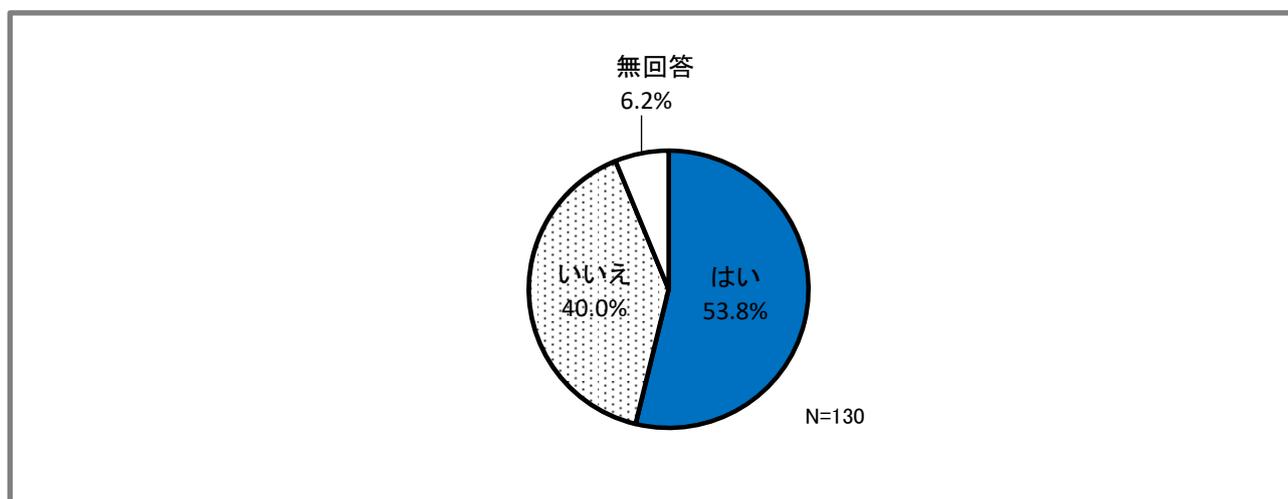
- 現在の利用状況に関わらず、平日の日中の教育・保育時の事業として「定期的に」利用したいと考える事業については「認可保育所（園）」の回答割合が 55.6%と最も高く、次いで「認定こども園」が 51.9%、「幼稚園」が 12.8%となっている。

問12-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。（1つだけ○）



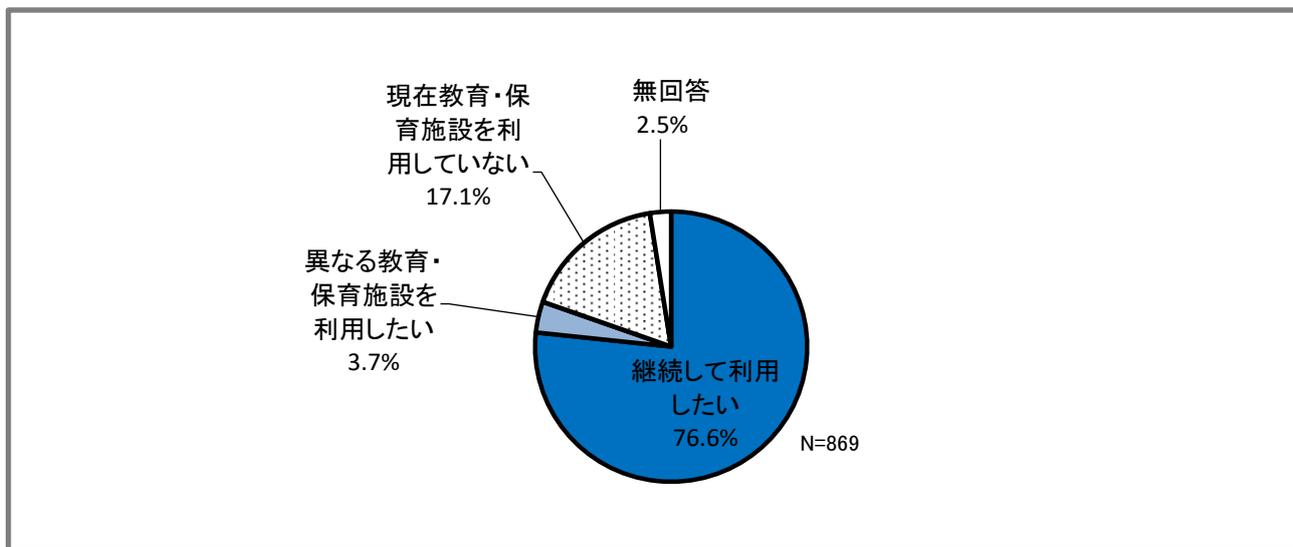
- 教育・保育事業を利用したい場所については「荒尾市内」が90.1%、「他の市町村」6.9%となっている。

問12-2 問12で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園預かり保育」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育を合わせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（1つだけ○）



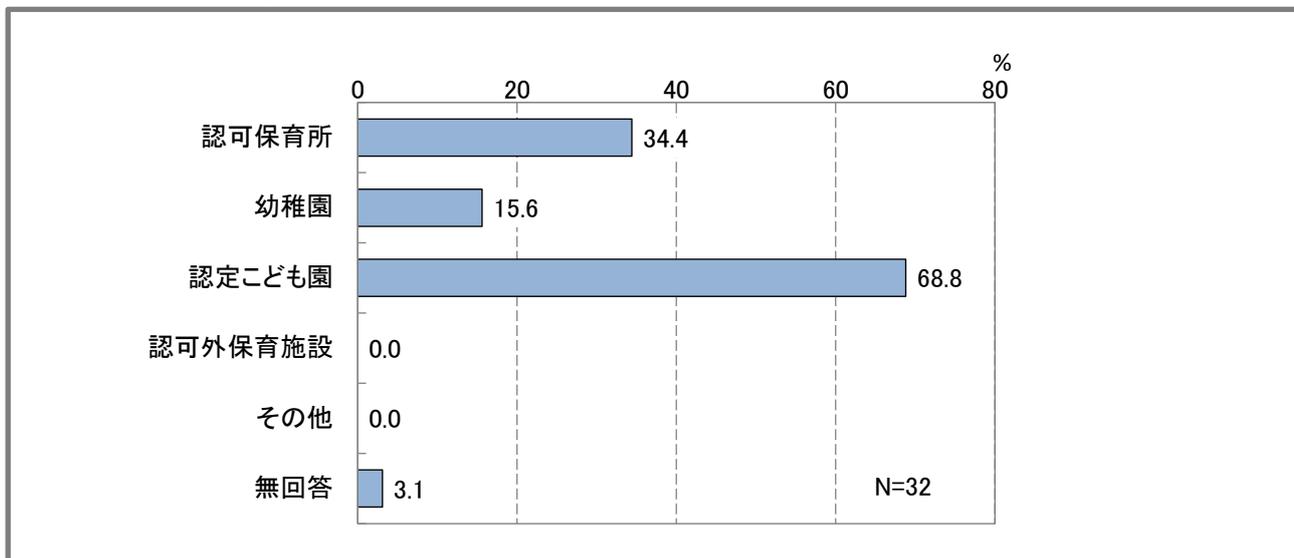
- 「定期的に」利用したいと考える事業について「幼稚園」または「幼稚園預かり保育」を含めて他の事業も複数回答された方のうち、特に幼稚園の利用を強く希望するかについて「はい」が53.8%、「いいえ」が40.0%となっている。

問13 幼児教育・保育無償化が実施された場合、現在利用している教育・保育施設を継続して利用したいですか。それとも、異なる教育・保育施設を利用したいですか。（1つだけ○）



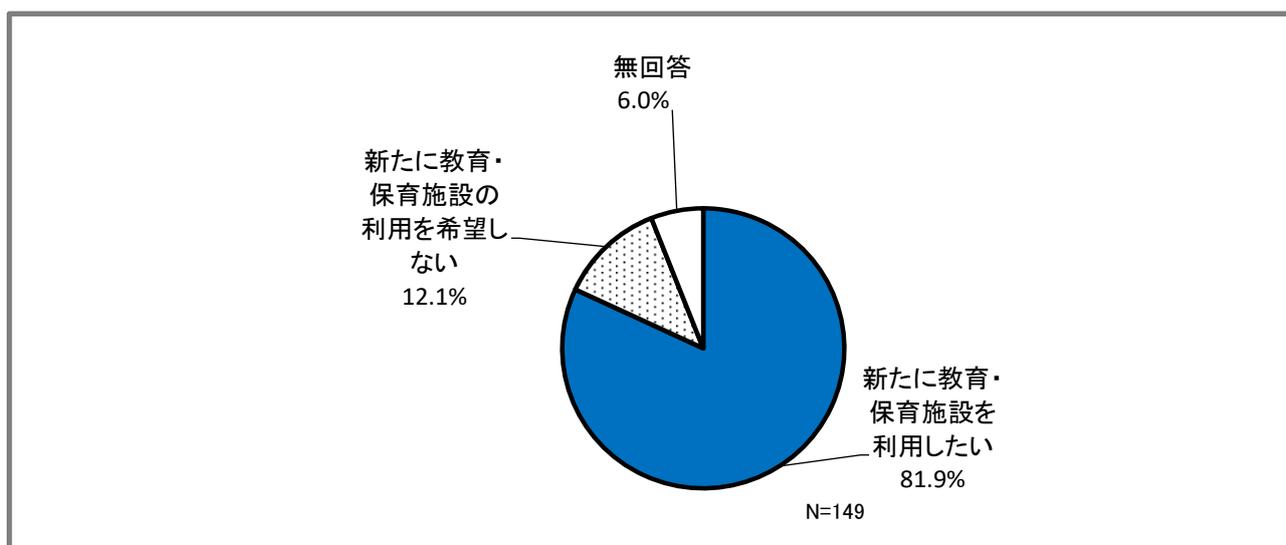
- 幼児教育・保育無償化が実施された場合、現在利用している教育・保育施設を継続して利用したいかについては「継続して利用したい」の回答割合が76.6%と最も高く、次いで「現在教育・保育施設を利用していない」が17.1%、「異なる教育・保育施設を利用したい」が3.7%となっている。

問13-1 問13で「2. 異なる教育・保育施設を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。幼児教育・保育の無償化が実施された場合、利用を希望する施設はどれですか。申し込みの希望が叶う前提でお答えください。（あてはまるものすべてに○）



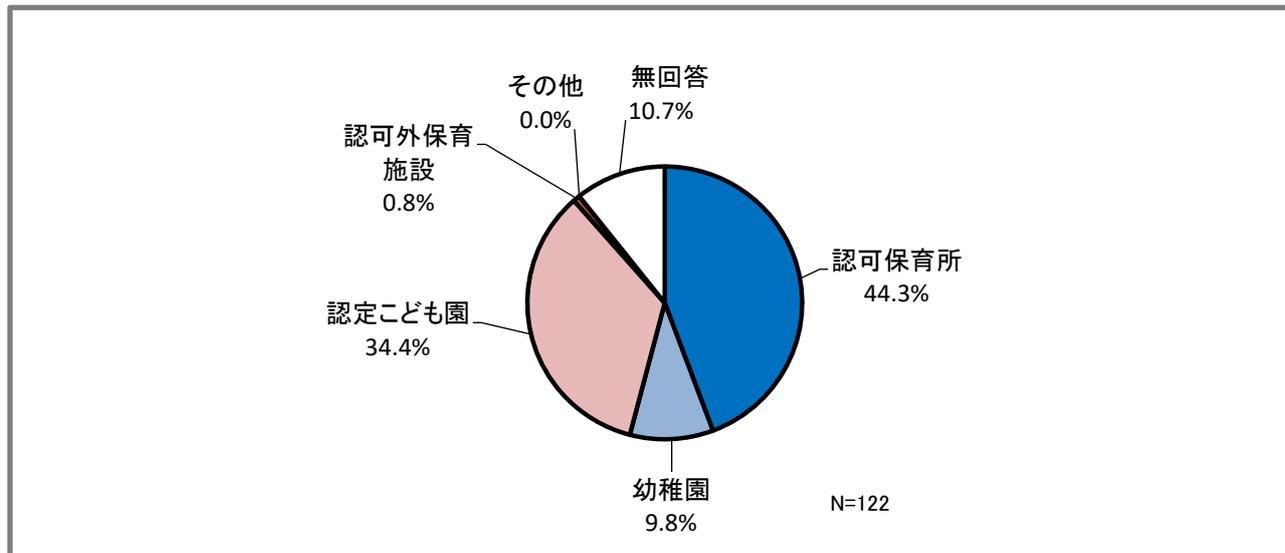
- 現在利用している事業とは「異なる教育・保育施設を利用したい」と回答した方のうち、利用を希望する施設については「認定こども園」の回答割合が68.8%と最も高く、次いで「認可保育所」が34.4%、「幼稚園」が15.6%となっている。

問13-2 問13で「3. 現在教育・保育施設を利用していない」に○をつけた方にうかがいます。幼児教育・保育の無償化が実施された場合、新たに教育・保育施設の利用を希望しますか。（1つだけ○）



- 現在教育・保育施設を利用していない方のうち、幼児教育・保育の無償化が実施された場合、新たに教育・保育施設の利用を希望するかについては「新たに教育・保育施設を利用したい」が81.9%、「新たに教育・保育施設の利用を希望しない」が12.1%となっている。

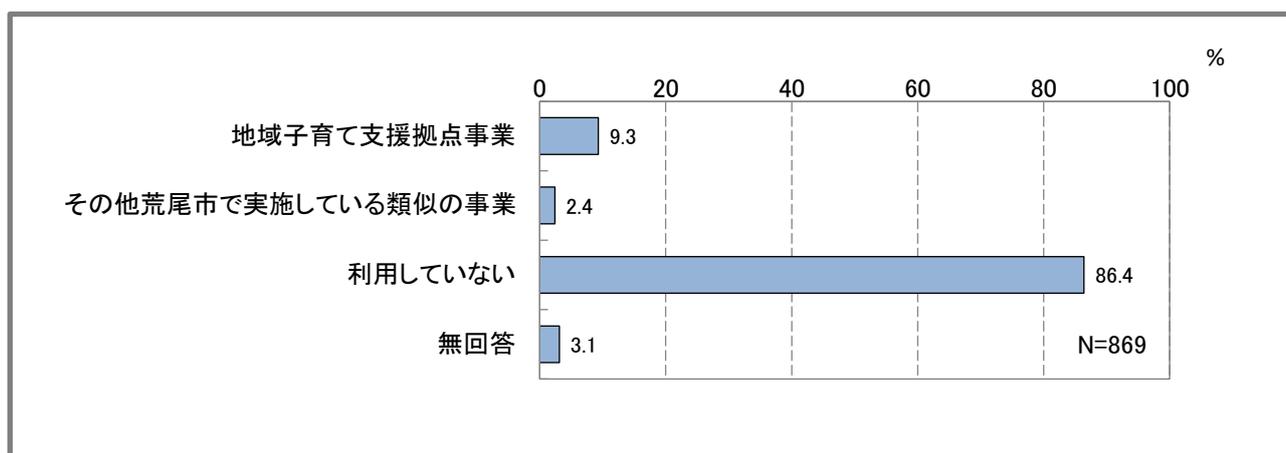
問13-3 問13-2で「1. 新たに教育・保育施設を利用したい」に○をつけた方にかがいます。どの教育・保育施設を利用されたいですか。（1つだけ○）



- 新たに教育・保育施設を利用したい方のうち、利用したい事業については「認可保育所」の回答割合が44.3%と最も高く、次いで「認定こども園」が34.4%、「幼稚園」が9.8%となっている。

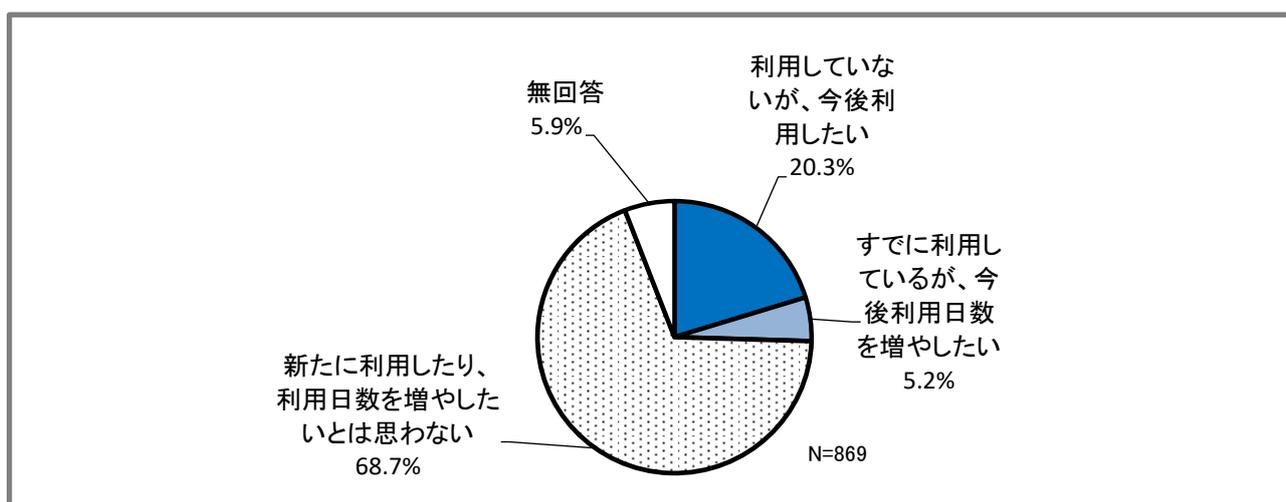
6. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問14 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」「つどいの広場」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください



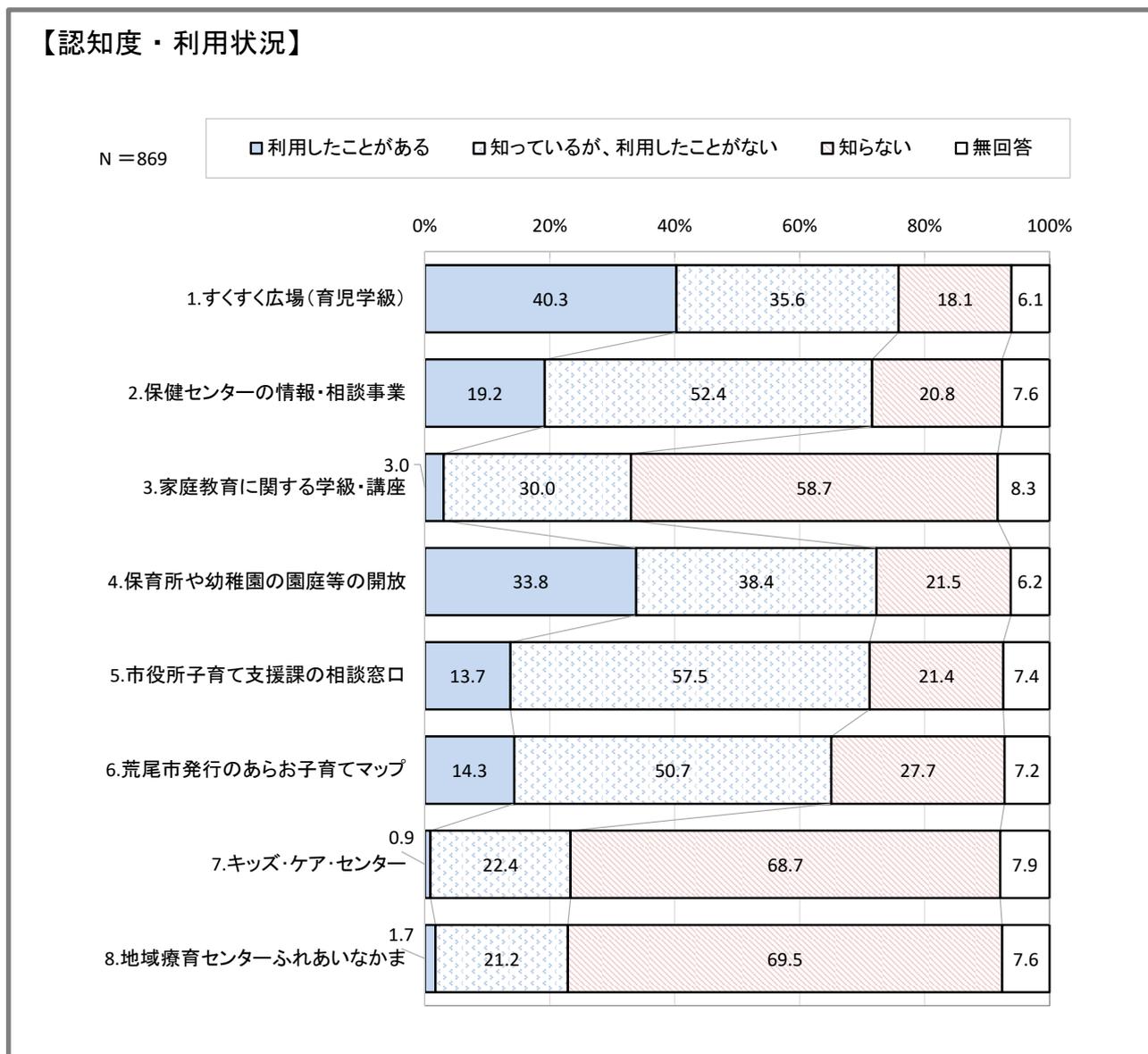
- 現在、地域子育て支援拠点事業を利用しているかについて「利用していない」が86.4%、「地域子育て支援拠点事業」が9.3%となっている。

問15 問14のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。



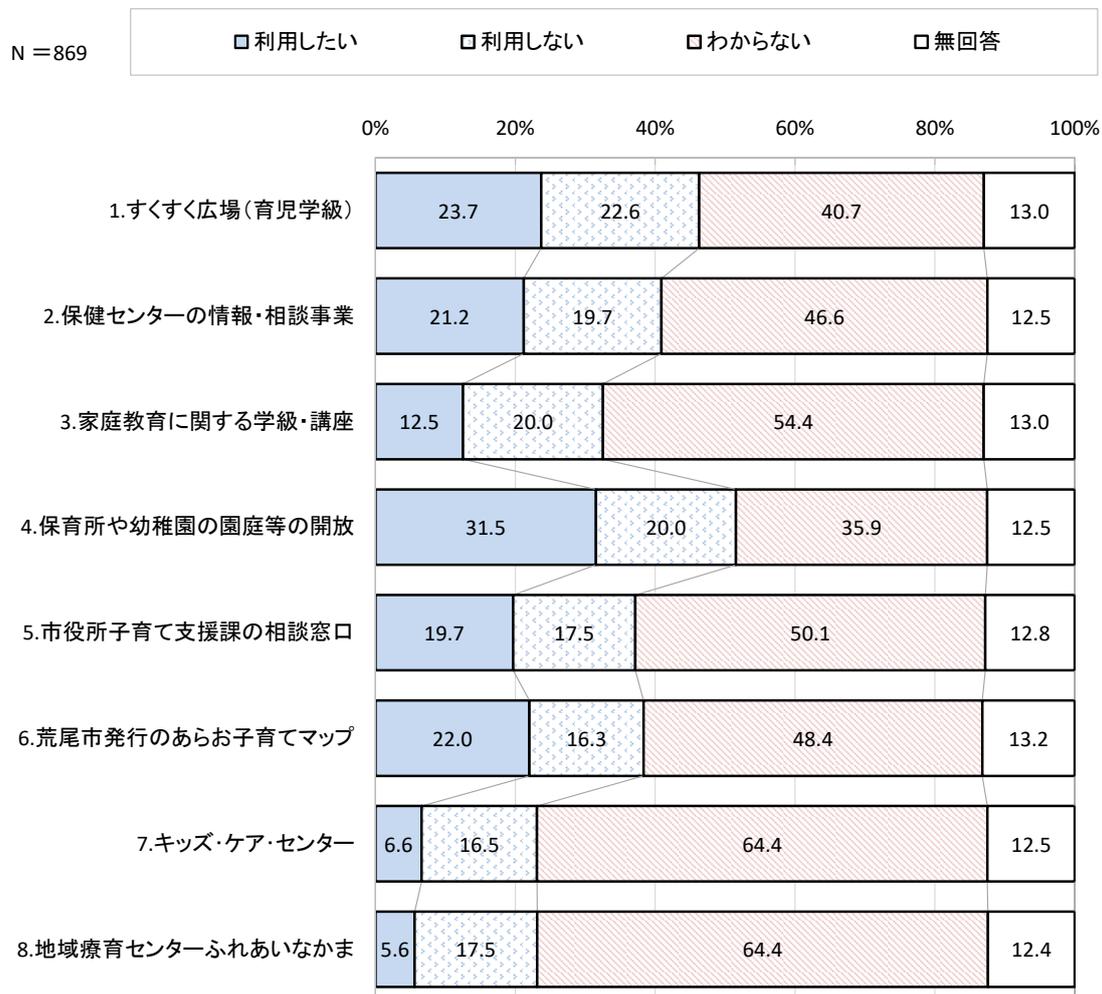
- 地域子育て支援拠点事業の利用について「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の回答割合が68.7%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が20.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が5.2%となっている。

問16 下記の支援サービスをこれまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。それぞれのサービスごとにあてはまるものを選んでください。



- 8つの支援サービスのうち、「利用したことがある」と回答した人の割合が最も高かったのは、「すくすく広場(育児学級)」(40.3%)で、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」(33.8%)がそれに続いている。
- 認知度が最も低かったのは「地域療育センターふれあいなかま」で、69.5%の人が「知らない」と回答しており、「キッズ・ケア・センター」(68.7%)や「家庭教育に関する学級・講座」(58.7%)も「知らない」という回答が多くなっている。

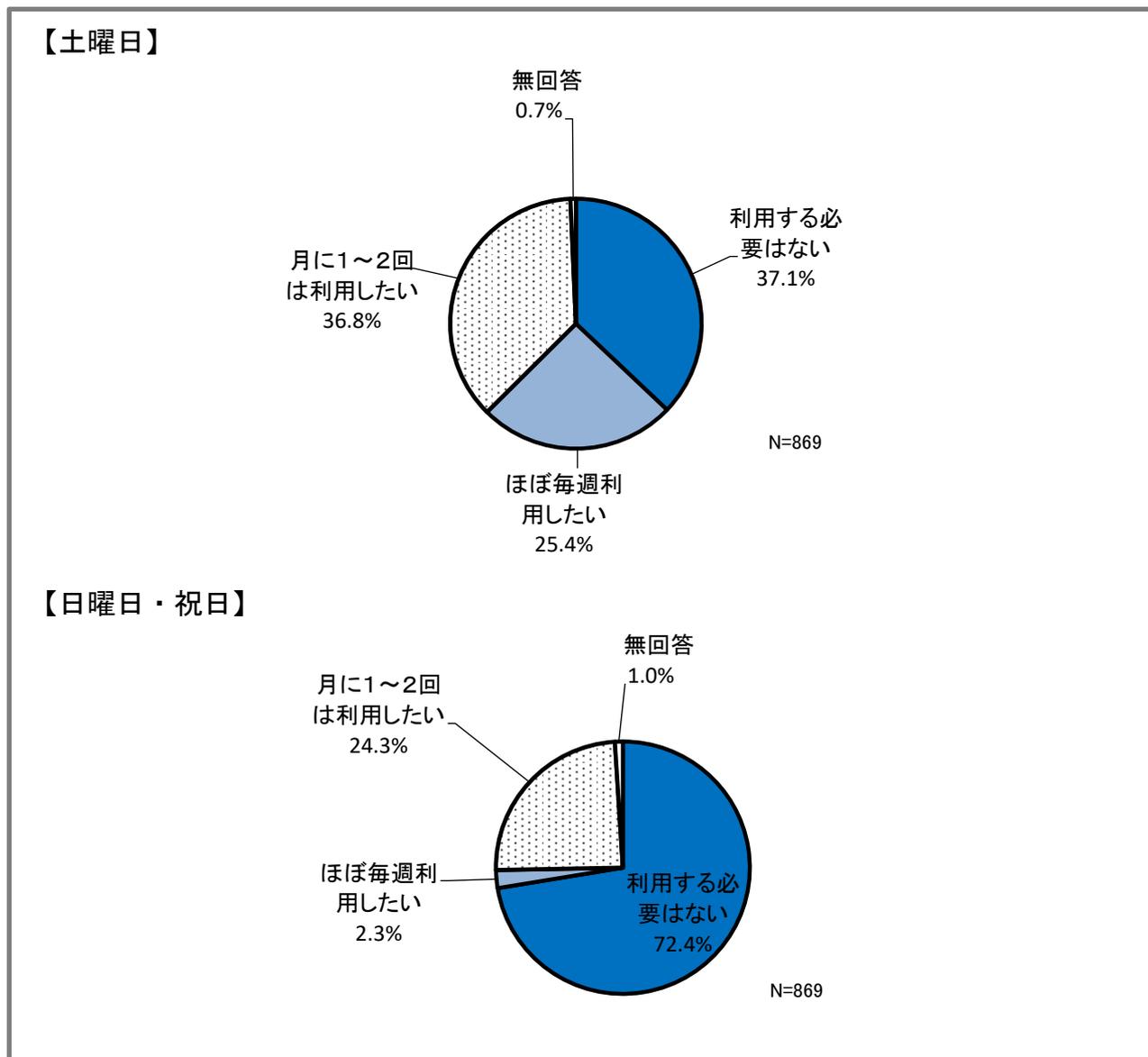
【今後の利用意向】



- 今後の利用意向については「保育所や幼稚園の園庭等の開放」の回答割合が31.5%と最も高く、次いで「すくすく広場（育児学級）」が23.7%、「荒尾市発行のあらお子育てマップ」が22.0%となっている。

7. 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な教育・保育事業の利用希望について

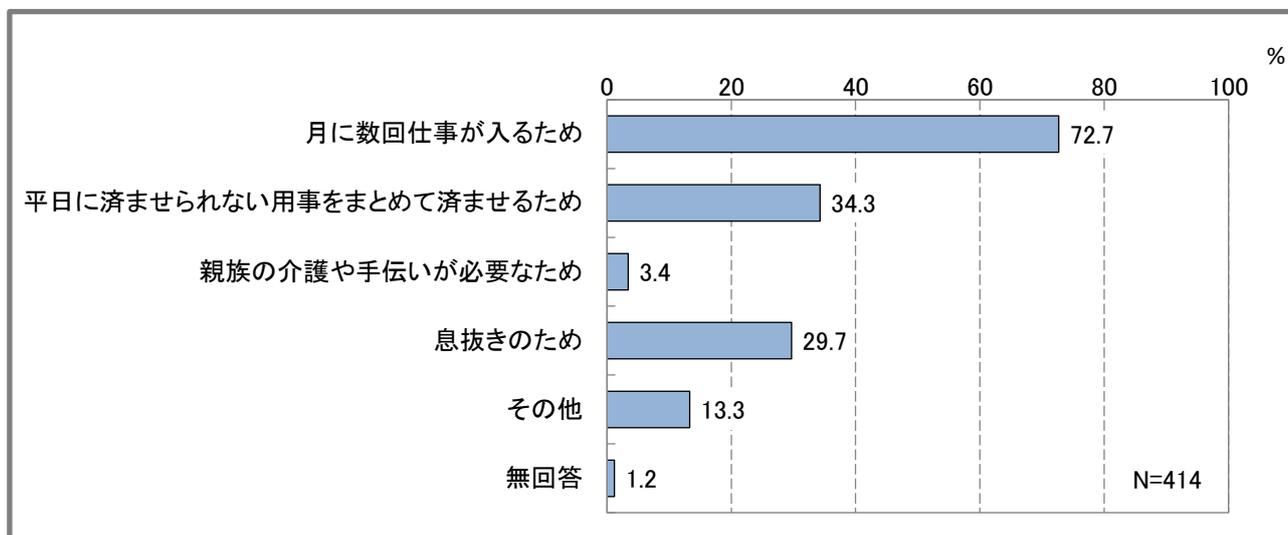
問17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。



- 土曜日の定期的な教育・保育事業については「利用する必要はない」の回答割合が37.1%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が36.8%、「ほぼ毎週利用したい」が25.4%となっている。
- 日曜日・祝日については「利用する必要はない」の回答割合が72.4%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が24.3%、「ほぼ毎週利用したい」が2.3%となっている。

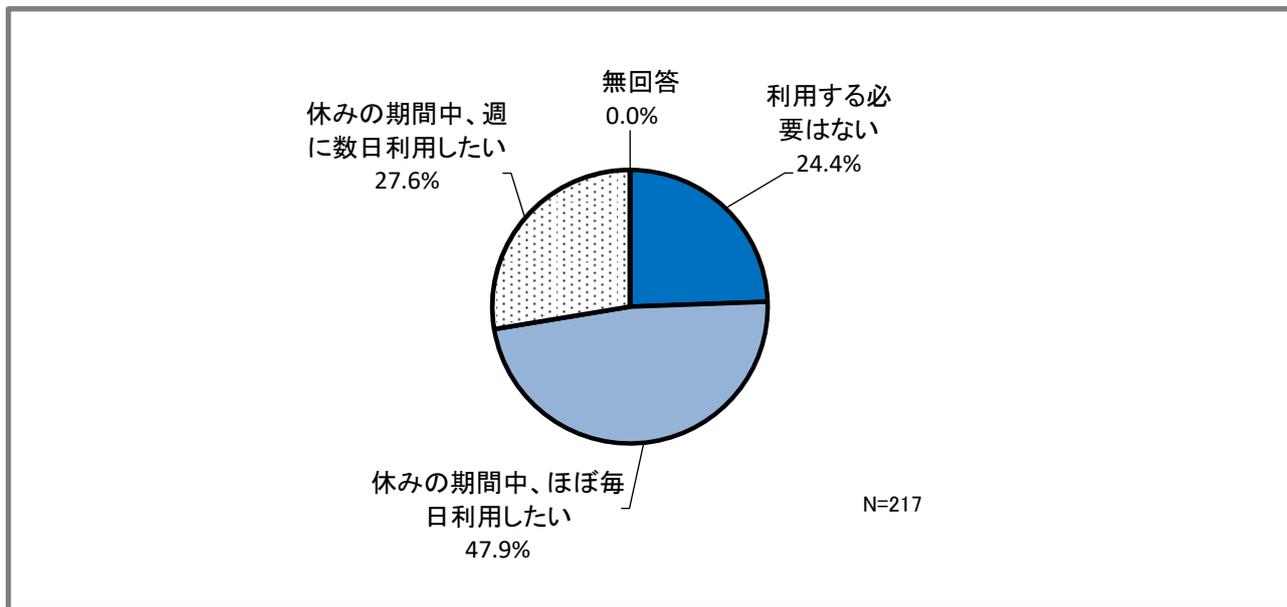
問17-1 問17の（1）もしくは（2）で、「3. 月に1～2回は利用したい」と答えた方にうかがいます。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



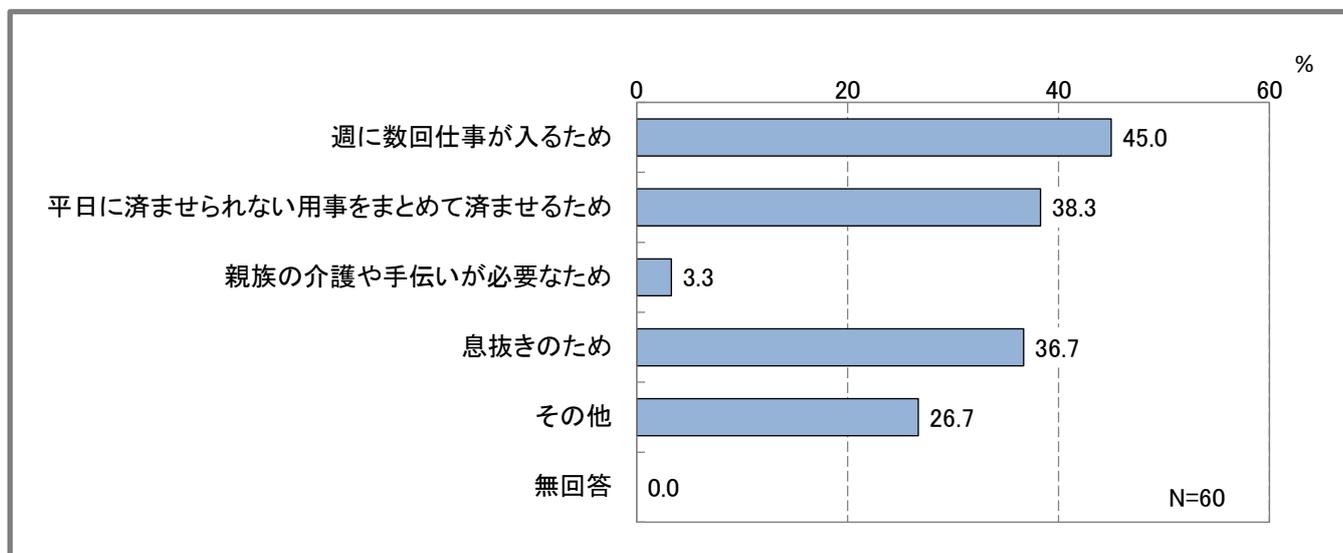
- 前問で「月に1～2回は利用したい」と回答した方のうち、たまに利用したい理由については「月に数回仕事が入るため」という回答割合が72.7%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が34.3%、「息抜きのため」が29.7%となっている。

問18 「認定こども園（1号）・幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。



- 幼稚園利用者の長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望については「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の回答割合が47.9%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が27.6%、「利用する必要はない」が24.4%となっている。

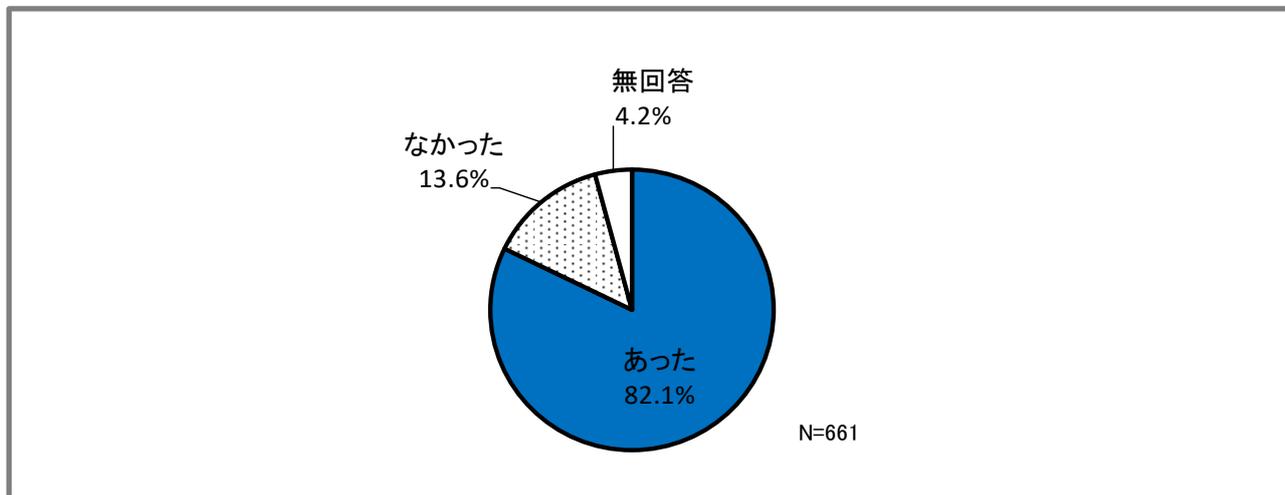
問18-1 問18で、「3. 週に数日利用したい」と答えた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



- 前問で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方のうち、たまに利用したい理由については「週に数回仕事が入るため」の割合が45.0%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が38.3%、「息抜きのため」が36.7%となっている。

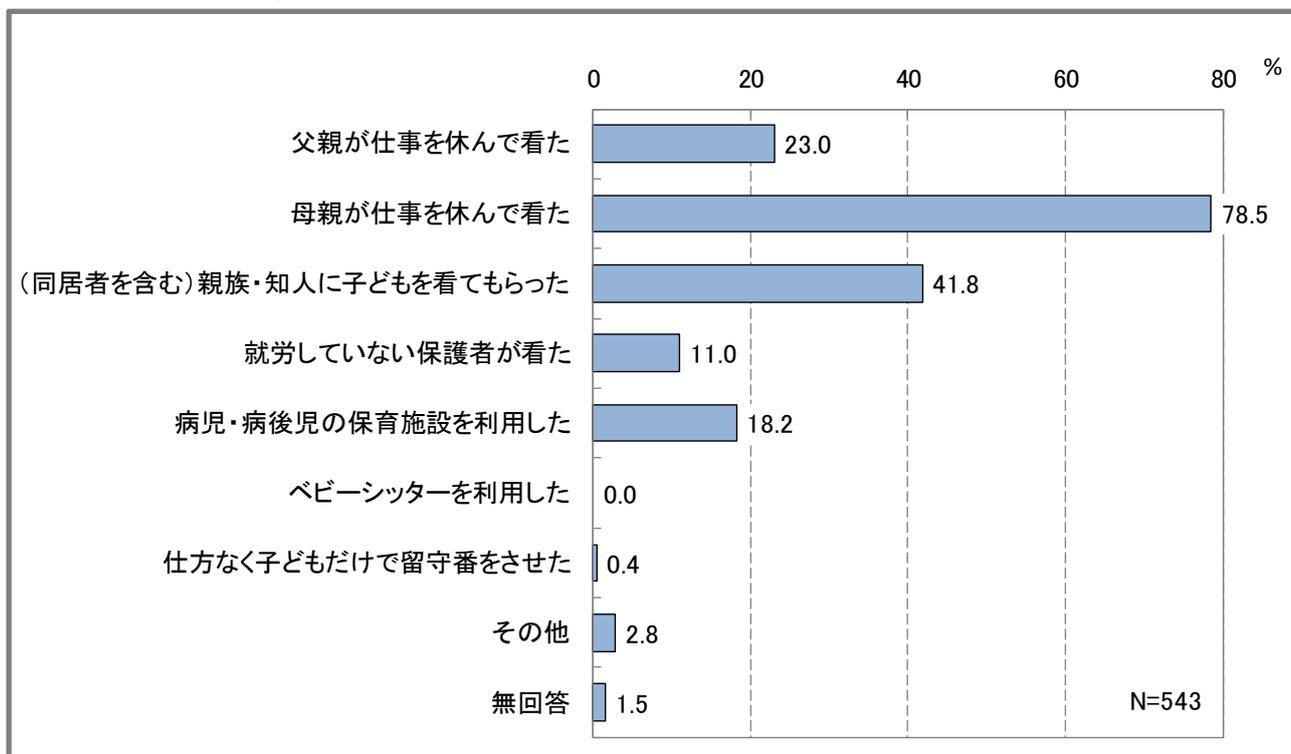
8. 宛名のお子さんの病気の際の対応について

問19 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方にうかがいます。この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかったことはありますか。



- 平日の定期的な教育・保育事業を利用している保護者のうち、この1年間に、対象の子どもが病気やけがで幼稚園・保育園などを利用できなかったことがあるかについては「あった」が82.1%、「なかった」13.6%となっている。

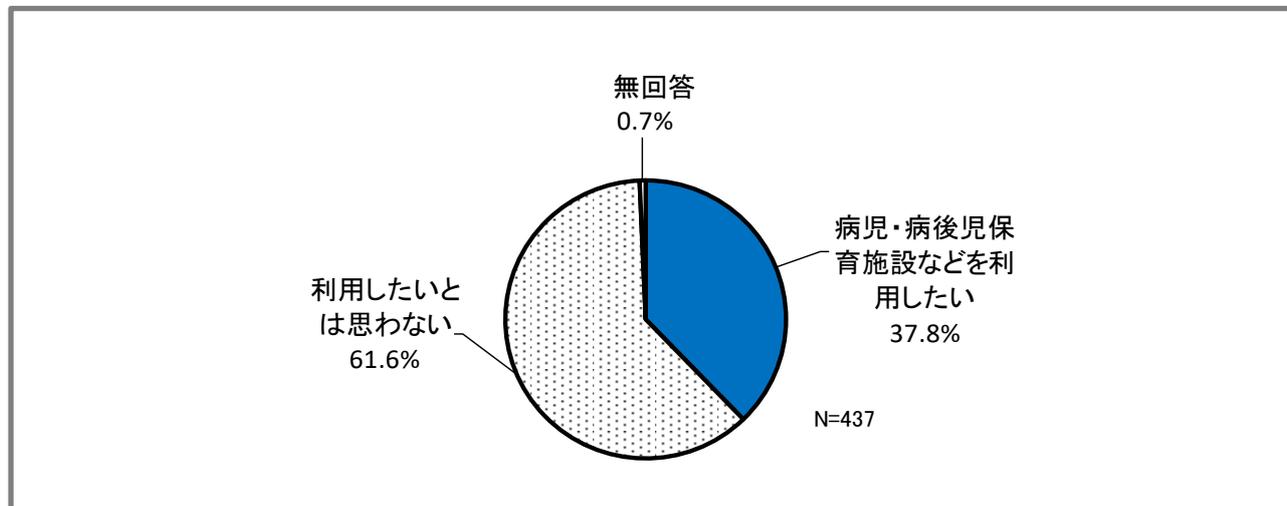
問19-1 宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけてください。



- 子どもが病気やけがで幼稚園・保育園を利用できなかった場合の対処方法については「母親が仕事を休んで見た」の回答割合が78.5%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」が41.8%、「父親が仕事を休んで見た」が23.0%となっている。

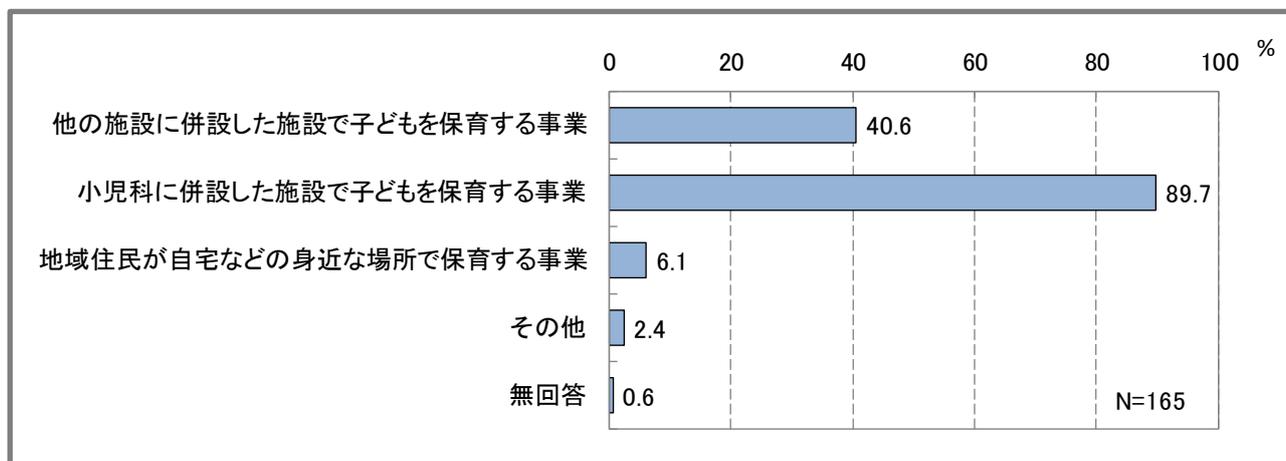
問19-2 問19-1で「ア.父親が休んだ」「イ.母親が休んだ」のいずれかに回答した方
にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われ
ましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



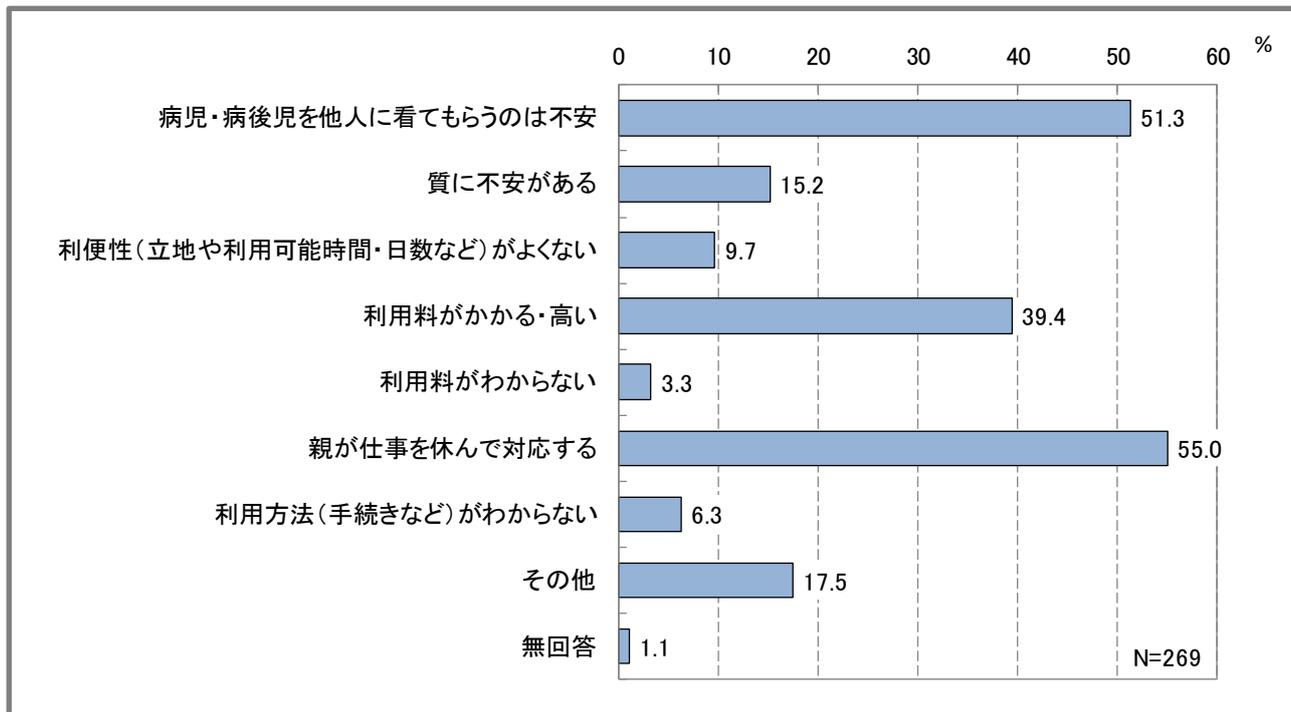
- 前問で、両親のいずれかが（仕事を）休んだと回答した人のうち、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思った人の割合については「利用したいと思わない」が61.6%、「病児・病後児保育施設などを利用したい」が37.8%となっている。

問19-3 問19-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」に○をつけた方にかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（あてはまるものすべてに○）



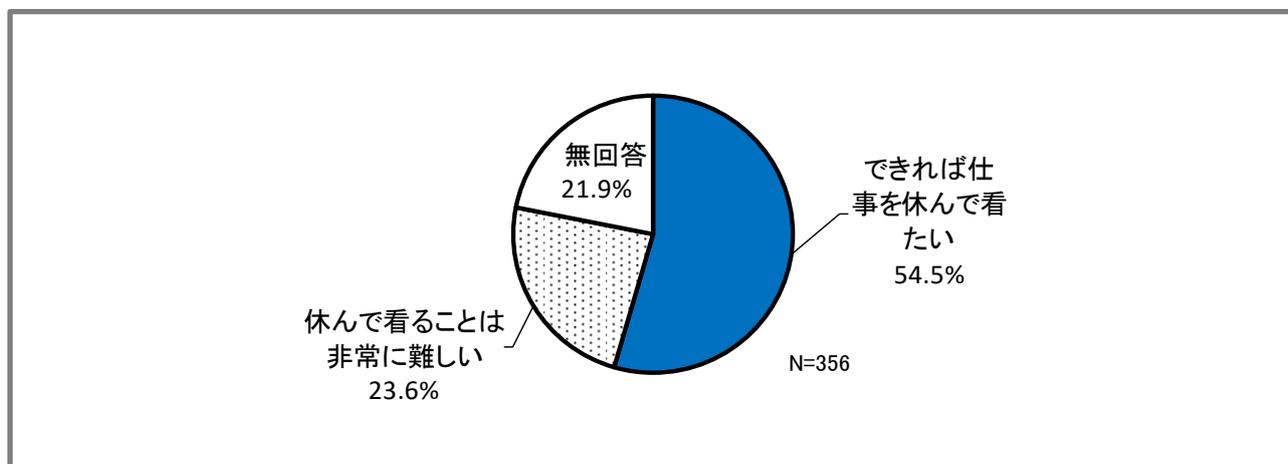
- 前問で「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と回答した人のうち、望ましい事業形態については「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の回答割合が89.7%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が40.6%、「地域住民が自宅などの身近な場所で保育する事業」が6.1%となっている。

問19-4 問19-2で「利用したいとは思わない」理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）



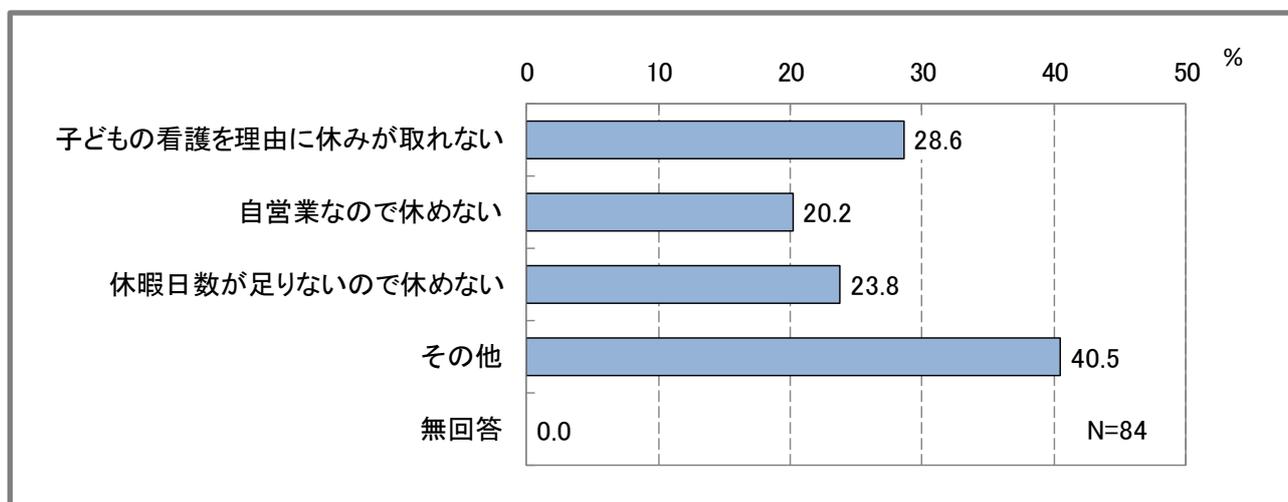
- 問19-2で病児・病後児のための保育施設などを「利用したいとは思わない」と回答した人の理由については「親が仕事を休んで対応する」の回答割合が55.0%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が51.3%、「利用料がかかる・高い」が39.4%となっている。

問19-5 問19-1で「ウ。」から「ク。」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



- 子どもが病気やけがのときに両親が休む以外の方法で対処した場合には「できれば仕事を休んで看たい」が54.5%、「休んで看することは非常に難しい」が23.6%となっている。

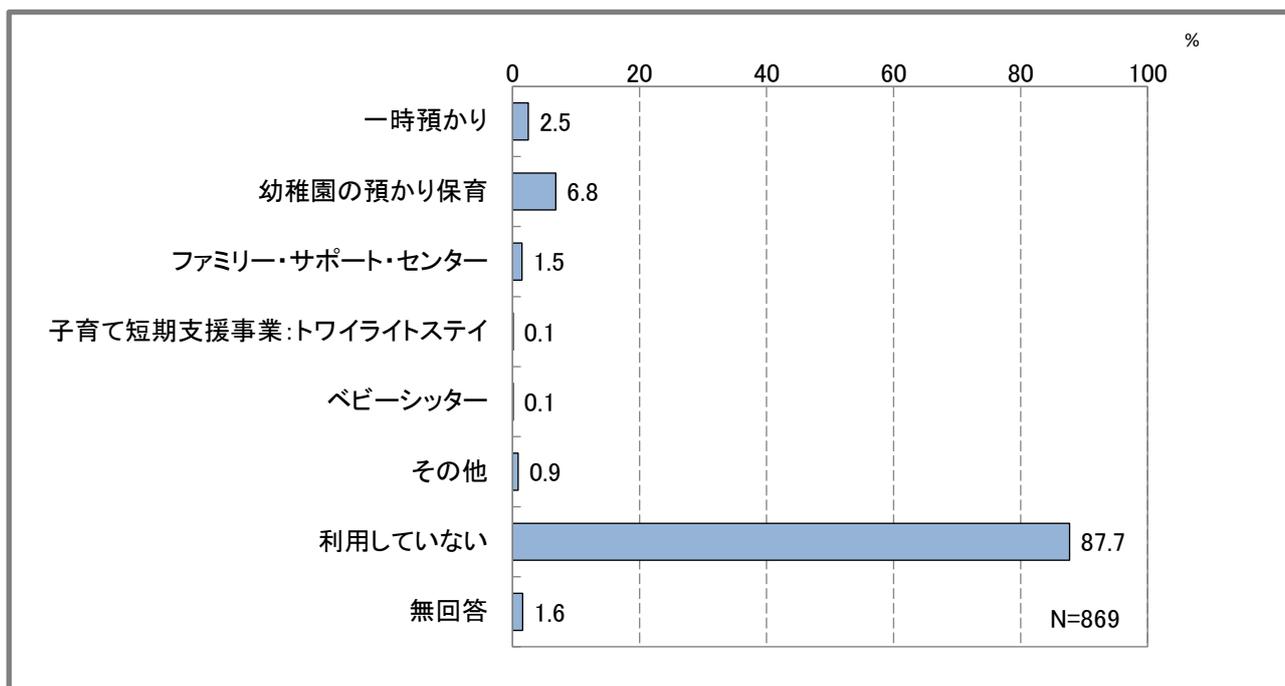
問19-6 問19-5で「休んで看することは非常に難しい」理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



- 前問で「休んで看することは非常に難しい」と回答した人の理由については「子どもの看護を理由に休みが取れない」が28.6%、次いで「休假日数が足りないので休めない」が23.8%、「自営業なので休めない」が20.2%となっている。

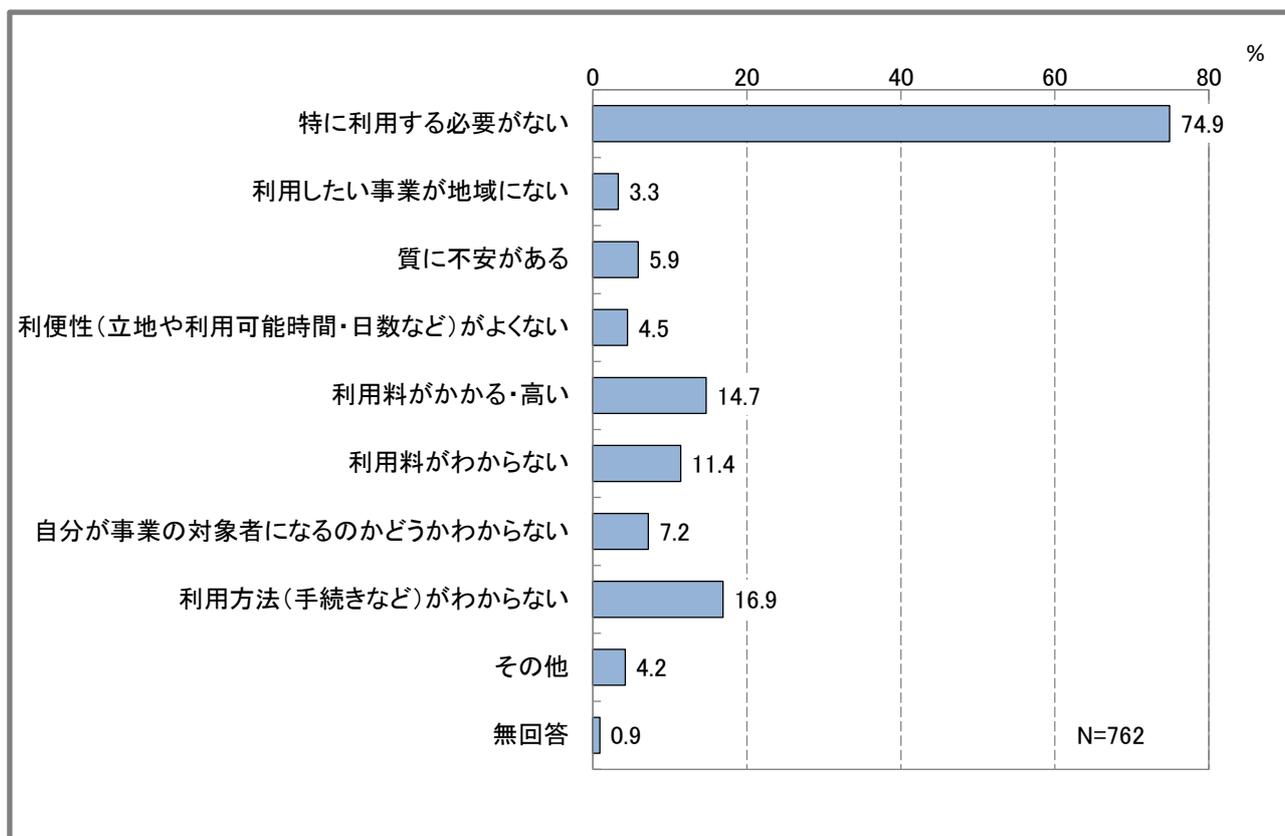
9. 宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問20 宛名のお子さんについて、私用（冠婚葬祭、リフレッシュなど）、親の通院、不特定の就労などの目的で不特定に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



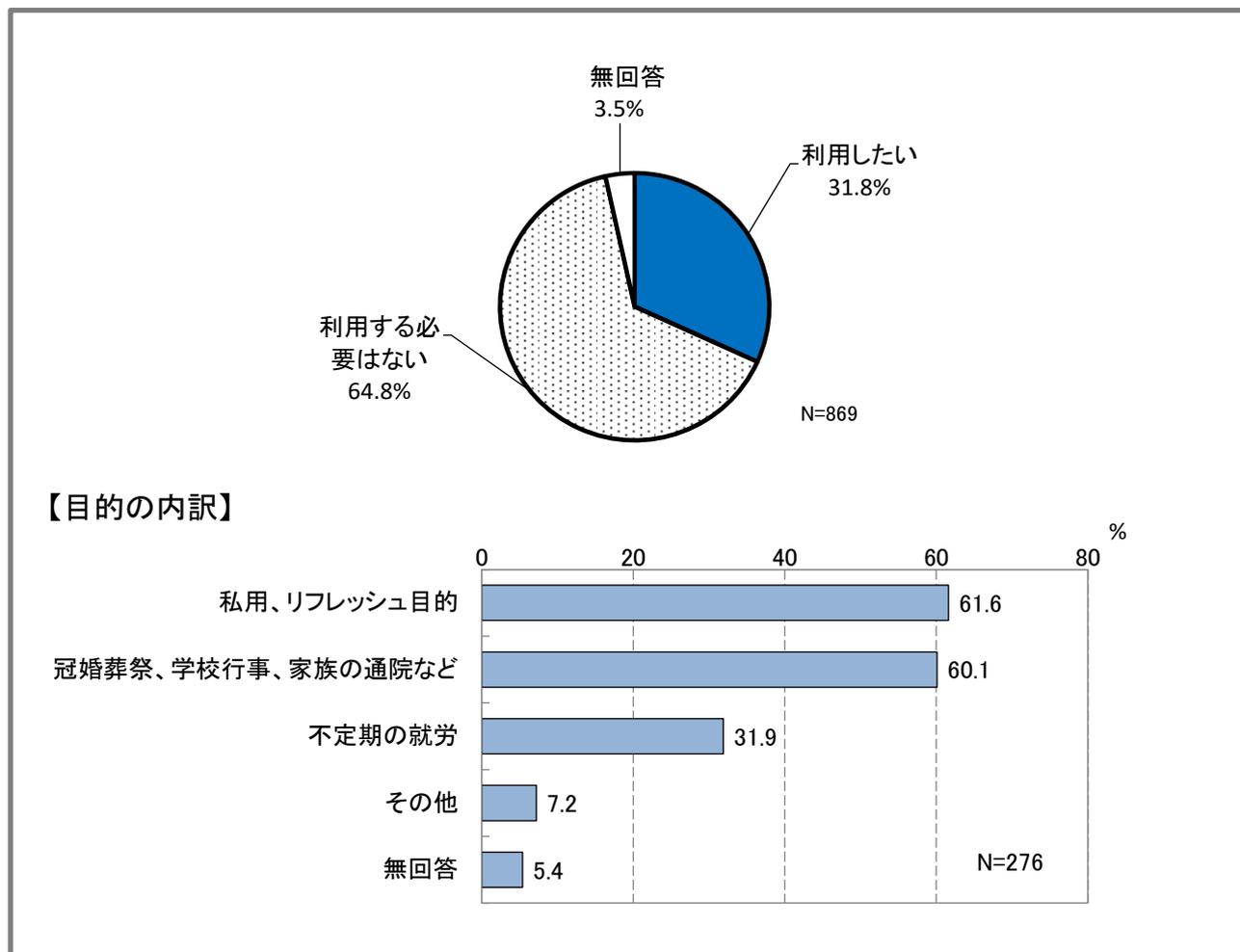
- 私用や親の通院、不特定の就労などのため、不特定に利用している事業があるかについては「利用していない」の回答割合が87.7%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が6.8%、「一時預かり」が2.5%となっている。

問20-1 問20で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。
現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



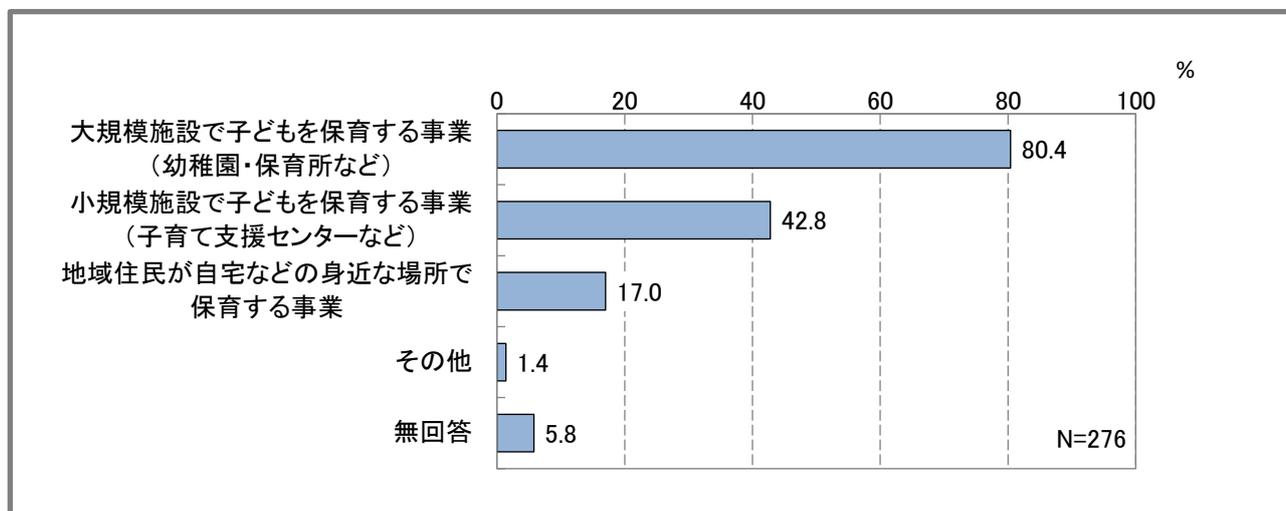
- 前問で「利用していない」と回答した人の理由については「特に利用する必要がない」の回答割合が 74.9%と最も高く、次いで「利用方法（手続きなど）がわからない」が 16.9%、「利用料がかかる・高い」が 14.7%となっている。

問21 宛名のお子さんについて、私用（冠婚葬祭、リフレッシュなど）、親の通院、不
定期の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いま
すか。あてはまる番号・記号すべてに○をつけてください。



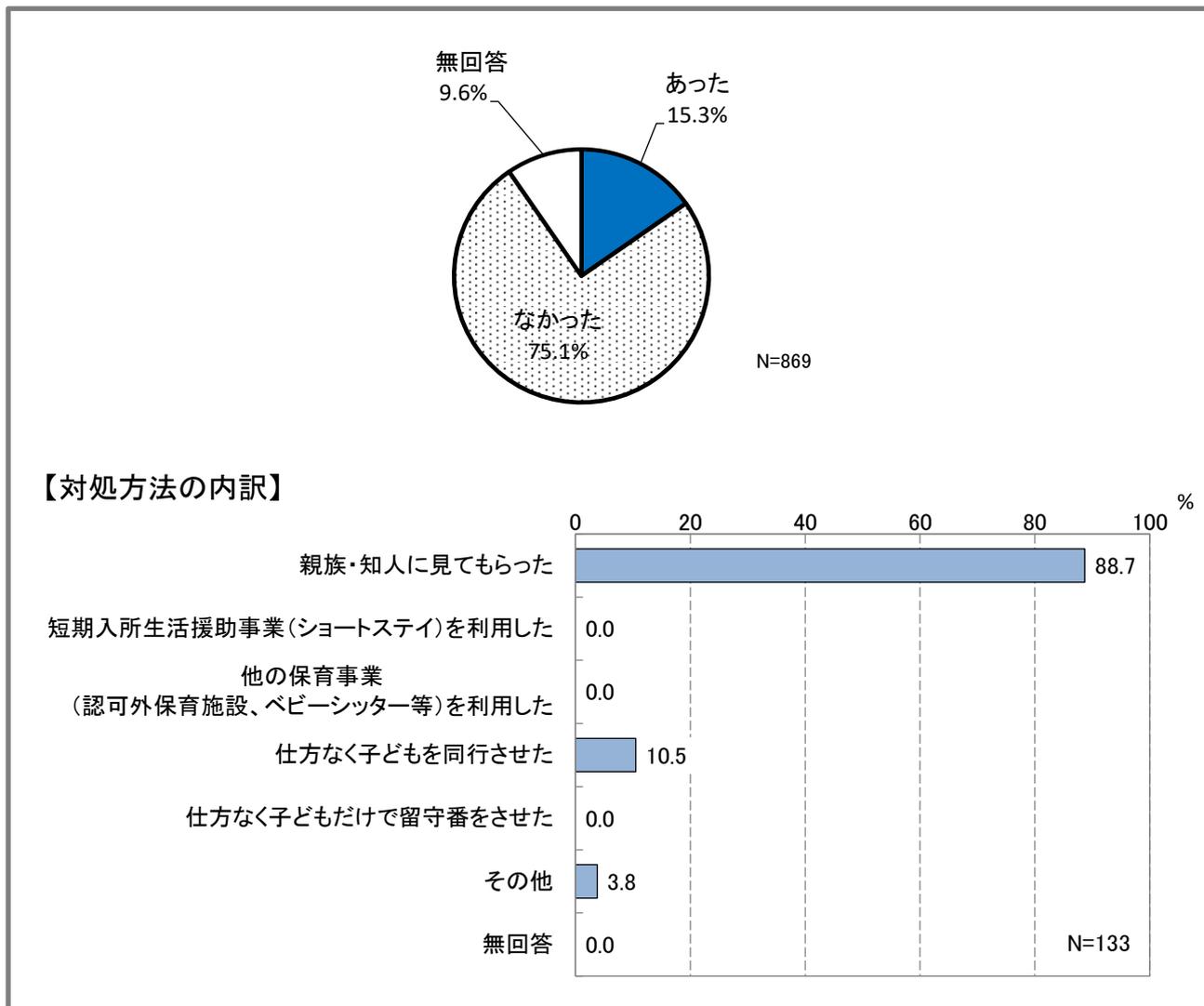
- 私用や親の通院、不定期の就労などのため、一時預かりなどの事業を利用する必要があるかについては「利用する必要はない」が64.8%、「利用したい」が31.8%となっている。
- 利用したいと回答した人の目的については「私用、リフレッシュ目的」の回答割合が61.6%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院など」が60.1%、「不定期の就労」が31.9%となっている。

問21-1 問21で「1.利用したい」に○をつけた方にかがいます。問21の目的で
 お子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
 （あてはまるものすべてに○）



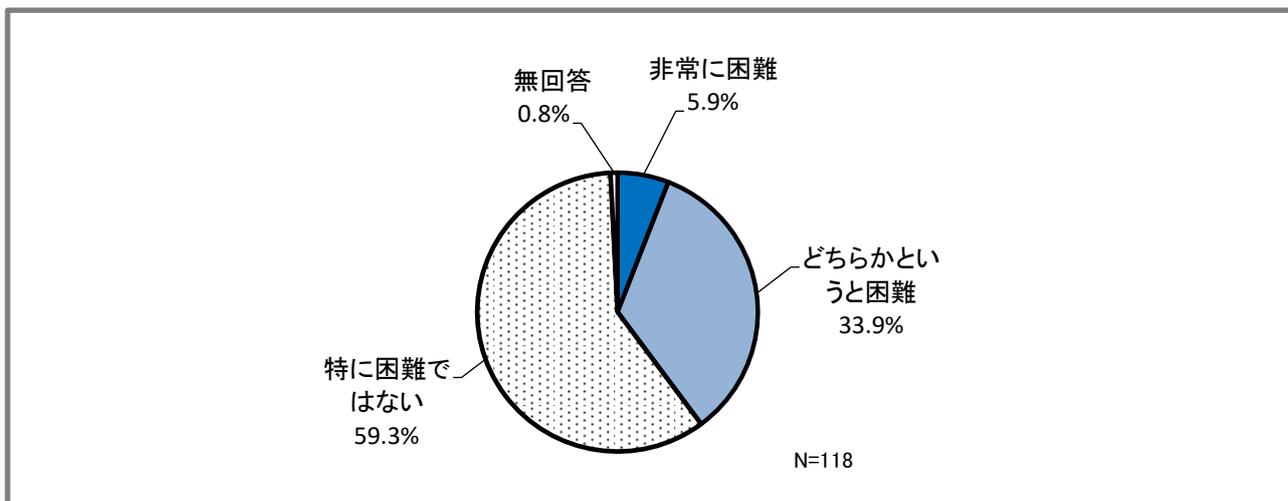
- 前問で一時預かりなどの事業を「利用したい」と回答した人のうち、望ましい事業形態については「大規模施設で子どもを保育する事業（幼稚園・保育所など）」の回答割合が80.4%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（子育て支援センターなど）」が42.8%、「地域住民が自宅などの身近な場所で保育する事業」が17.0%となっている。

問22 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外に見てもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。この1年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。



- この1年間に、保護者の用事などにより、就学前の子どもを泊りがけで家族以外に見てもらわなければならないことがあったかについては「なかった」が75.1%、「あった」が15.3%となっている。
- 対処方法の内訳としては「親族・知人に見てもらった」の回答割合が88.7%と最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が10.5%、「その他」3.8%となっている。

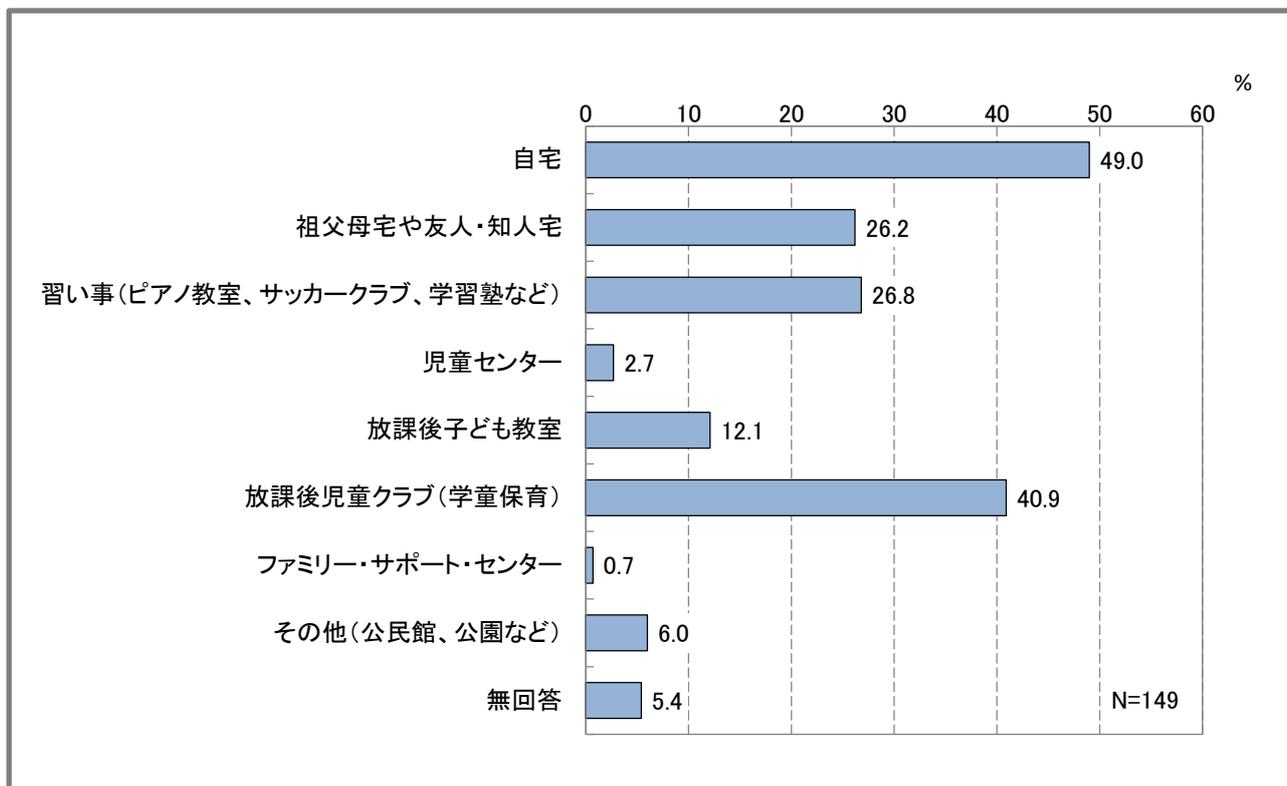
問22-1 問22で「1. あった ア.(同居者を含む) 親族・知人に見てもらった」と答え
た方にかがいます。その場合の困難度（頼むことは簡単にできたか）はどの程度で
したか。（1つだけ〇）



- 「親族・知人に見てもらった」場合の困難度については「特に困難ではない」の割合が59.3%と最も高く、次いで「どちらかという困難」が33.9%、「非常に困難」が5.9%となっている。

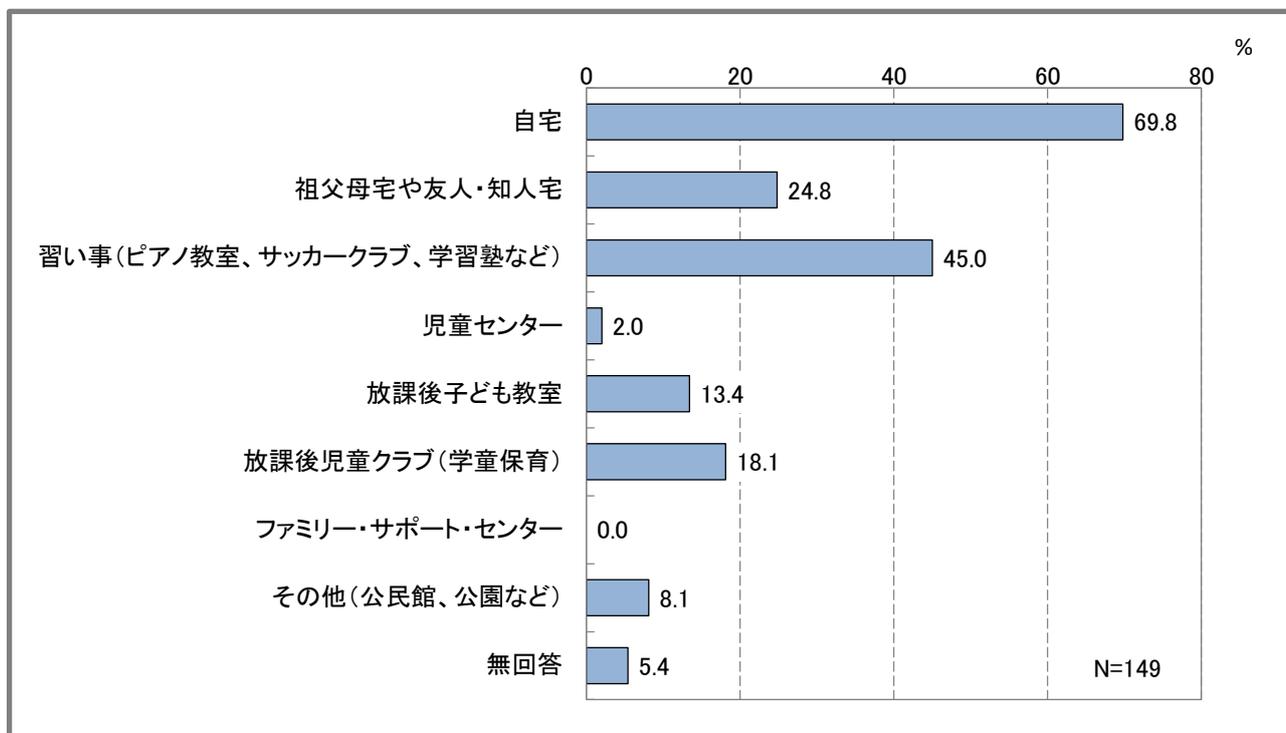
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問23 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



- 小学校低学年の放課後の過ごし方の希望については「自宅」の回答割合が49.0%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」が40.9%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が26.8%となっている。

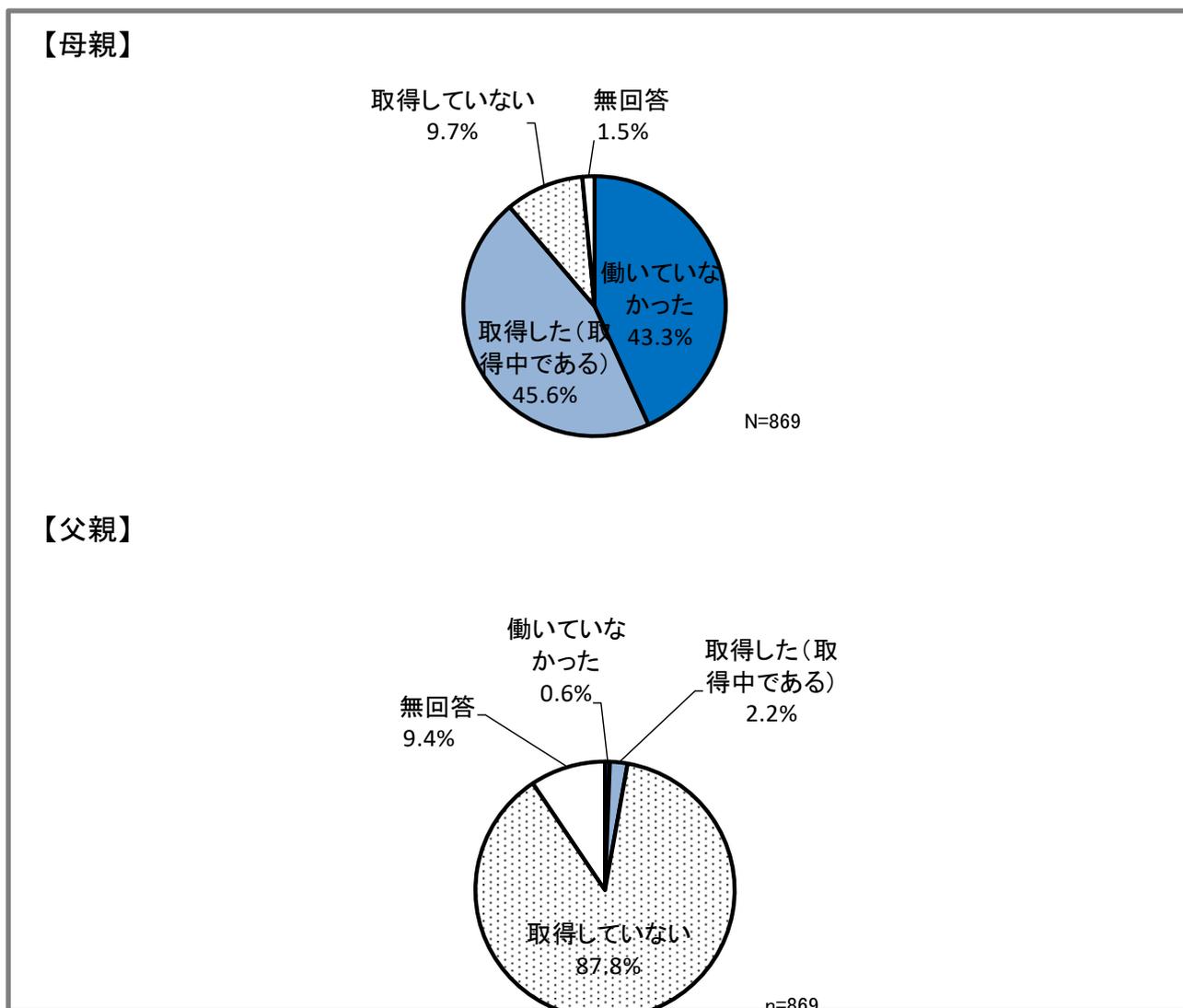
問24 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



- 小学校高学年の放課後の過ごし方の希望についても、「自宅」の回答割合が 69.8%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 45.0%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 24.8%となっている。

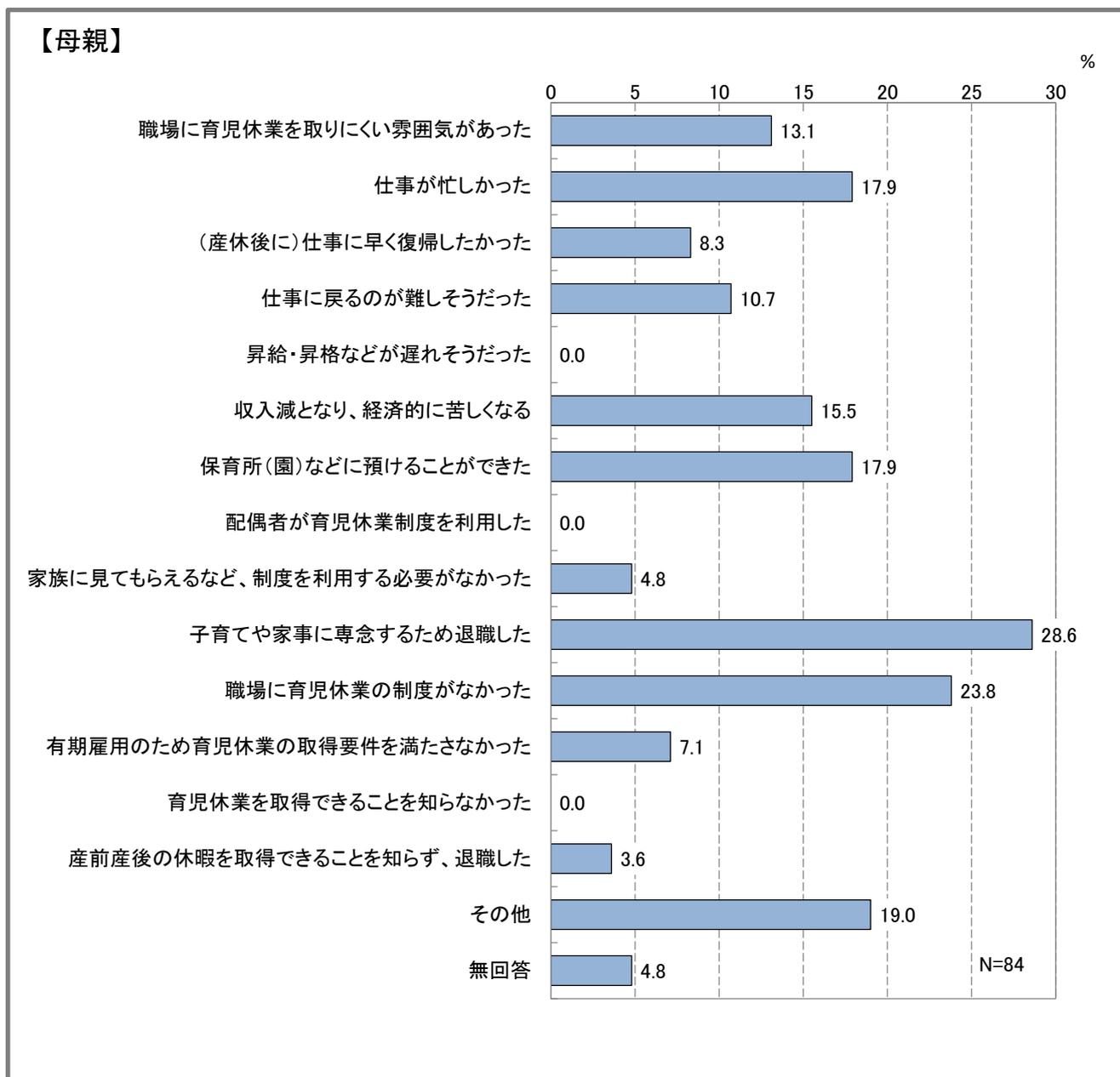
1.1. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問25 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。（1つだけ○）

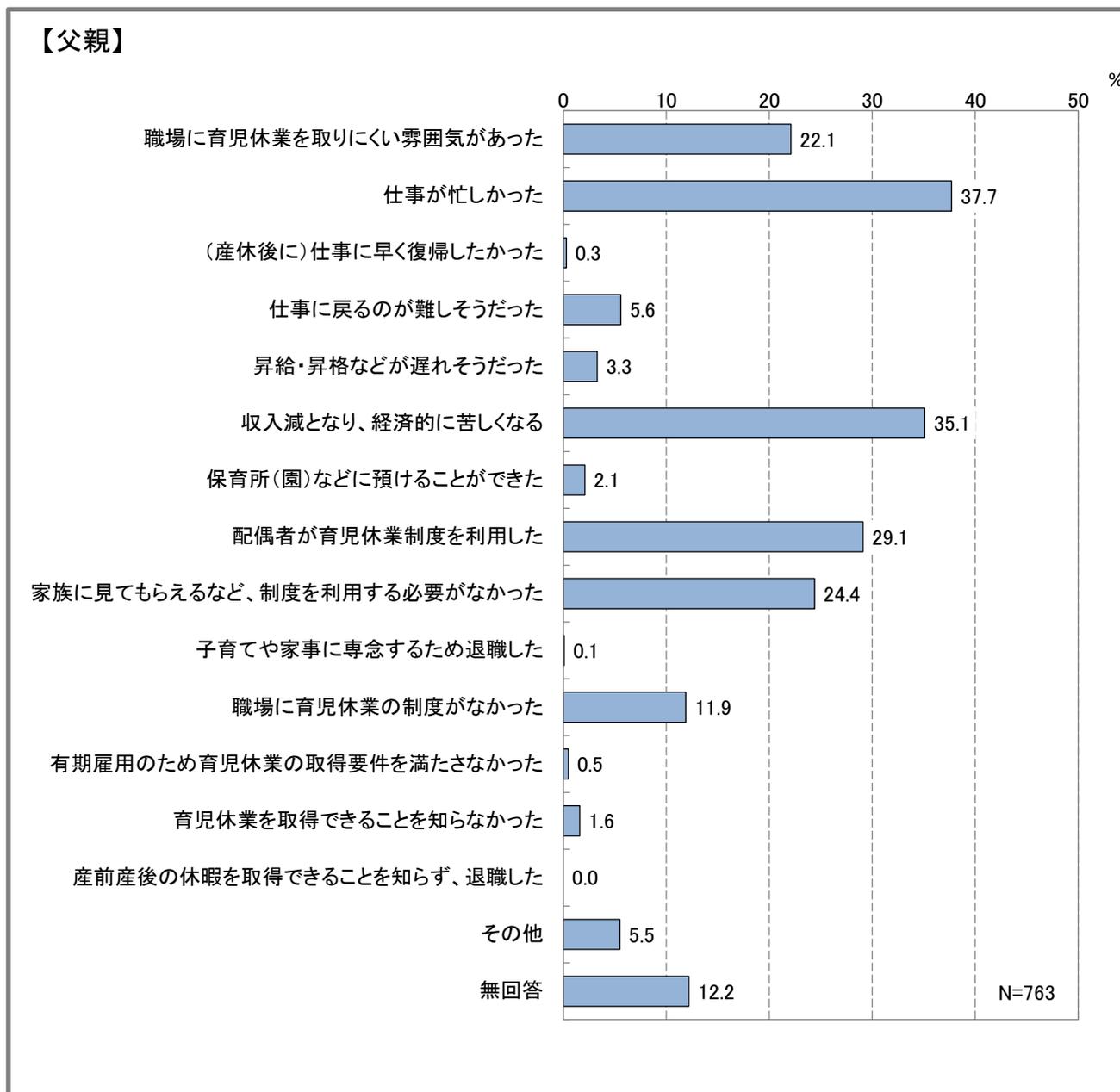


- 育児休業について、母親は「取得した（取得中である）」の回答割合が45.6%、「働いていなかった」が43.3%、「取得していない」9.7%となっている。
- 父親は「取得していない」の回答割合が87.8%、「取得した（取得中である）」が2.2%、「働いていなかった」が0.6%となっている。

問25-1 問25で「3. 取得していない」と回答した方にうかがいます。
 取得していない理由は何ですか。母親、父親それぞれについて、あてはまる
 すべての番号を（ ）内に数字でご記入ください。

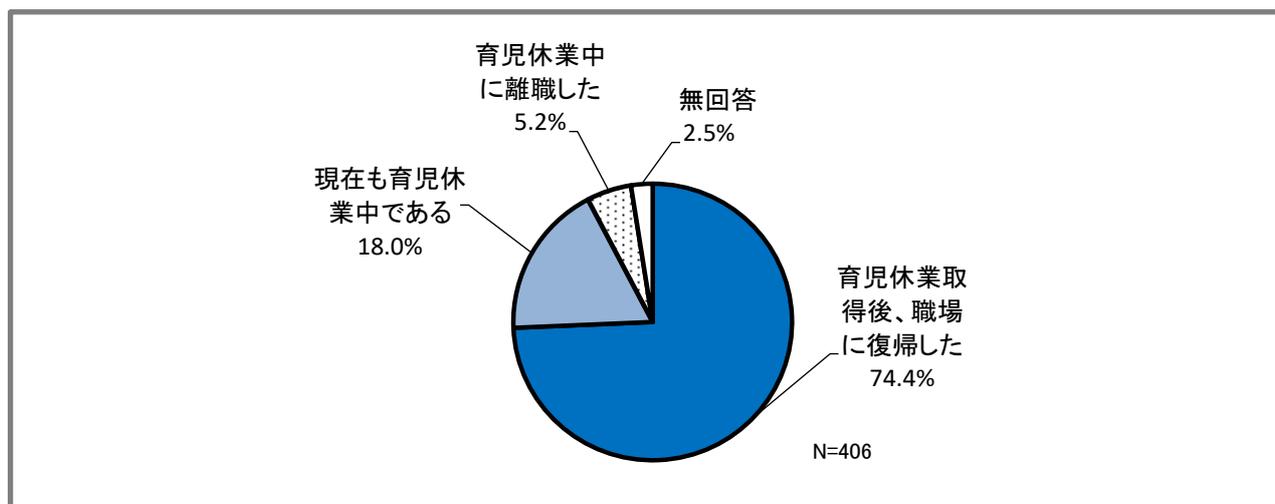


- 母親が育児休業を取得しなかった理由については「子育てや家事に専念するため退職した」の回答割合が 28.6%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」が 23.8%、「仕事が忙しかった」と、「保育所(園)などに預けることができた」が共に 17.9% となっている。



- 父親が育児休業を取得しなかった理由については「仕事が忙しかった」の回答割合が37.7%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が35.1%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が29.1%となっている。

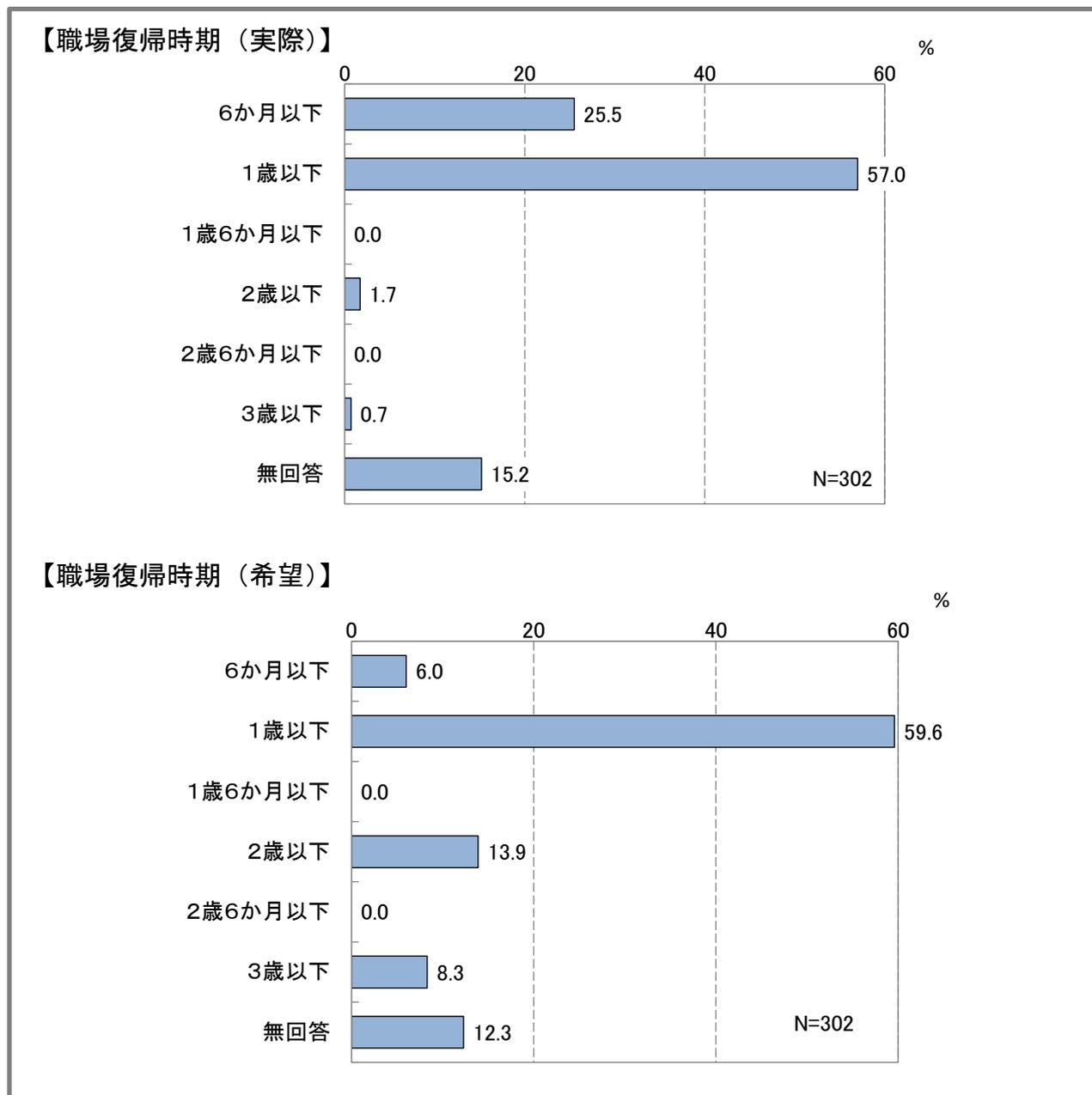
問25-2 問25で「2.取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（1つだけ○）



- 育児休業取得後の職場復帰については「育児休業取得後、職場に復帰した」の回答割合が74.4%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が18.0%、「育児休業中に離職した」が5.2%となっている。

問25-3 問25-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。（ ）内に数字でご記入ください。

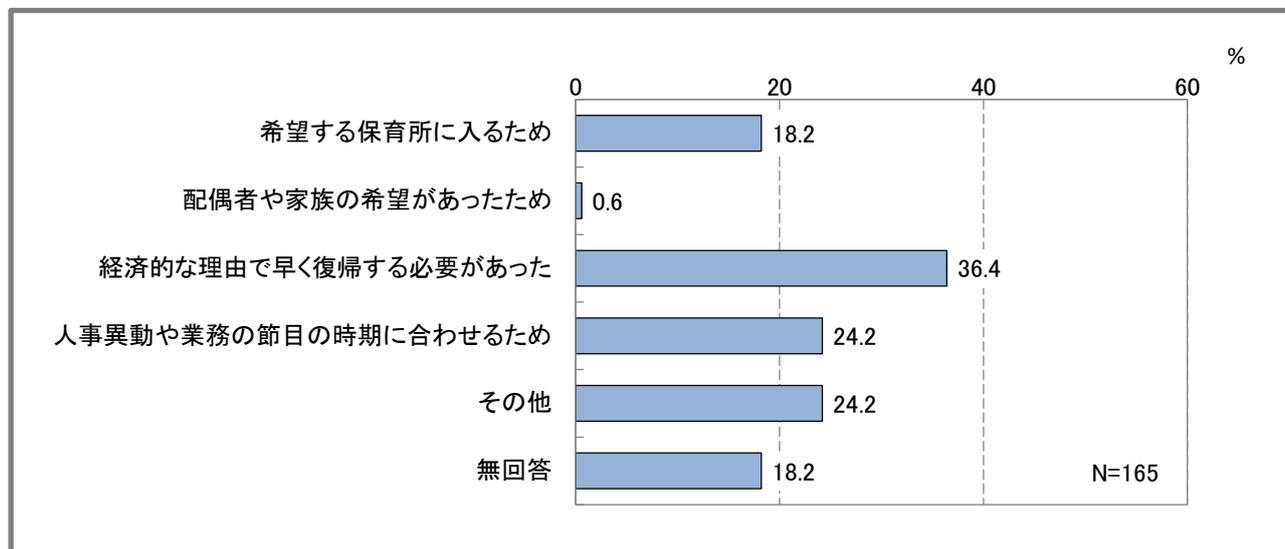


- 育児休業取得者の職場復帰時期については「1歳以下」の回答割合が57.0%と最も高く、次いで「6か月以下」が25.5%、「2歳以下」が1.7%となっている。
- 職場復帰時期の希望については「1歳以下」の回答割合が59.6%と最も高く、次いで「2歳以下」が13.9%、「3歳以下」が8.3%となっている。

問25-4 問25-3 で実際の復帰と希望が異なる方にかがいます。

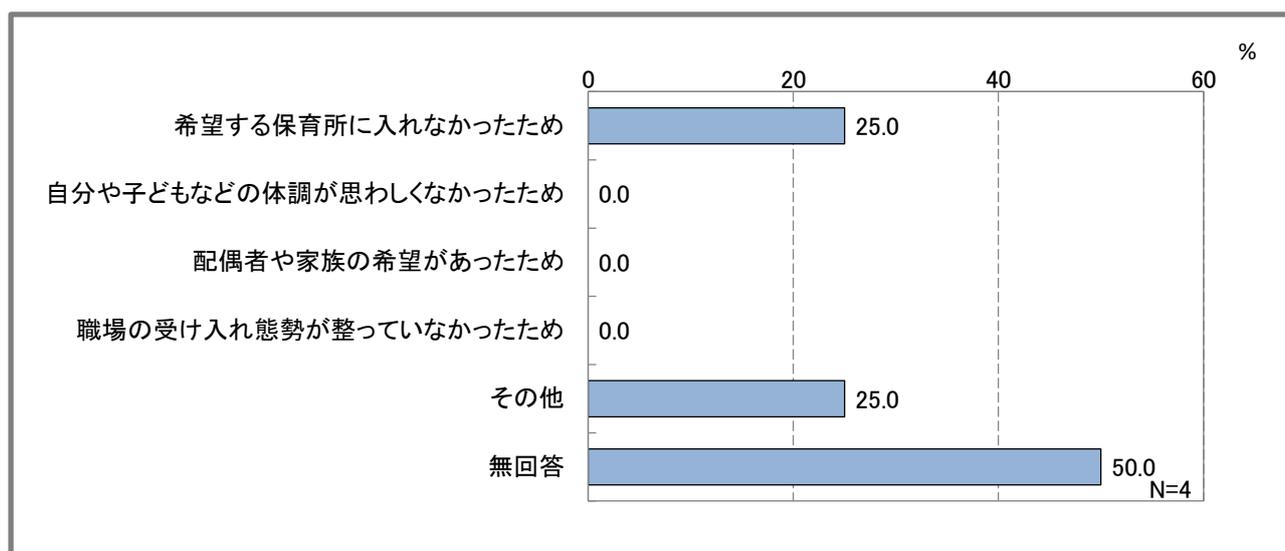
希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

（1）希望より早く復帰した方



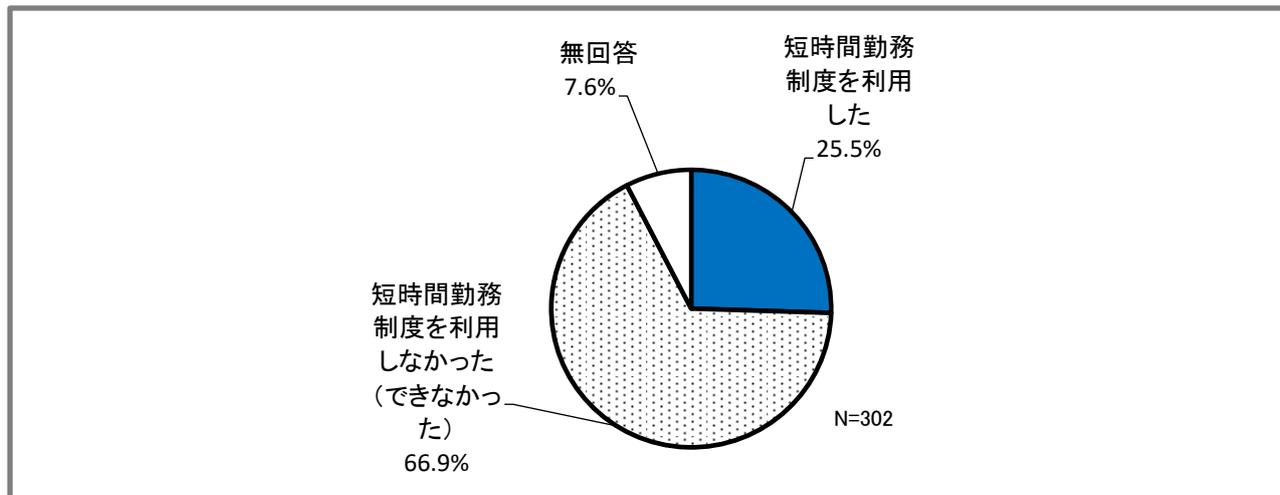
- 育児休業から希望より早く復帰した人の理由については「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の回答割合が36.4%と最も高く、次に「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」と「その他」が24.2%、「希望する保育所に入るため」が18.2%となっている。

（1）希望より遅く復帰した方



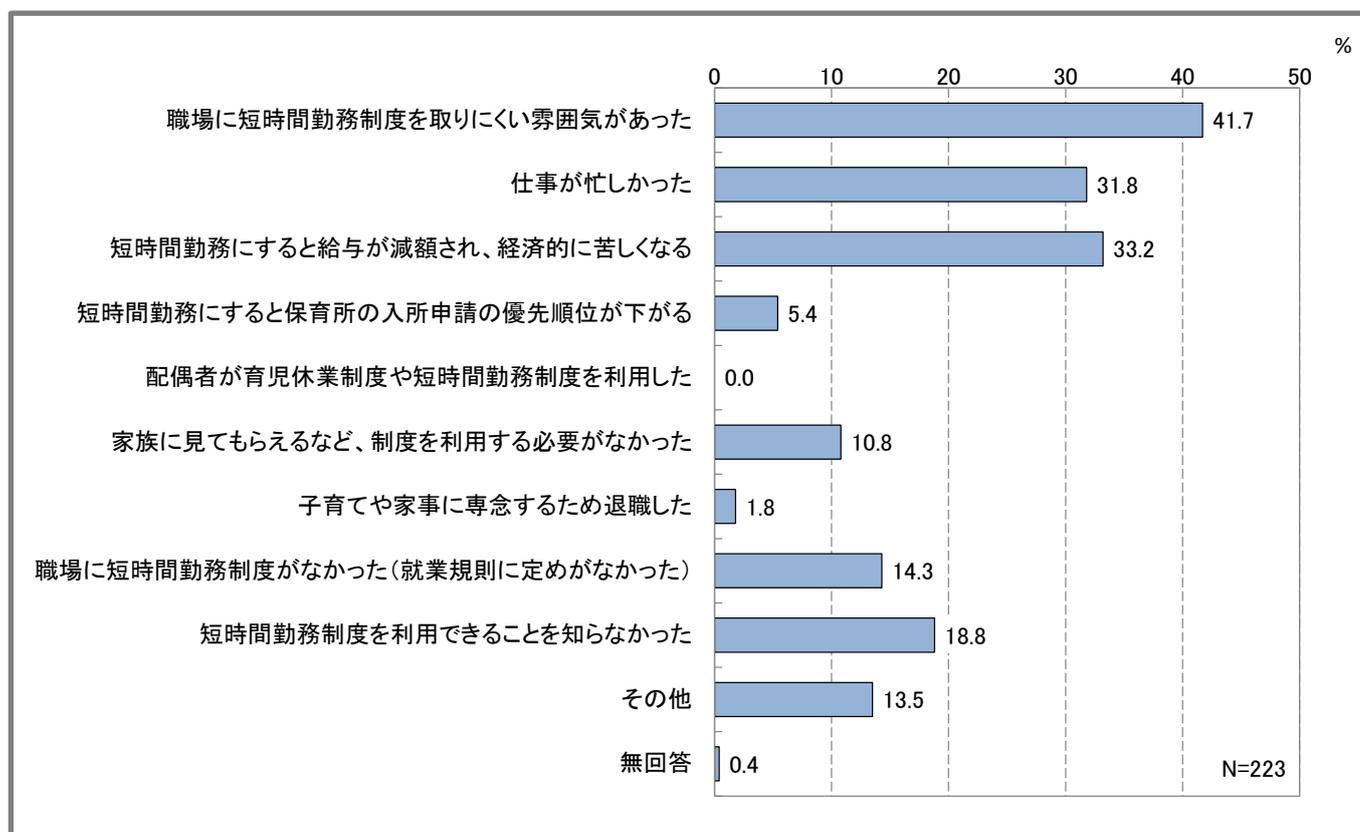
- 育児休業から希望より遅く復帰した人の理由については「希望する保育所に入れなかったため」が25.0%、「その他」が25.0%となっている。

問25-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。
（1つだけ○）



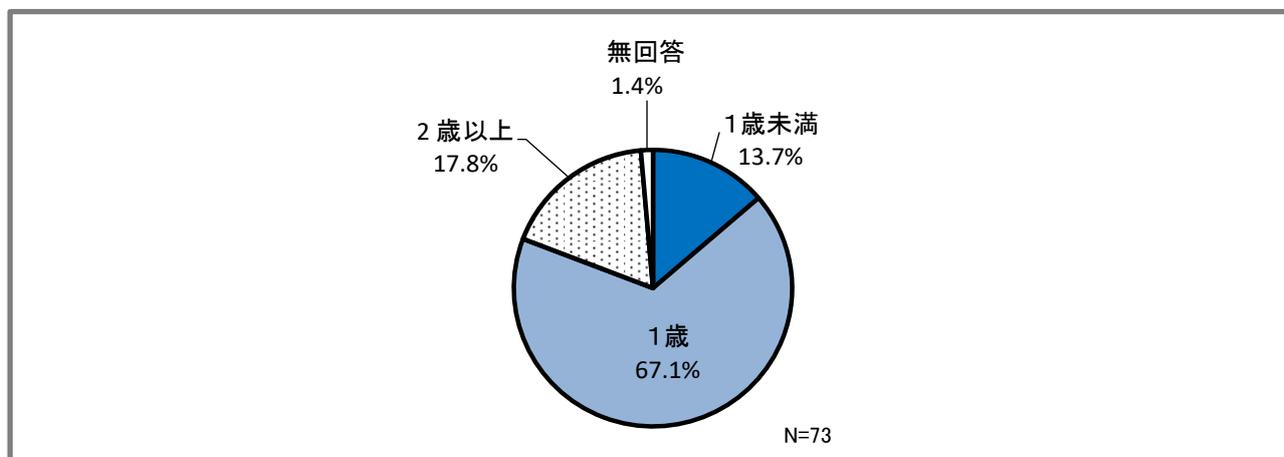
- 育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を利用したかについては「短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）」が66.9%、「短時間勤務制度を利用した」が25.5%となっている。

問25-6 問25-5 で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した人にかがいます。短時間勤務を利用しなかった理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



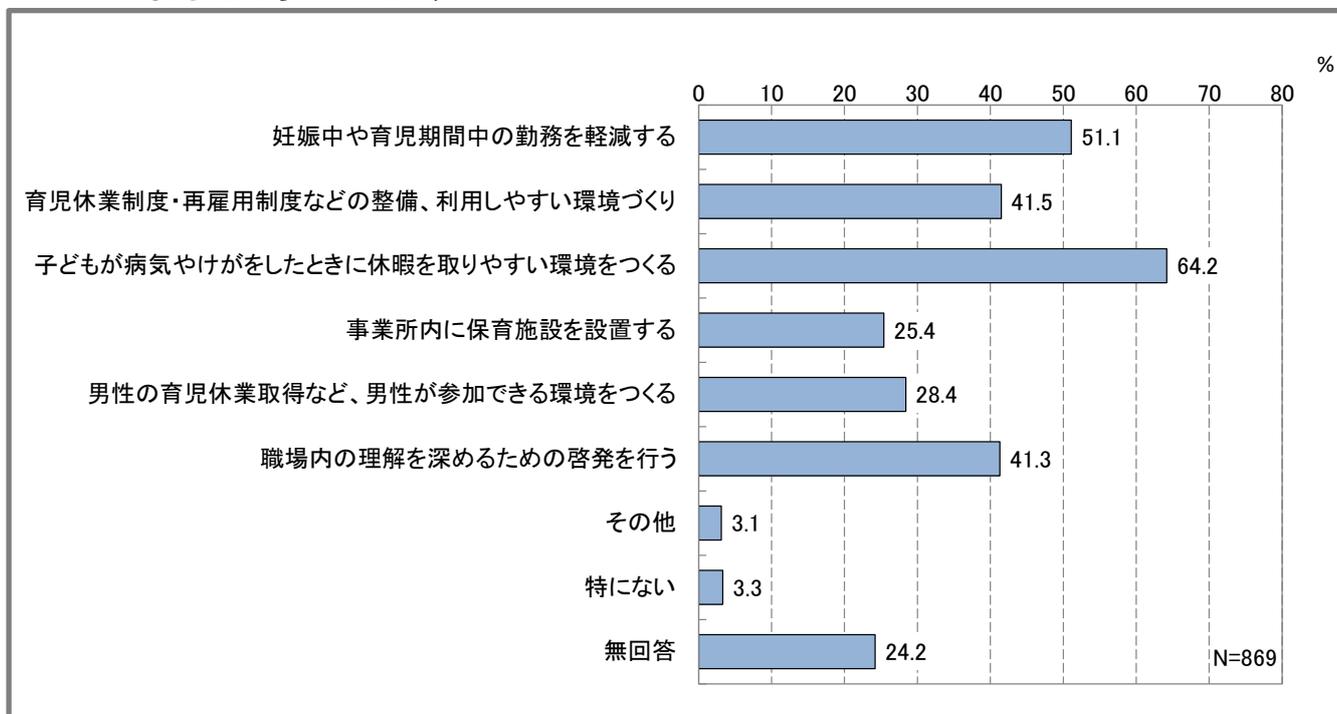
- 前問で「短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した人の理由については「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の回答割合が41.7%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が33.2%、「仕事が忙しかった」が31.8%となっている。

問25-7 問25-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。宛名のお子さんを希望の時期に預けられる事業があれば、何歳になるまで育児休業を取得しますか。（1つだけ○）



- 子どもを希望の時期に預けられる事業があれば何歳になるまで育児休業を取得するかについては「1歳」の回答割合が67.1%と最も高く、次いで「2歳以上」が17.8%、「1歳未満」が13.7%となっている。

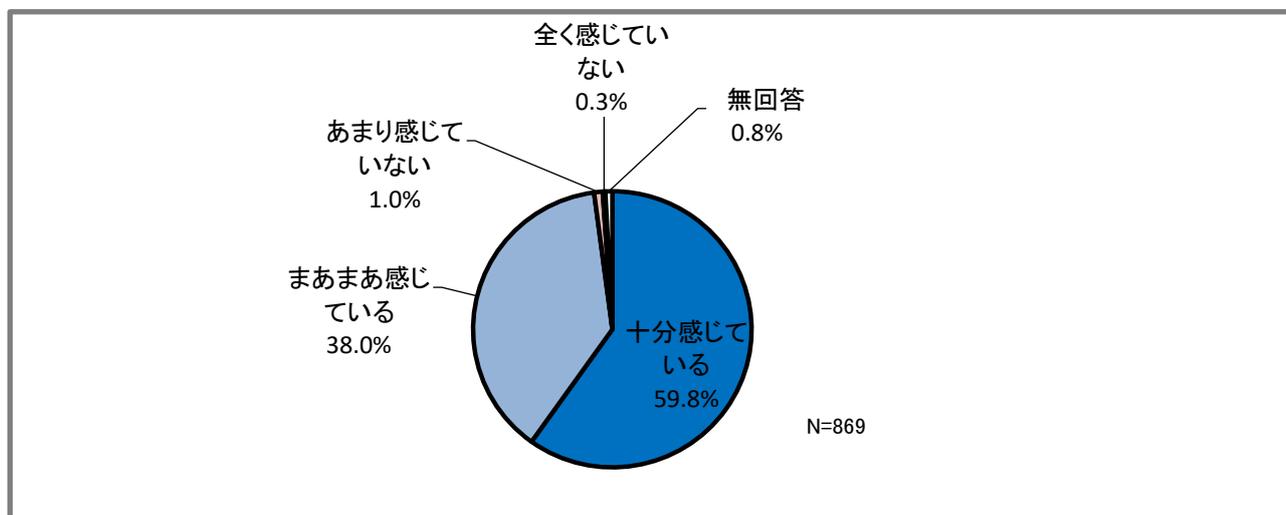
問26 子育てと仕事の両立支援として、企業にどのようなことを期待しますか。（あてはまるものすべてに○）



- 子育てと仕事の両立支援として企業に期待することとしては「子どもが病気やけがをしたときに休暇を取りやすい環境をつくる」の回答割合が64.2%と最も多く、次いで「妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する」が51.1%、「育児休業制度・再雇用制度などの整備、利用しやすい環境づくり」が41.5%となっている。

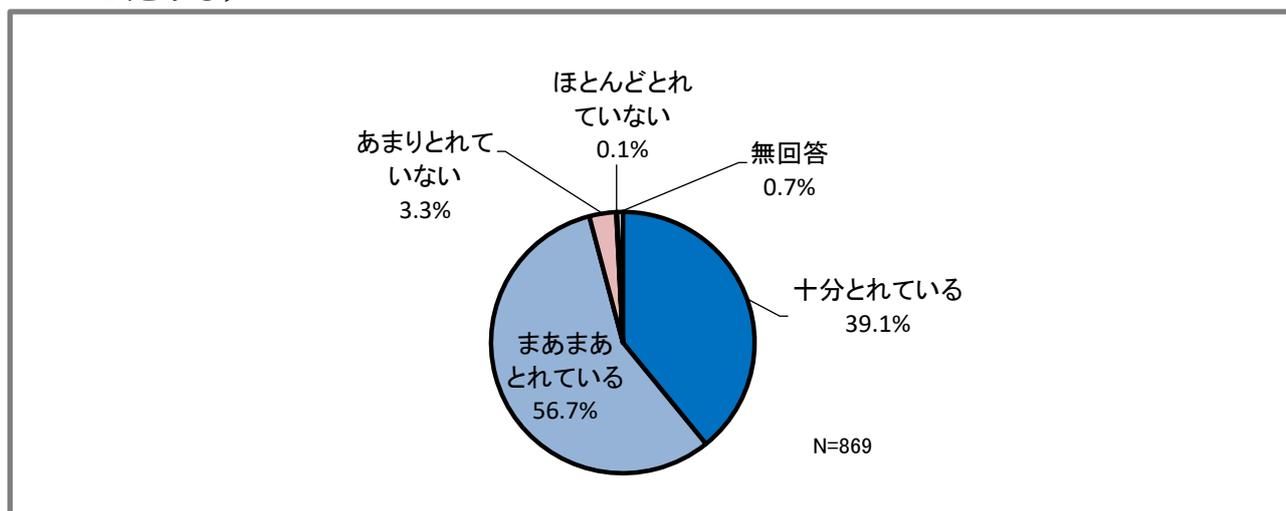
12. その他、子育て全般について

問27 あなたは、子育てに喜びを感じていますか。（1つだけ○）



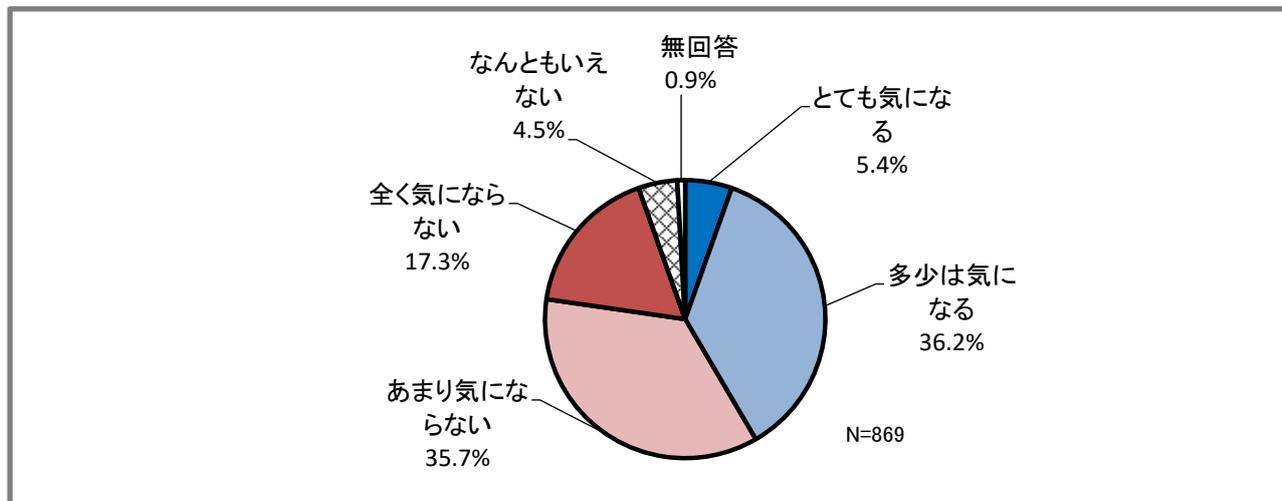
- 子育てに喜びを感じているかについては「十分感じている」の回答割合が59.8%と最も高く、次いで「まあまあ感じている」が38.0%、「あまり感じていない」が1.0%となっている。

問28 ふだんの生活の中で親子のコミュニケーションがとれていると思いますか。（1つだけ○）



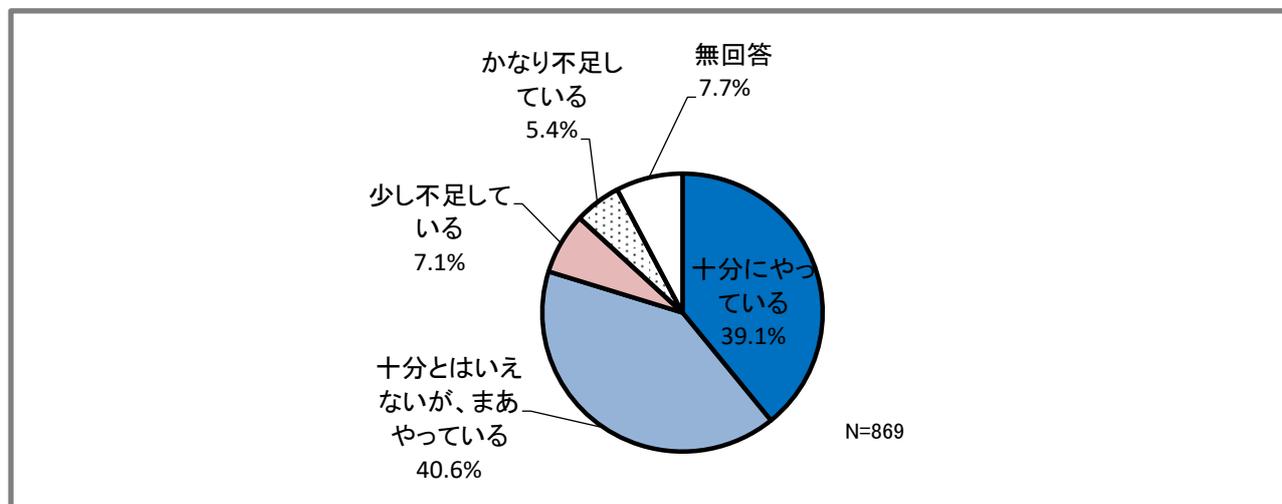
- ふだんの生活の中での親子のコミュニケーションについて「まあまあとれている」の回答割合が56.7%と最も高く、次いで「十分とれている」が39.1%、「あまりとれていない」が3.3%となっている。

問29 お子さんの発達や発育について、他の子どもと比べて気になることがありますか。（1つだけ○）



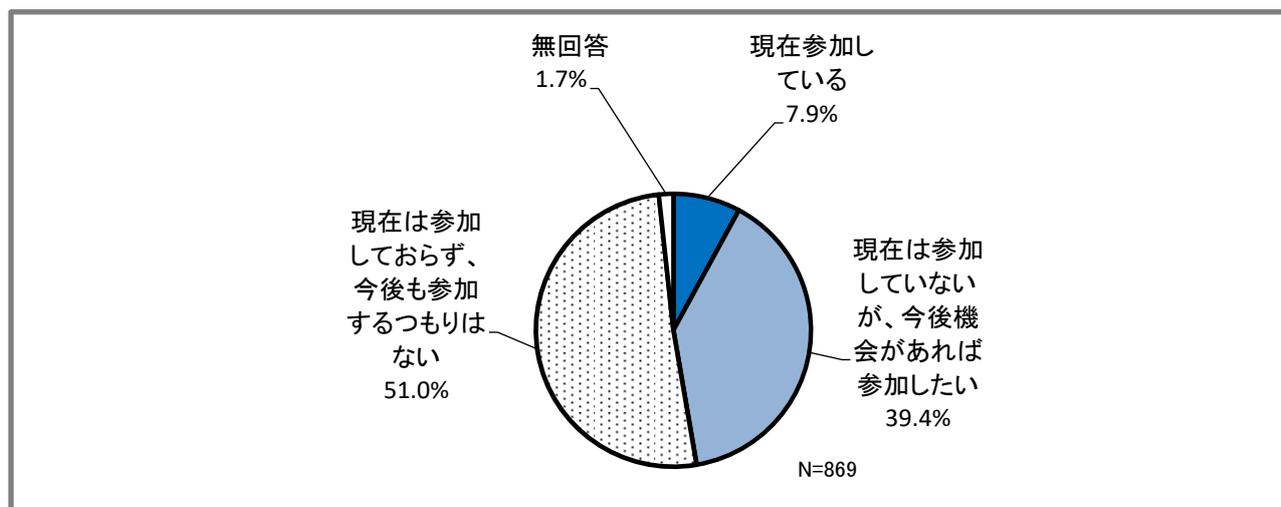
- 子どもの発達や発育について、他の子どもと比べて気になることがあるかについては「多少は気になる」の回答割合が36.2%と最も高く、次いで「あまり気にならない」が35.7%、「全く気にならない」が17.3%となっている。

問30 あなたの家庭では、お父さんはどの程度子育てをしていますか。（1つだけ○）



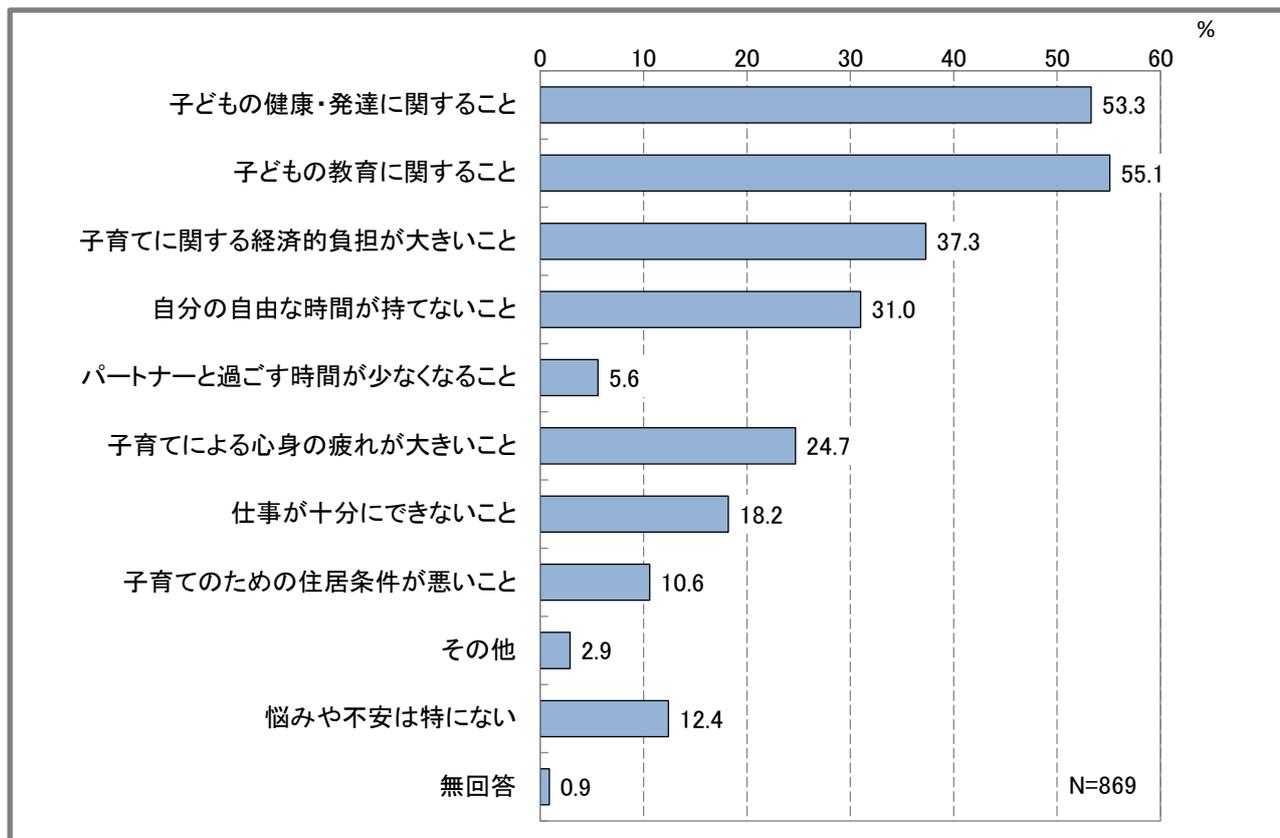
- お父さんの子育てについては「十分とはいえないが、まあやっている」の回答割合が40.6%と最も高く、次いで「十分にやっている」が39.1%、「少し不足している」が7.1%となっている。

問31 あなたは子育てに関するサークルなど、自主的な活動に参加していますか。（1つだけ○）



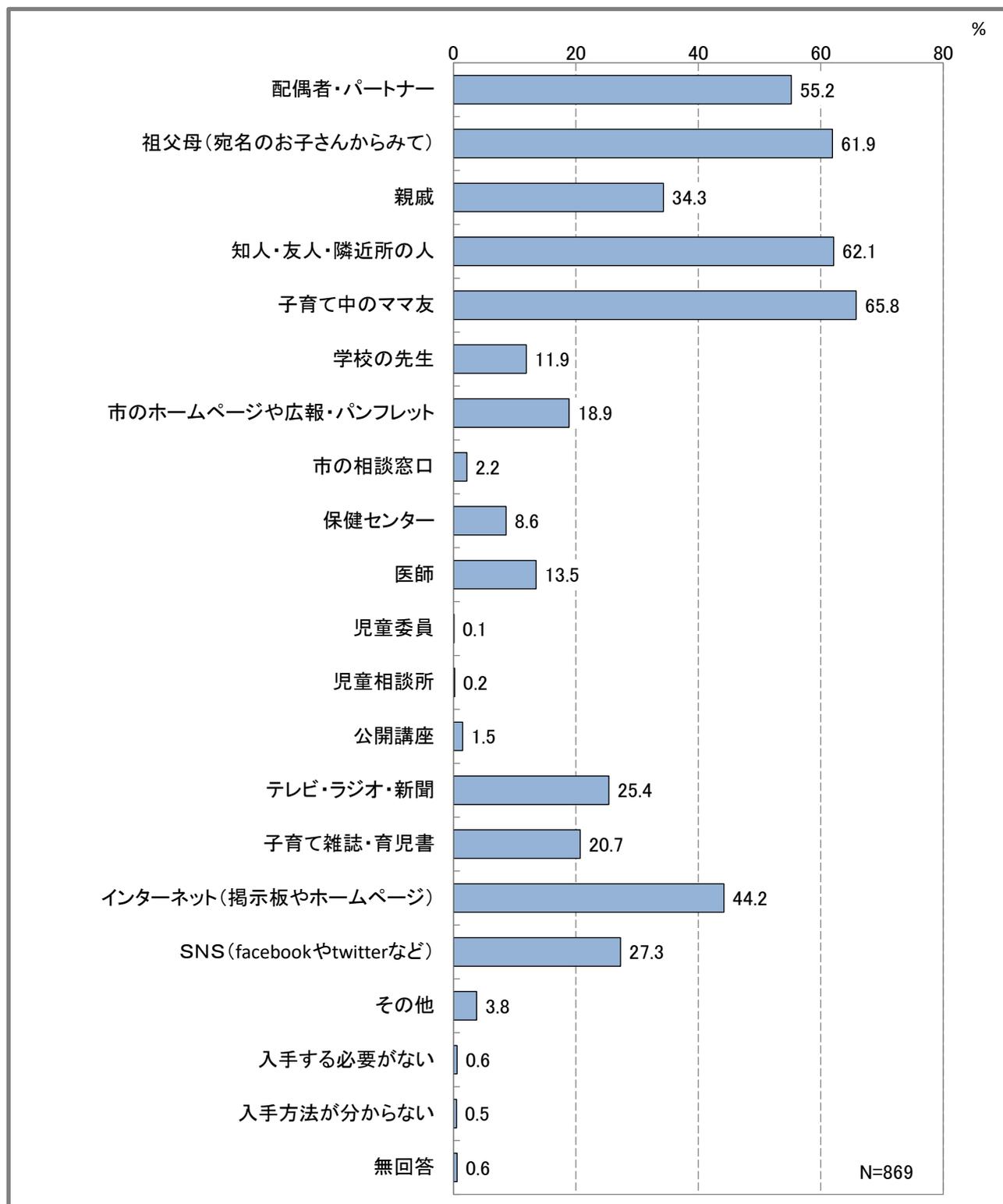
- 子育てに関するサークル等への参加については「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の回答割合が 51.0%と最も高く、次いで「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が 39.4%、「現在参加している」が 7.9%となっている。

問32 子育てをする上で、どのような悩みや不安がありますか。
 （あてはまるものすべてに○）



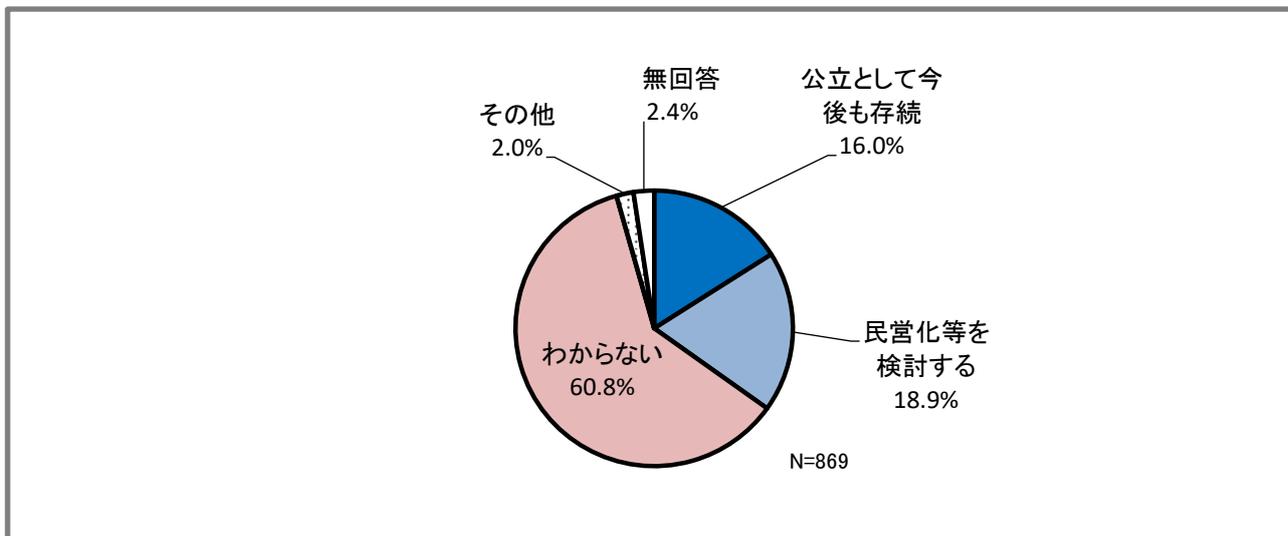
- 子育ての悩みや不安としては「子どもの教育に関すること」の回答割合が 55.1%と最も高く、次いで「子どもの健康・発達に関すること」が 53.3%、「子育てに関する経済的負担が大きいこと」が 37.3%となっている。

問33 あなたは子育てに関する情報はどこから得ていますか。
（あてはまるものすべてに○）



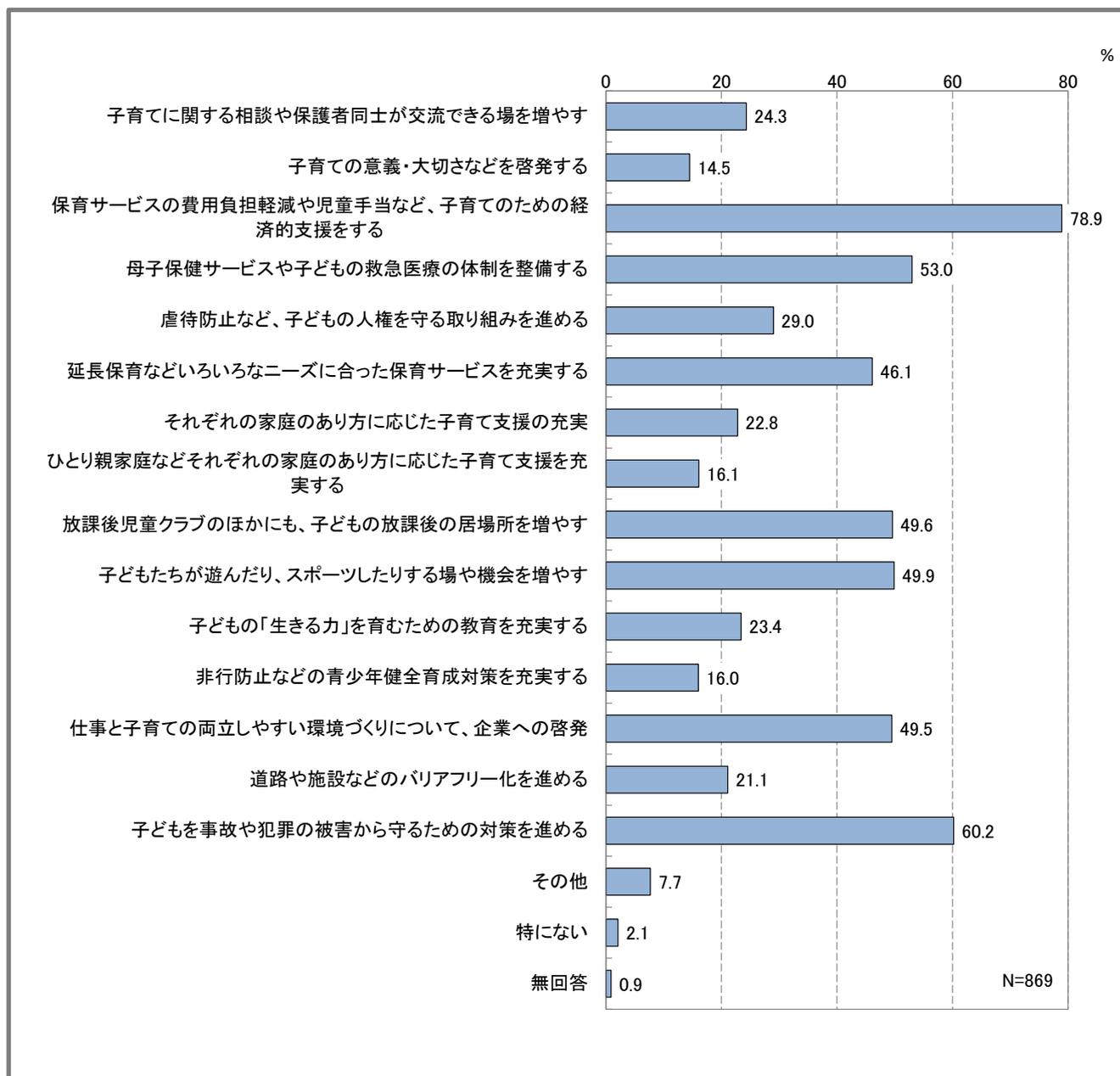
- 子育てに関する情報源については「子育て中のママ友」の回答割合が 65.8%と最も高く、次いで「知人・友人・隣近所の人」が 62.1%、「祖父母（宛名のお子さんからみて）」が 61.9%となっている。

問34 現在、荒尾市の公立保育所は荒尾市清里保育園の1園のみですが、老朽化等の問題を抱えております。今後の運営の在り方についてご意見をお聞かせください。（1つだけ○）



- 荒尾市の公立保育所の老朽化等の問題における、今後の運営の在り方については「わからない」の回答割合が60.8%と最も高く、次いで「民営化等を検討する」が18.9%、「公立として今後も存続」が16.0%となっている。

問35 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを期待しますか。
（あてはまるものすべてに○）

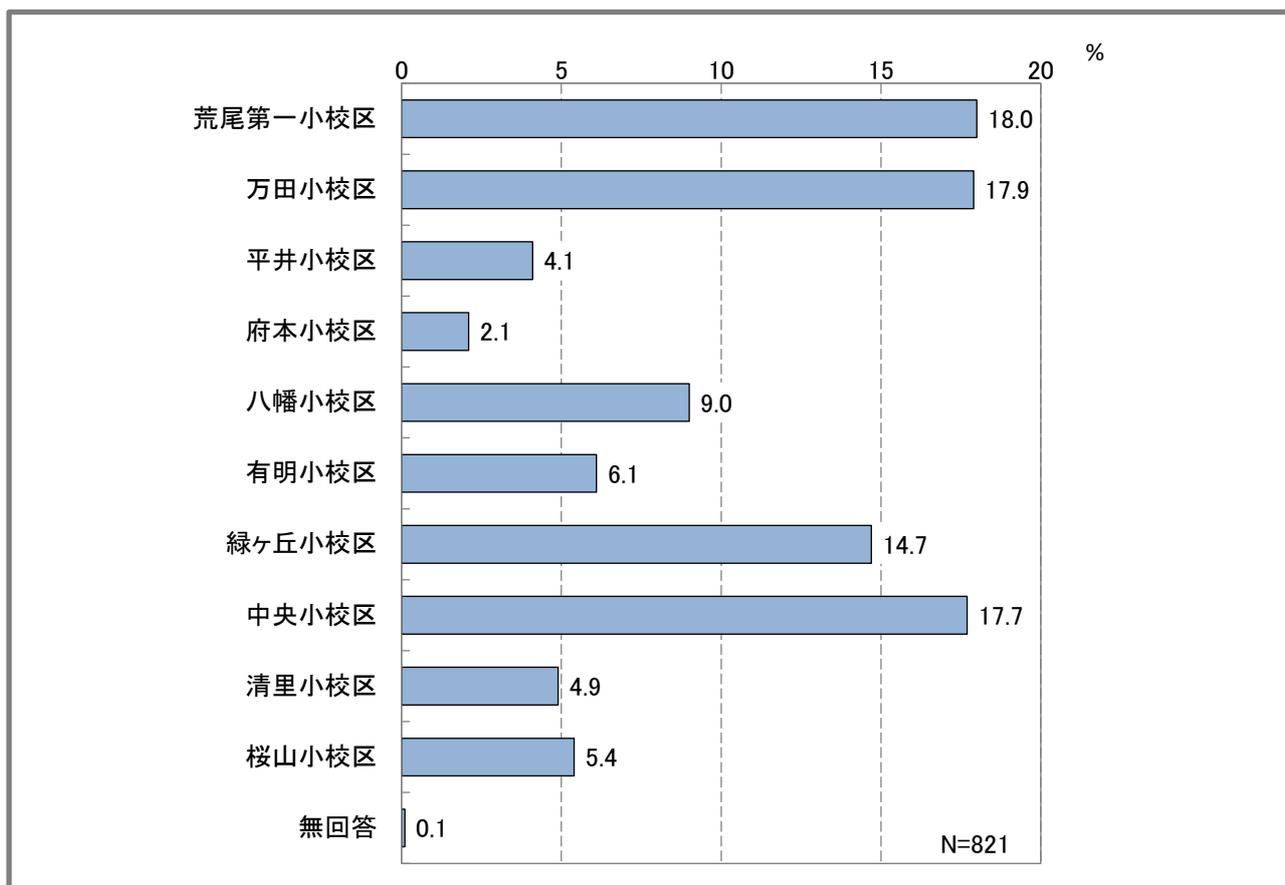


- 市に充実を期待する子育て支援については「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、経済的支援をする」の回答割合が78.9%と最も高く、次いで「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策を進める」が60.2%、「母子保健サービスや子どもの救急医療の体制を整備する」が53.0%となっている。

第2章 小学校の保護者に対する調査

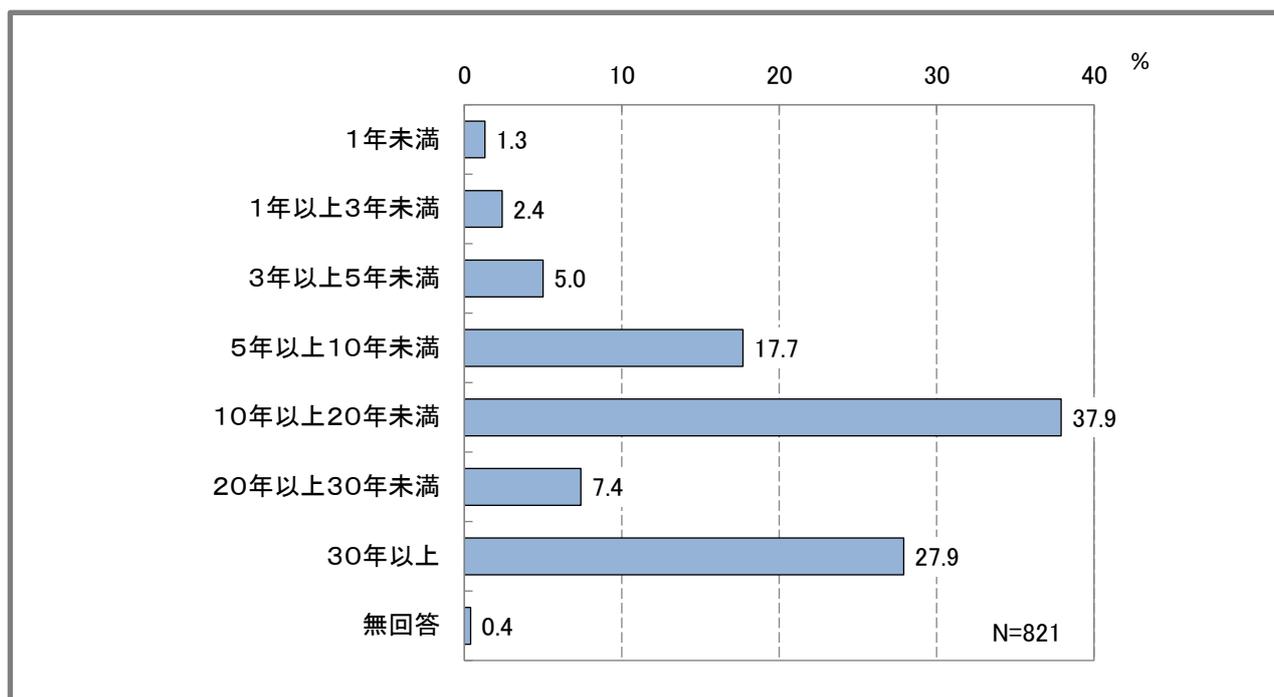
1. お住いの地域について

問1 あなたのお住まいの小校区は次のうちどちらですか。（1つだけ○）



- 居住地区については「荒尾第一小校区」の回答割合が18.0%と最も高く、次いで「万田小校区」が17.9%、「中央小校区」が17.7%となっている。

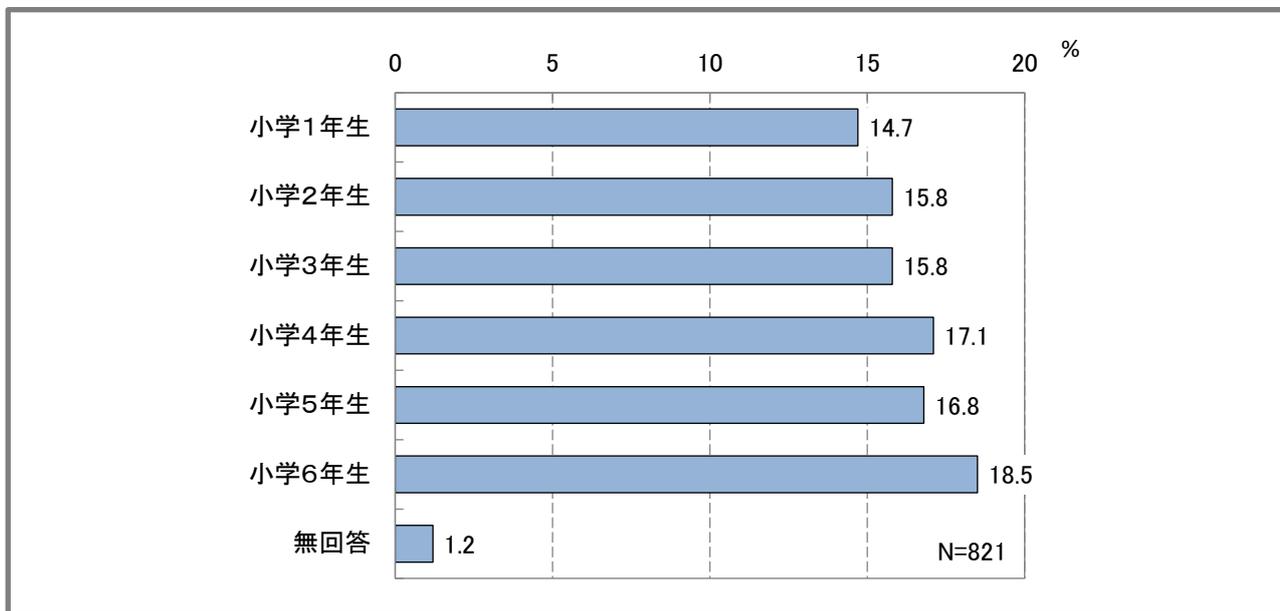
問2 あなたは荒尾市に住んで何年になりますか。（1つだけ○）



- 居住年数については「10年以上20年未満」の回答割合が37.9%と最も高く、次いで「30年以上」27.9%、「5年以上10年未満」17.7%となっている。

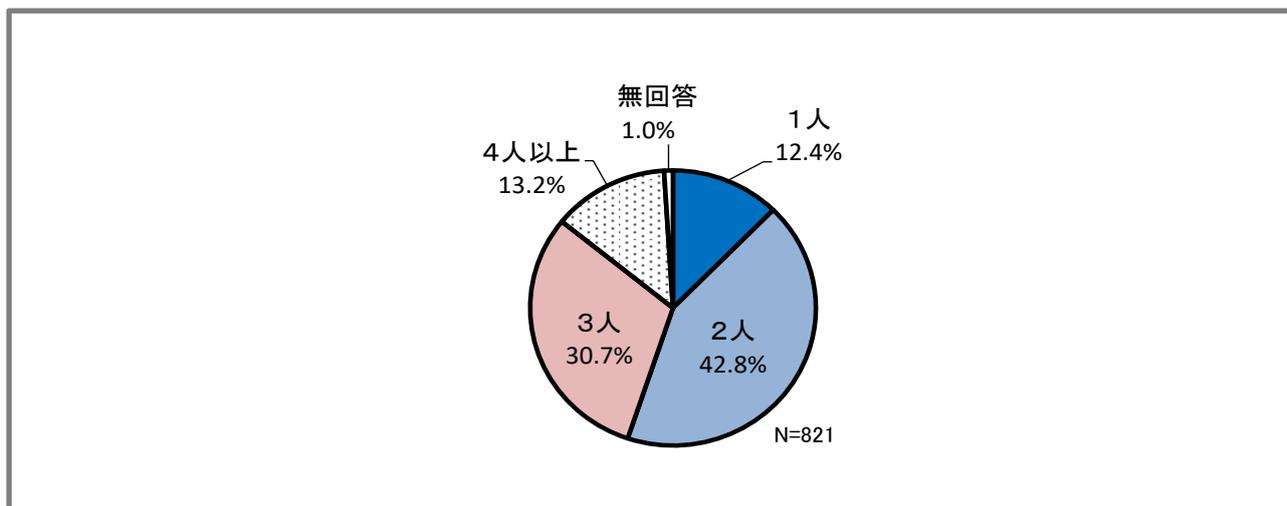
2. 宛名のお子さんご家族の状況について

問3 宛名のお子さんの学年をご記入ください。



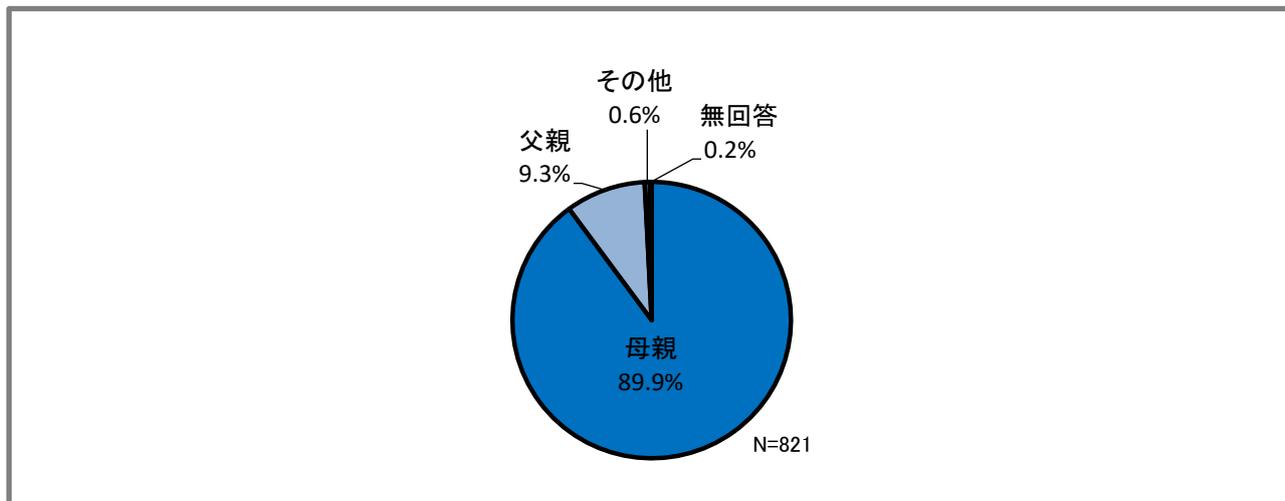
- 子どもの学年比率は、上のおおりで、「小学6年生」の割合が 18.5%と最も高くなっている。

問4 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。



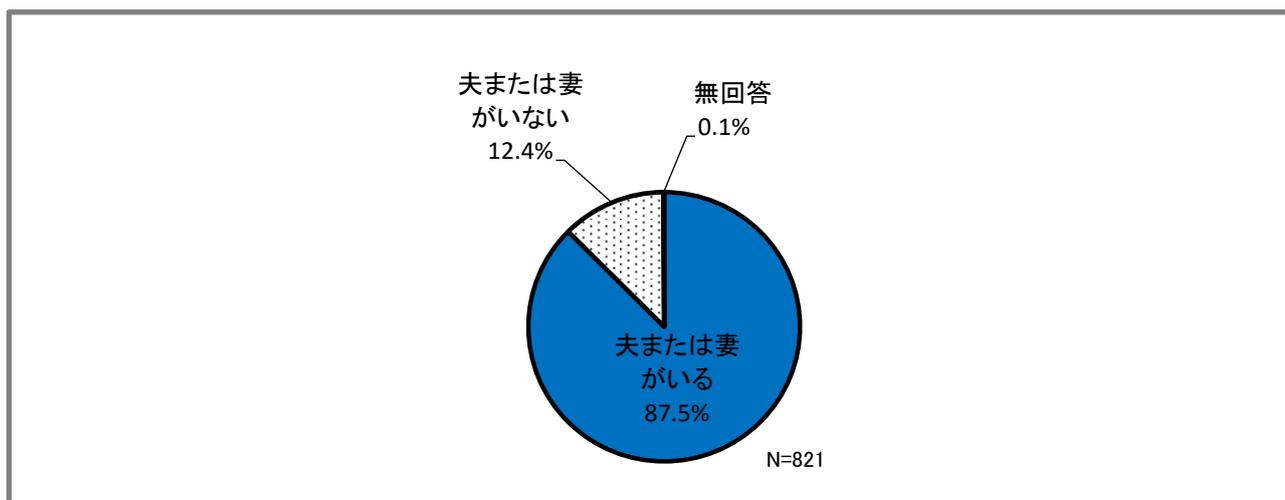
- きょうだいの人数については、「2人」の回答割合が 42.8%と最も高く、次いで「3人」が 30.7%、「4人以上」が 13.2%となっている。

問5 このアンケートにご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。（1つだけ〇）



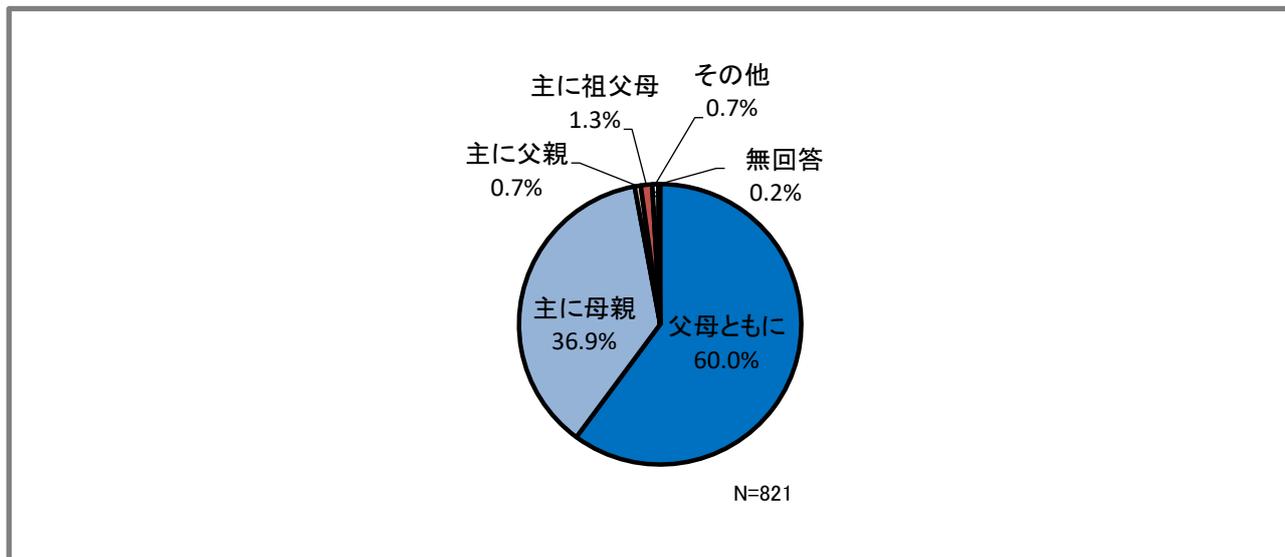
- 回答者は「母親」が89.9%と圧倒的に多く、「父親」は9.3%となっている。

問6 このアンケートにご回答いただいている方についてお答えください。（1つだけ〇）



- 回答者の配偶関係については「夫または妻がいる」が87.5%、「夫または妻がない」が12.4%となっている。

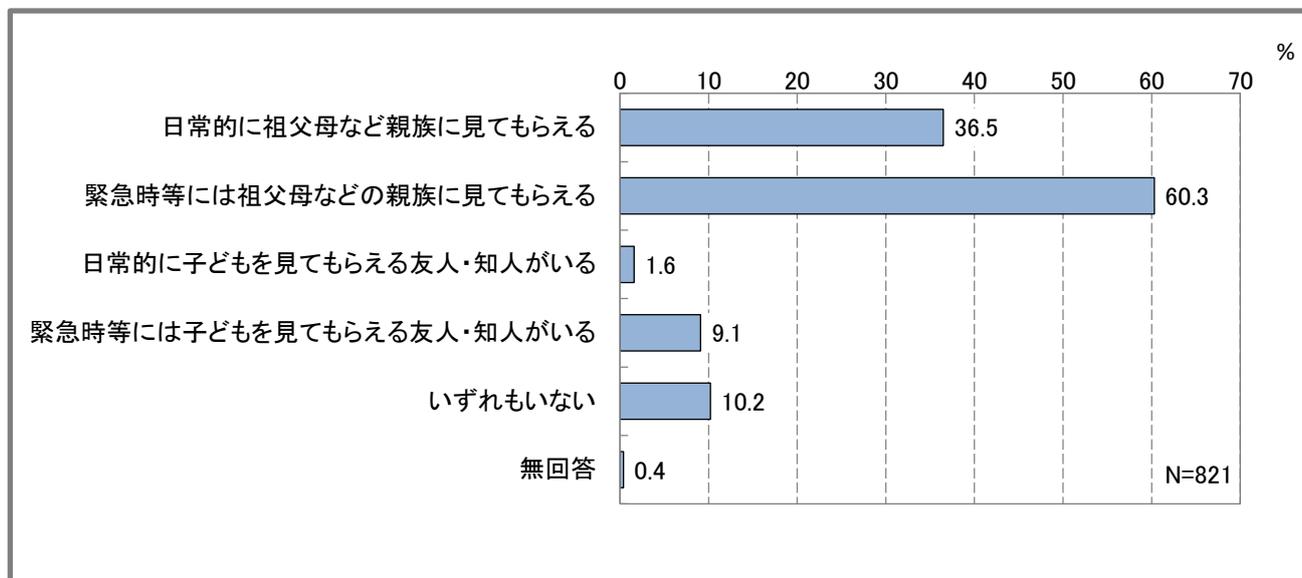
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係であてはまる番号1つに○をつけてください。



- 子どもの子育てを主に行っている人については「父母ともに」の回答割合が60.0%と最も高く、次いで「主に母親」が36.9%、「主に祖父母」が1.3%となっている。

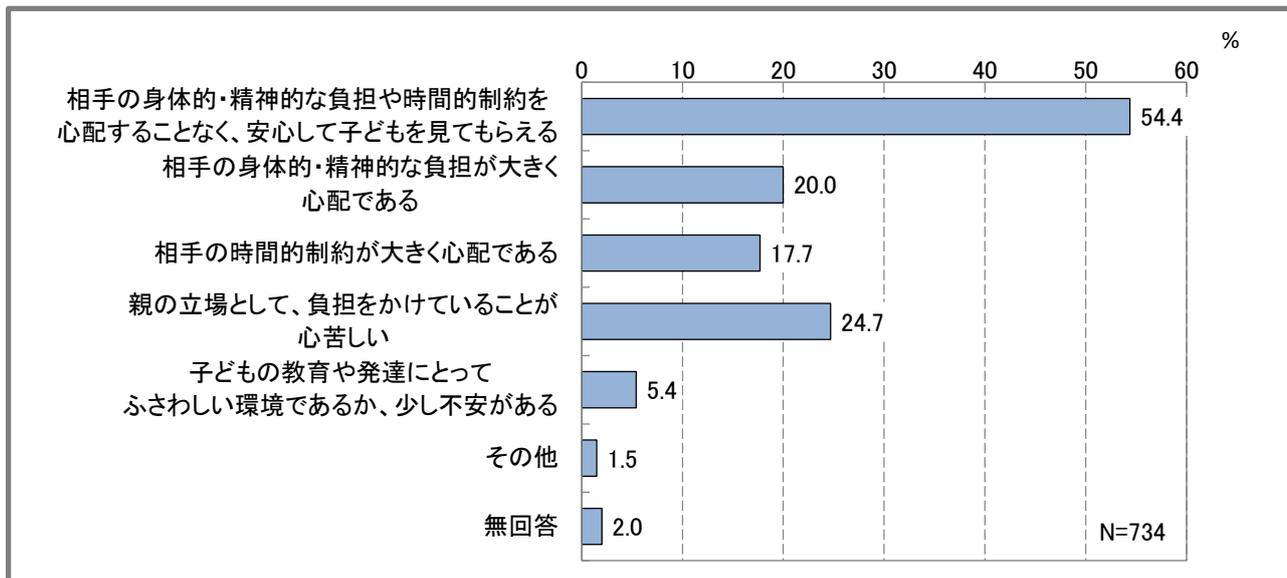
3. 子育ての環境について

問8 日頃、宛名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)



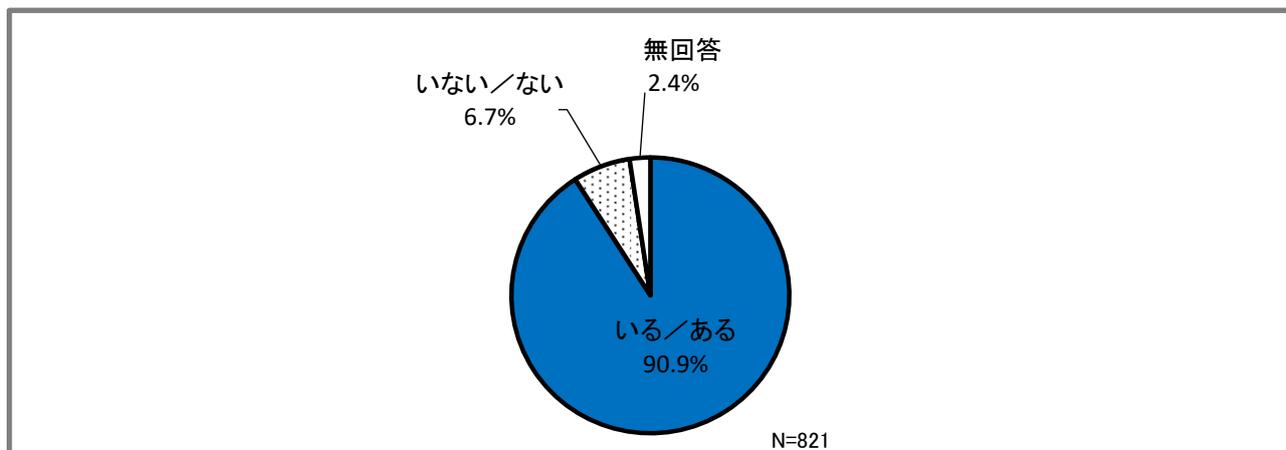
- 子どもを預かってもらえる人がいるかについては「緊急時等に祖父母などの親族に見てもらう」の回答割合が60.3%と最も高く、次いで「日常的に祖父母などの親族に見てもらう」が36.5%、「いずれもない」が10.2%となっている。

問8-1 問8で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。お子さんを見てもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）



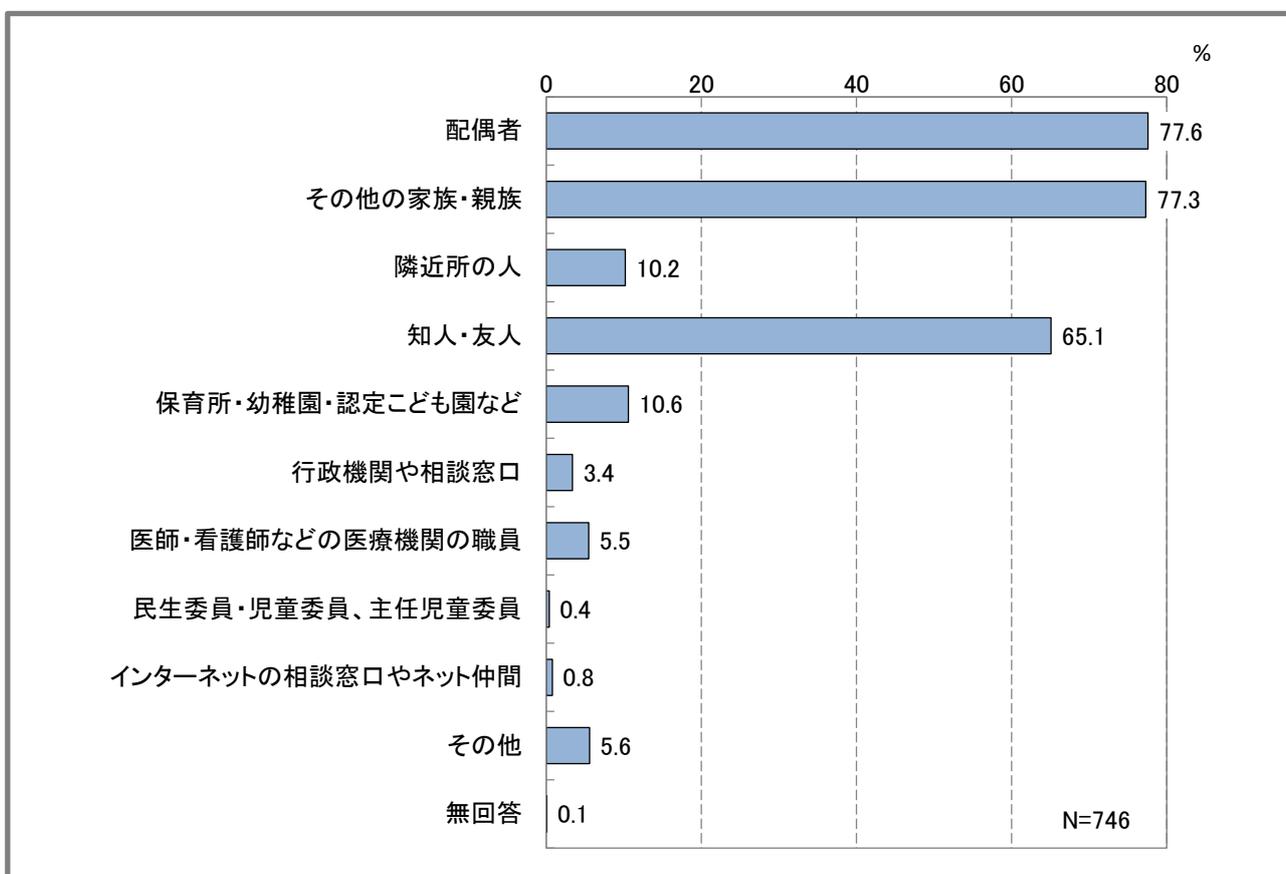
- 子どもを預かってもらえる人の状況については「相手の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して見てもらえる」の回答割合が54.4%と最も高く、次いで「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が24.7%、相手の身体的・精神的な負担が大きく心配である」が20.0%となっている。

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。（1つだけ○）



- 子育てについて気軽に相談できる人や場所については「いる/ある」が90.9%、「いない/ない」が6.7%となっている。

問9-1 問9で「1.いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

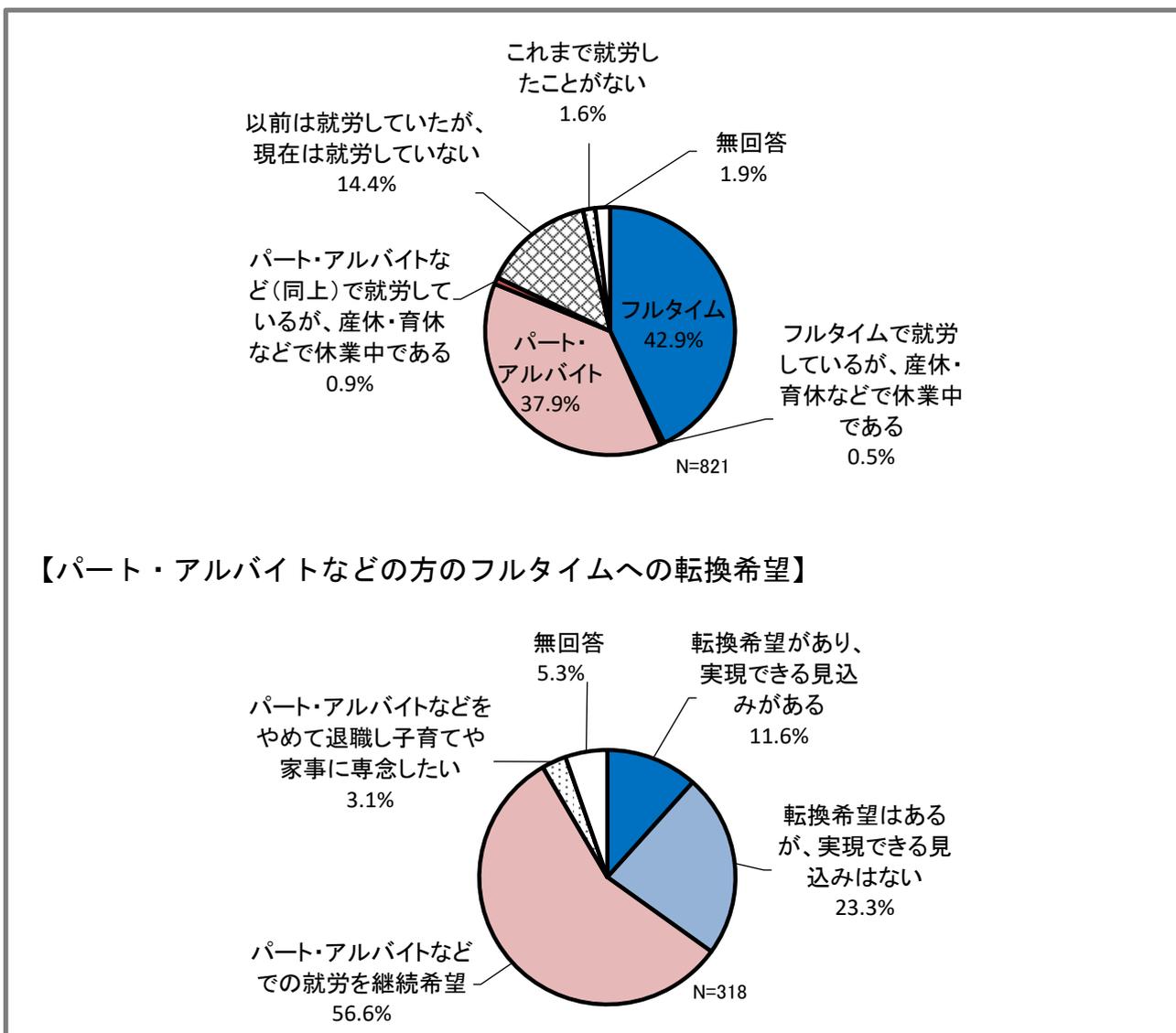


- 子育てに関する相談先については「配偶者」の回答割合が77.6%と最も高く、次いで「その他の家族・親族」が77.3%、「知人・友人」が65.1%となっている。

4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

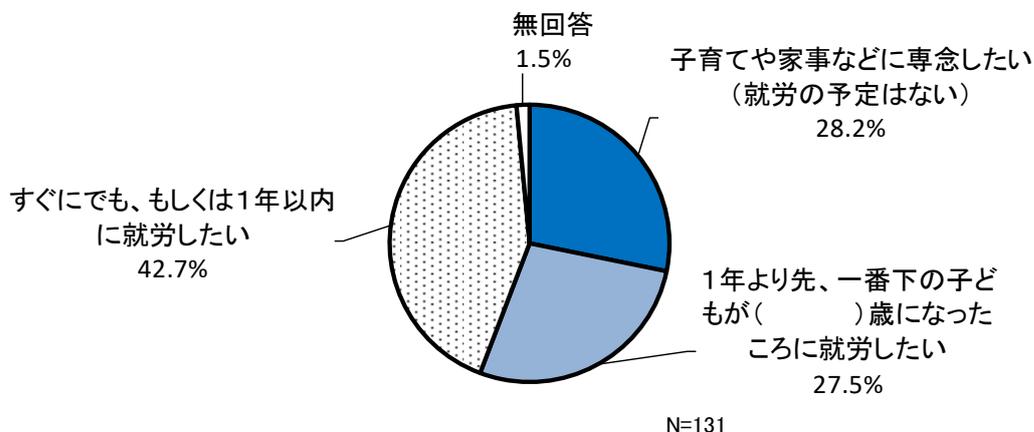
（1）母親【父子家庭の場合は記入不要】



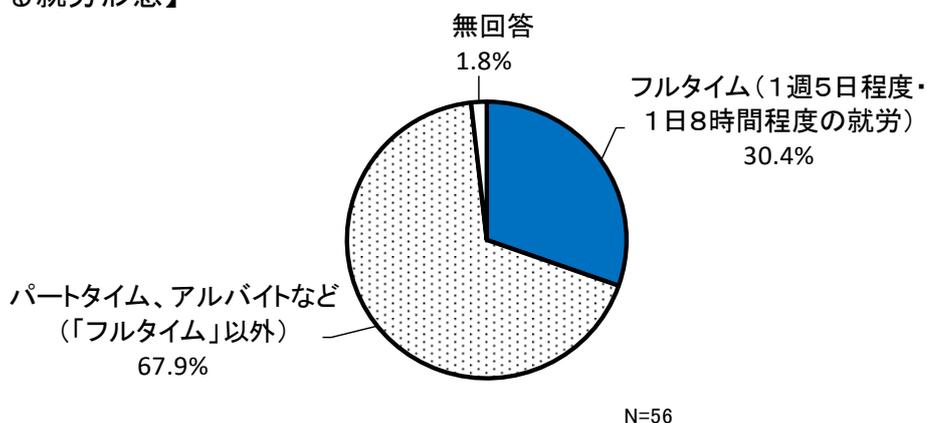
- 母親の就労状況については「フルタイム」の回答割合が42.9%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が37.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が14.4%となっている。
- パート・アルバイトなどの方のフルタイムへの転換希望については「パート・アルバイトなどでの就労を継続希望」の回答割合が56.6%と最も高く、次いで「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が23.3%、「転換希望があり、実現できる見込みがある」が11.6%となっている。

（1）母親【父子家庭の場合は記入不要】

【非就労者の就労意向】

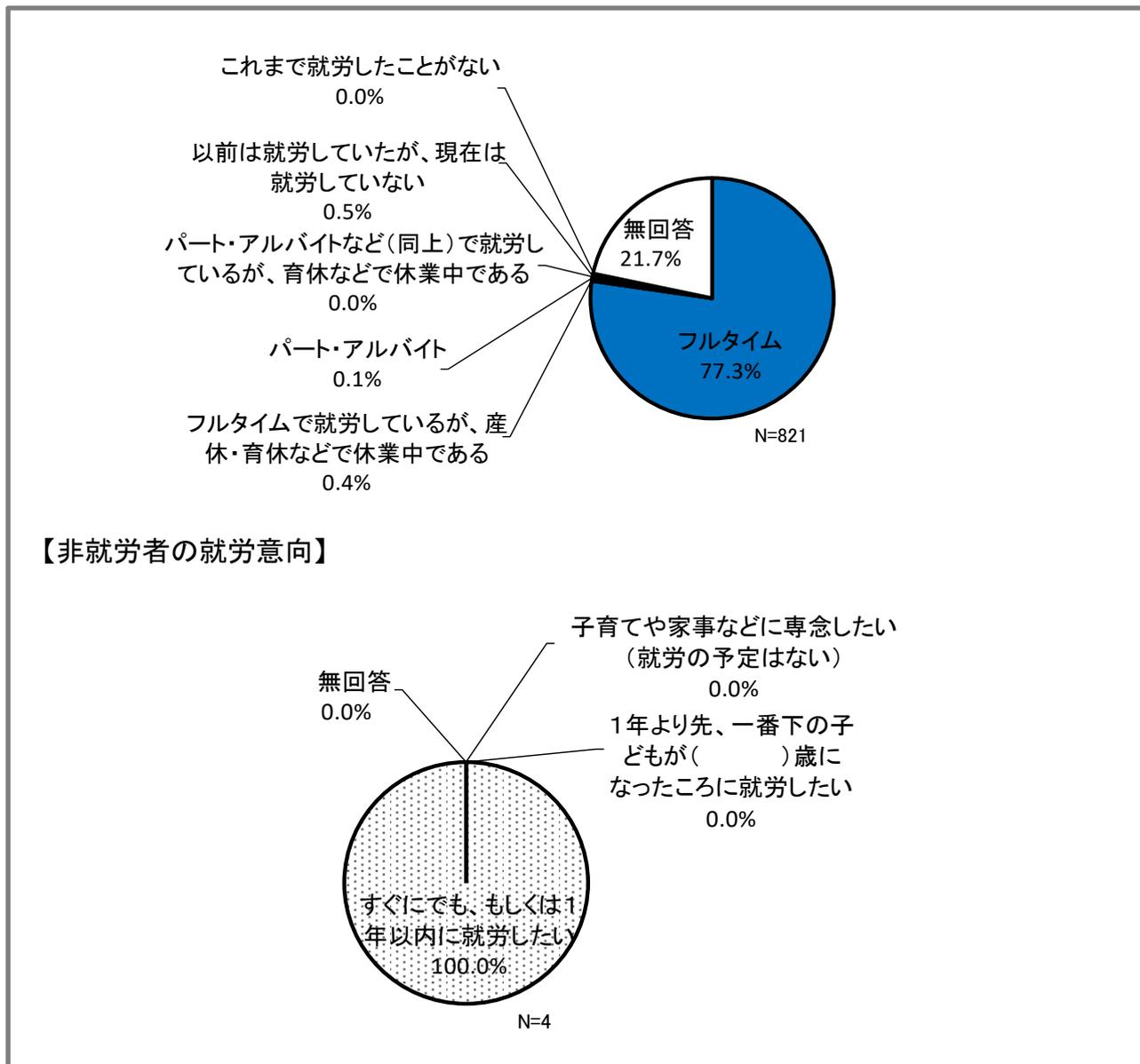


【希望する就労形態】



- 現在就労していない母親の就労希望については「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が42.7%、「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい」が27.5%となっている。
- 就労希望がある方の希望の就労形態については「パートタイム、アルバイトなど（「フルタイム」以外）」が67.9%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が30.4%となっている。

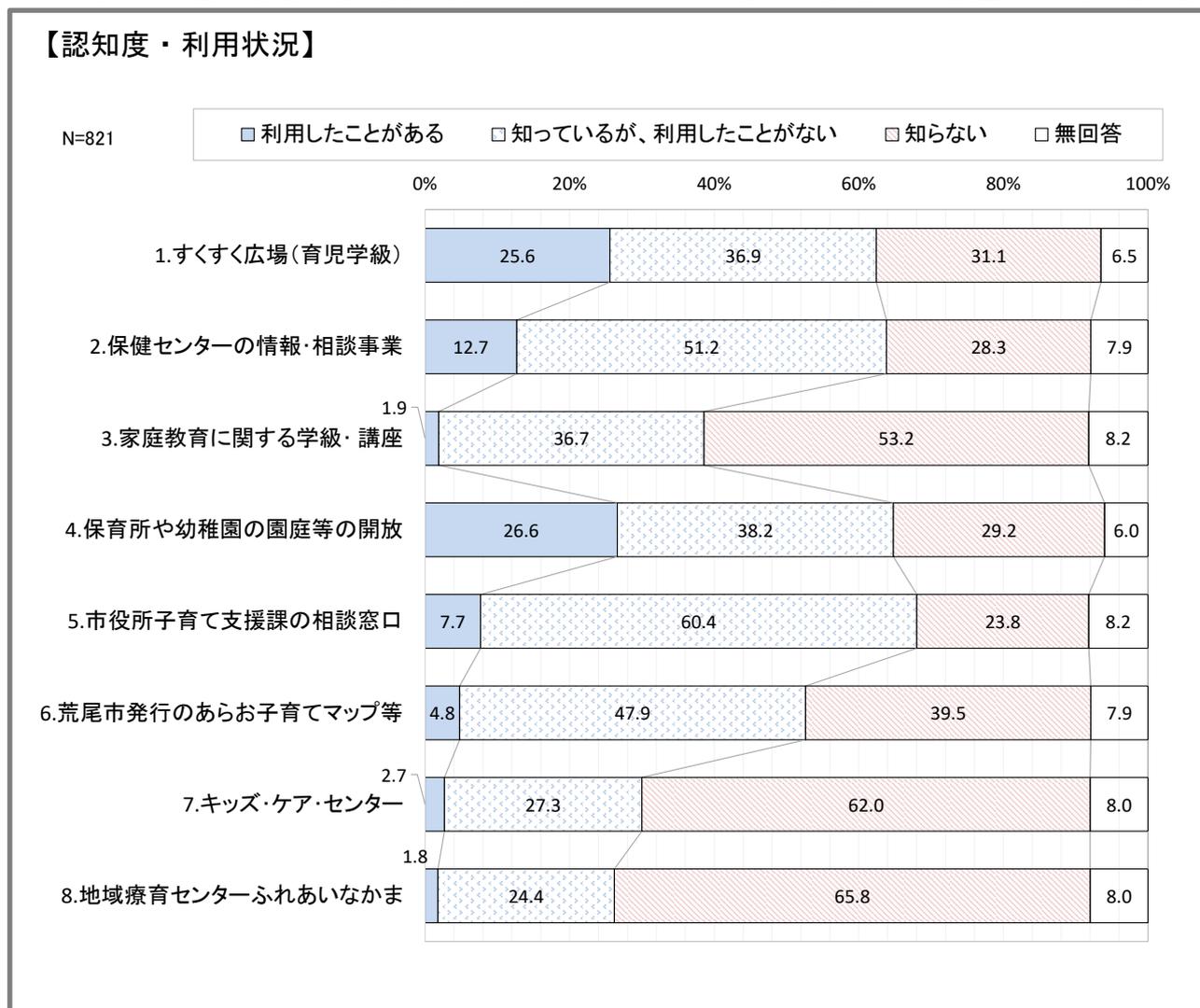
（2）父親【母子家庭の場合は記入不要】



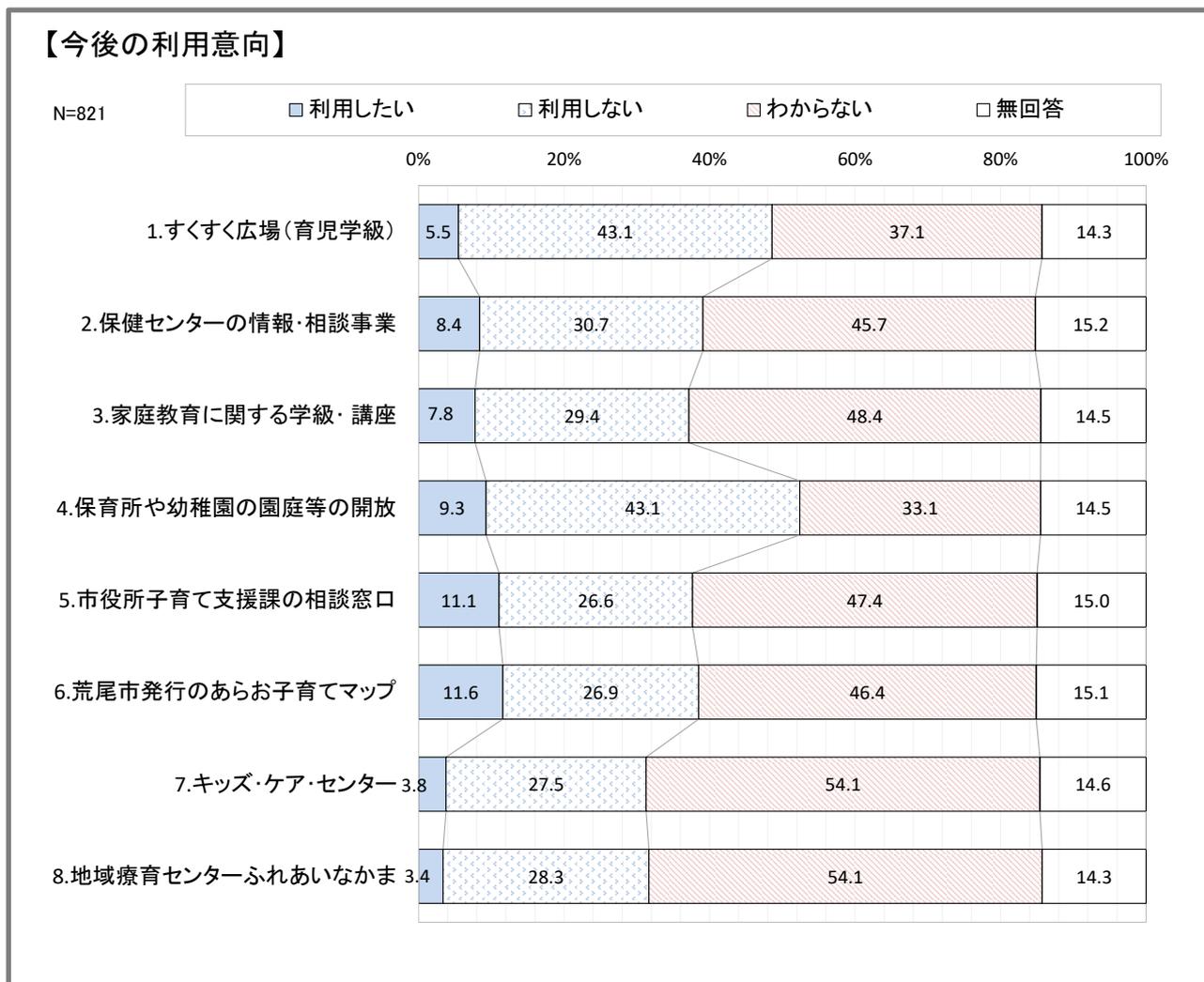
- 父親の就労状況については「フルタイム」の回答割合が77.3%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.5%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休などで休業中である」が0.4%となっている。
- 現在就労していない父親については「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の回答割合が100.0%となっている。

5. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問11 下記の支援サービスをこれまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。それぞれのサービスごとにあてはまるものを選んでください。



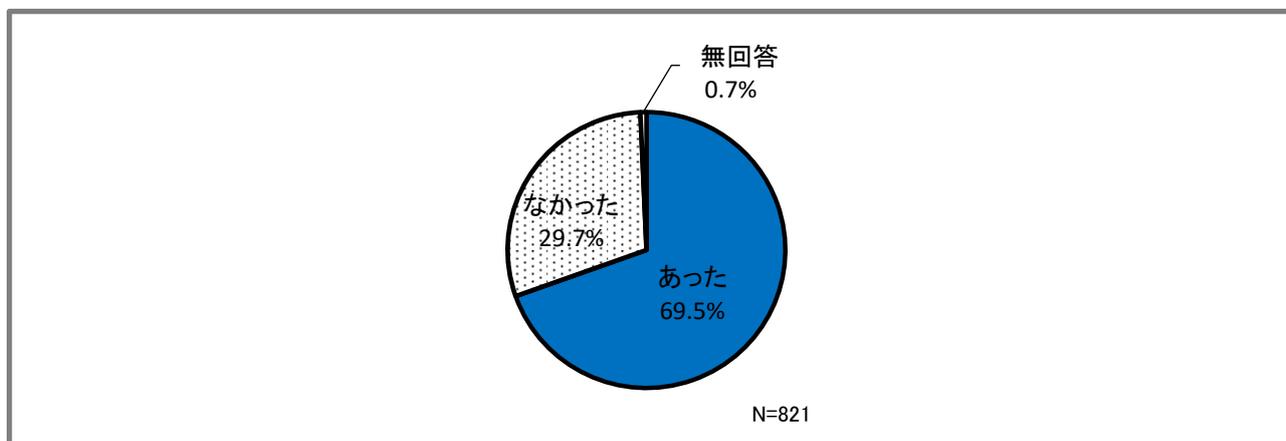
- 8つの支援サービスのうち「利用したことがある」と回答した人の割合が最も高かったのは、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」(26.6%)で、次いで「すくすく広場(育児学級)」(25.6%)がそれに続いている。
- 認知度が最も低かったのは「地域療育センターふれあいなかま」で、65.8%の人が「知らない」と回答しており、「キッズ・ケア・センター」(62.0%)や「家庭教育に関する学級・講座」(53.2%)も「知らない」という回答が多くなっている。



- 今後の利用意向が最も高かったのは「荒尾市発行のあらお子育てマップ」(11.6%)で、「市役所子育て支援課の相談窓口」(11.1%)がそれに続いている。

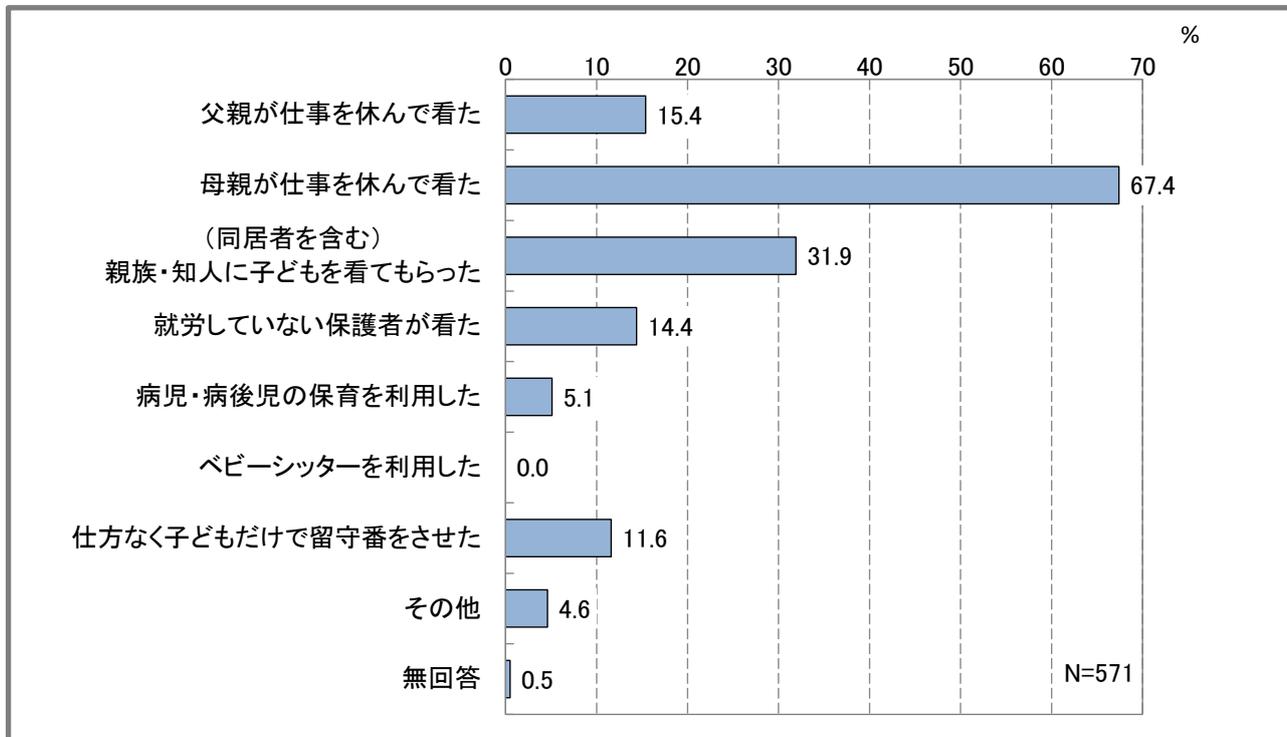
6. 宛名のお子さんの病気の際の対応について

問12 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかったことはありましたか。



- この1年間に、対象の子どもが病気やけがで学校を休まなければならないことがあったかについては「あった」が69.5%、「なかった」が29.7%となっている。

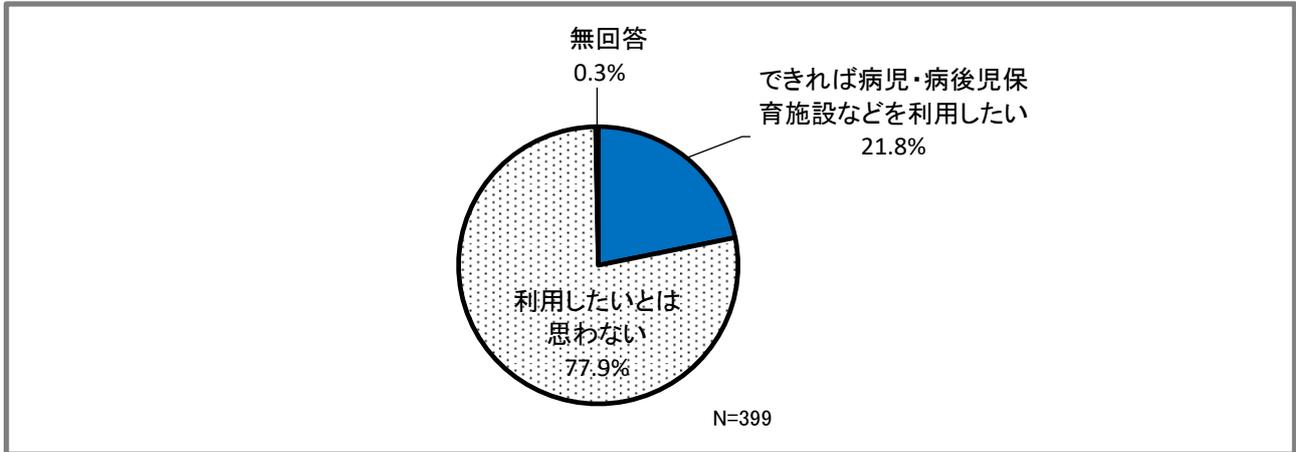
問12-1 お子さんが病気や病後（感染症など）、またはけがで学校を休んだり、放課後児童クラブなどの預かりサービスが利用できなかったりしたことがあった場合の、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけてください。



- 子どもの病気やけがで学校を休んだり、学童保育などの預かりサービスが利用できなかったりした場合の対処方法については「母親が仕事を休んで見た」の回答割合が67.4%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」が31.9%、「父親が仕事を休んで見た」が15.4%となっている。

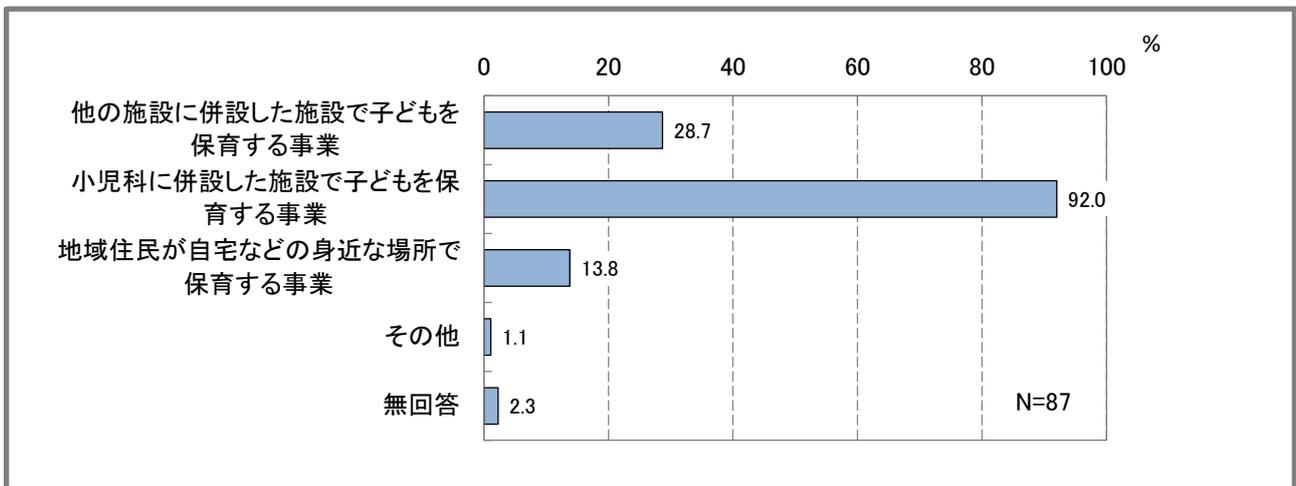
問12-2 問12-1で「ア.父親が休んだ」「イ.母親が休んだ」のいずれかに回答した方
にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われ
ましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



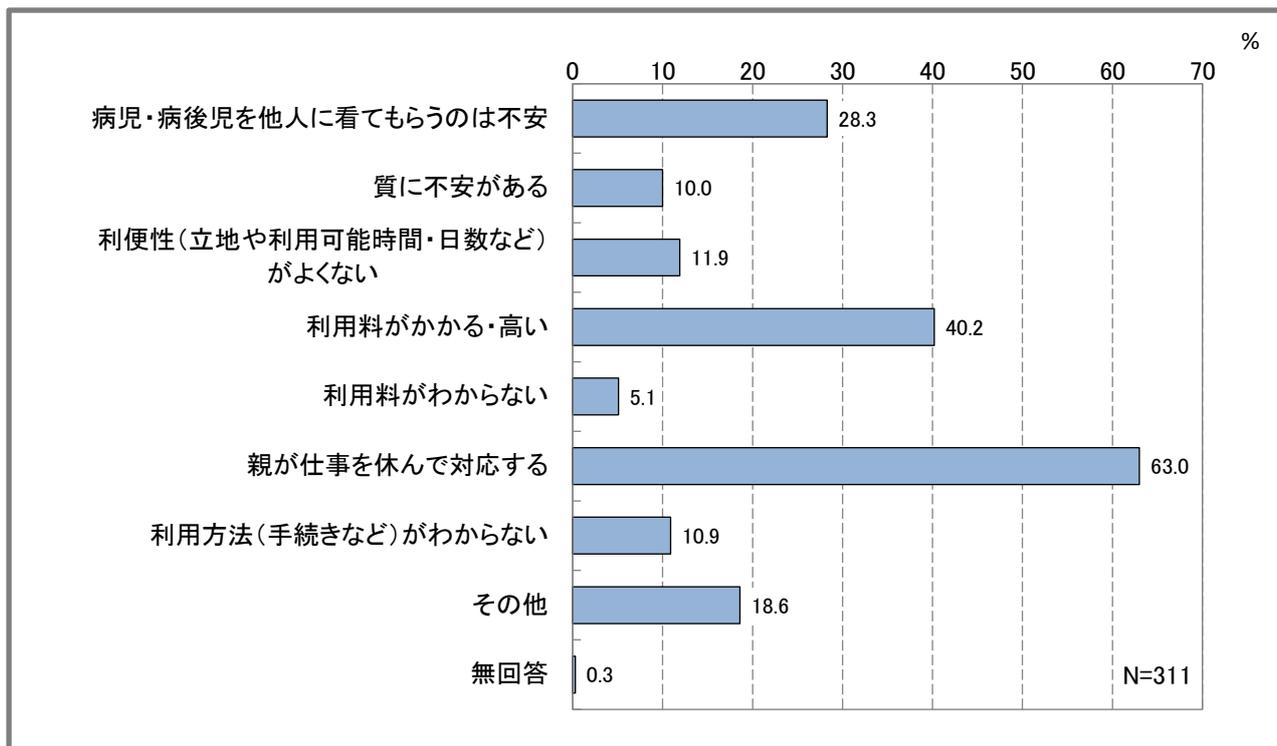
- 前問で、両親のいずれかが（仕事を）休んだと回答した人が、できれば病児・病後児保育施設などを利用したいと思ったかどうかについては「利用したいとは思わない」が77.9%、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」が21.8%となっている。

問12-3 問12-2で「1.できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」に○をつ
けた方うかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事
業形態が望ましいと思われますか。（あてはまるものすべてに○）



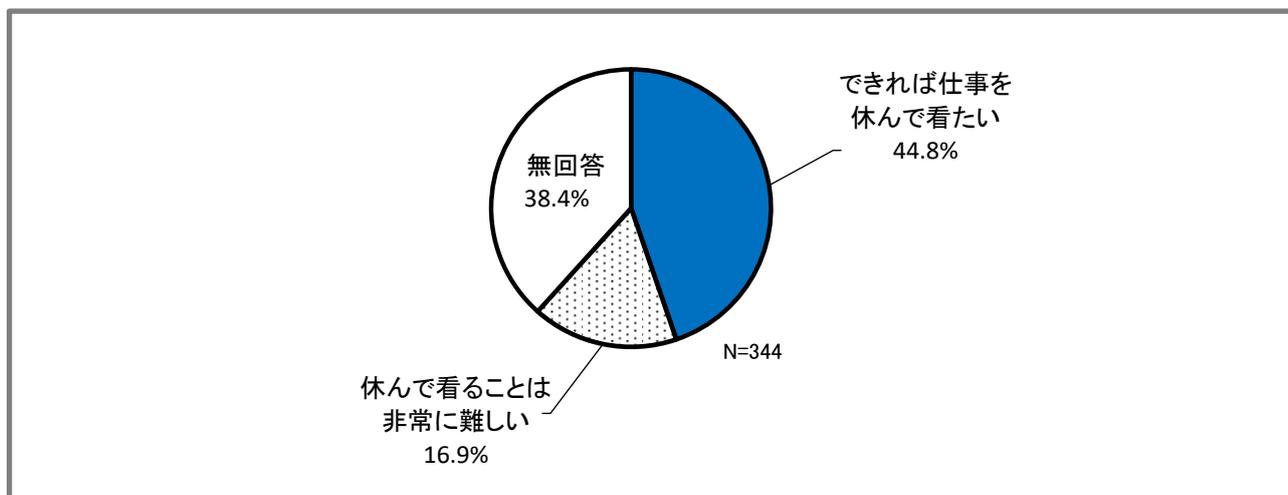
- 前問で、できれば病児・病後児保育施設などを利用したいと回答した人の希望する事業形態については「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の回答割合が92.0%と最も高く、ついで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が28.7%、「地域住民が自宅などの身近な場所で保育する事業」が13.8%となっている。

問12-4 問12-2で「2.利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



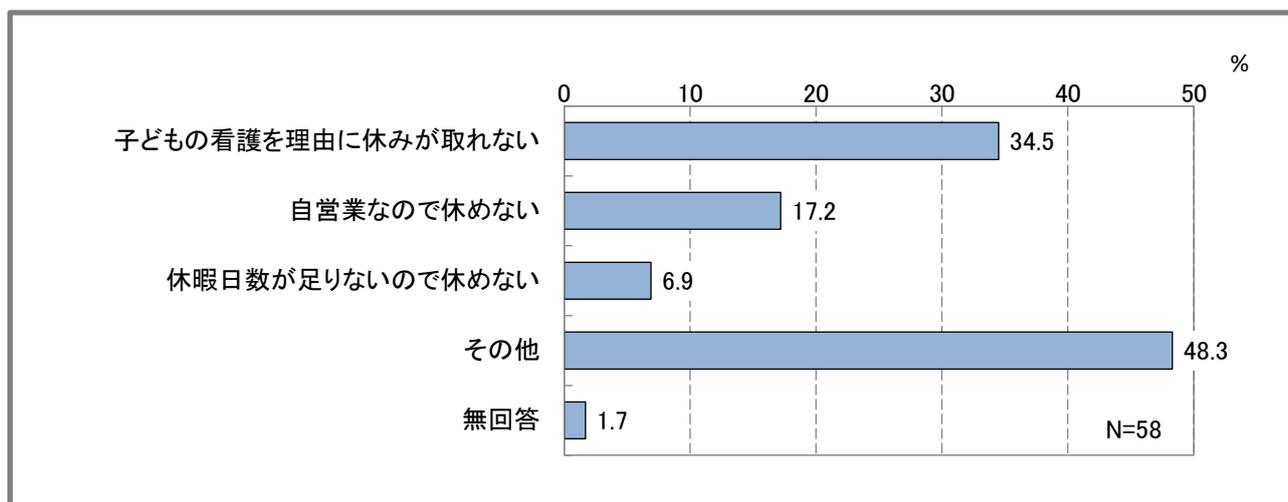
- 問12-2で、病児・病後児のための保育施設などを「利用したいとは思わない」と回答した人の理由については「親が仕事を休んで対応する」の割合が63.0%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が40.2%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が28.3%となっている。

問12-5 問12-1で「ウ。」から「ク。」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



- 問12-1で両親以外の方が対処したと回答した人が、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかどうかについては「できれば仕事を休んで看たい」が44.8%、「休んで看ることは非常に難しい」が16.9%となっている。

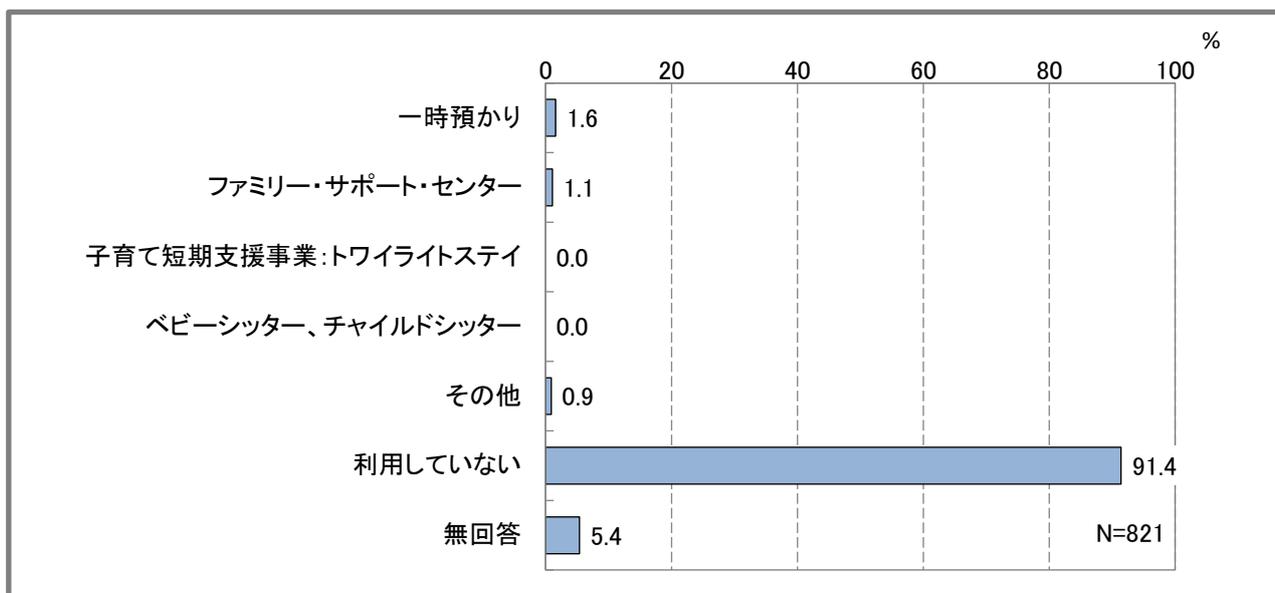
問12-6 問12-5で「休んで看ることは非常に難しい」理由は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）



- 前問で、「休んで看ることは非常に難しい」と回答した人の理由については「子どもの看護を理由に休みが取れない」の回答割合が34.5%と高く、次いで「自営業なので休めない」が17.2%、「休暇日数が足りないので休めない」が6.9%となっている。

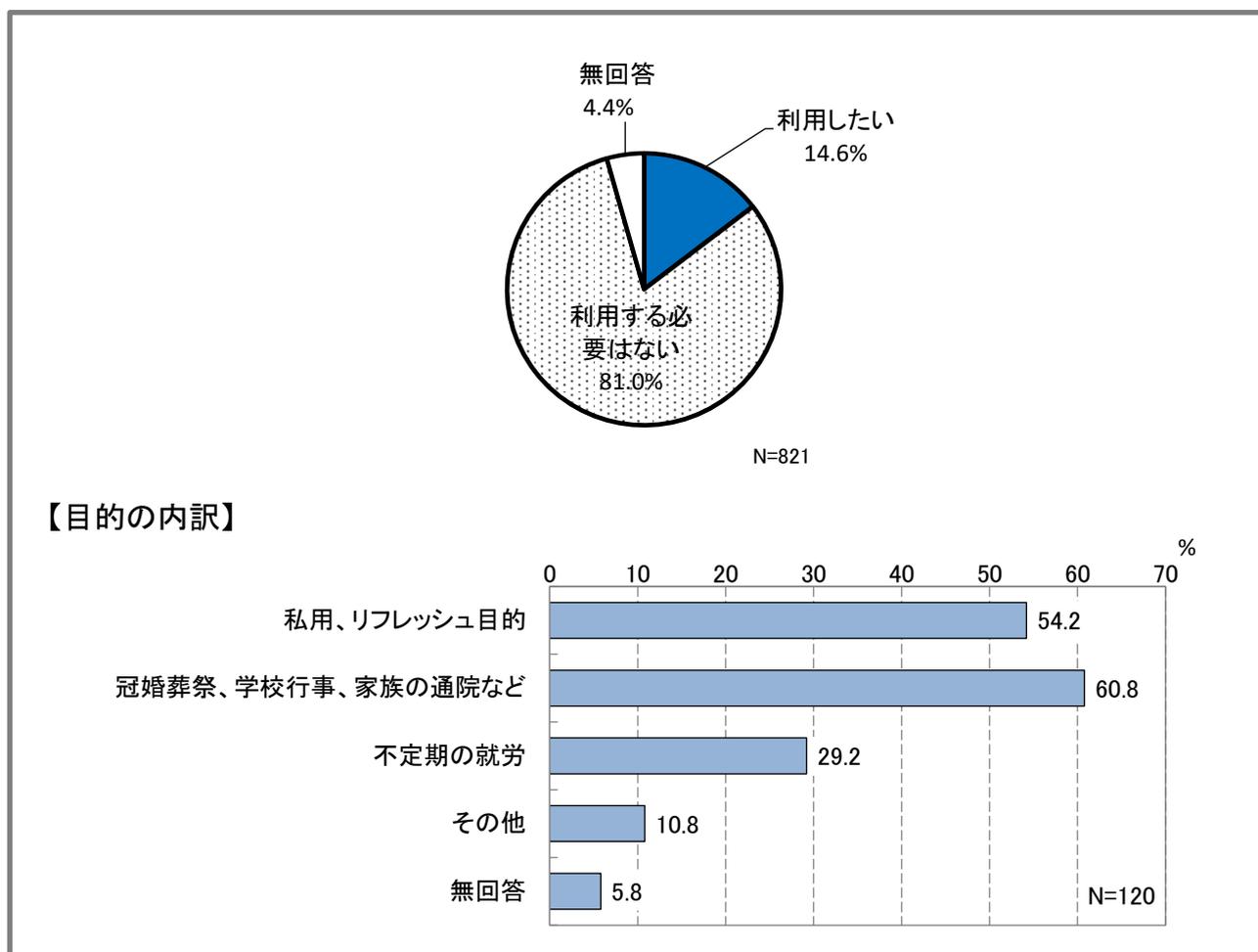
7. 宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問13 宛名のお子さんについて、病気のため以外に、私用（冠婚葬祭、リフレッシュなど）、親の通院、不特定の就労などの目的で不特定に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



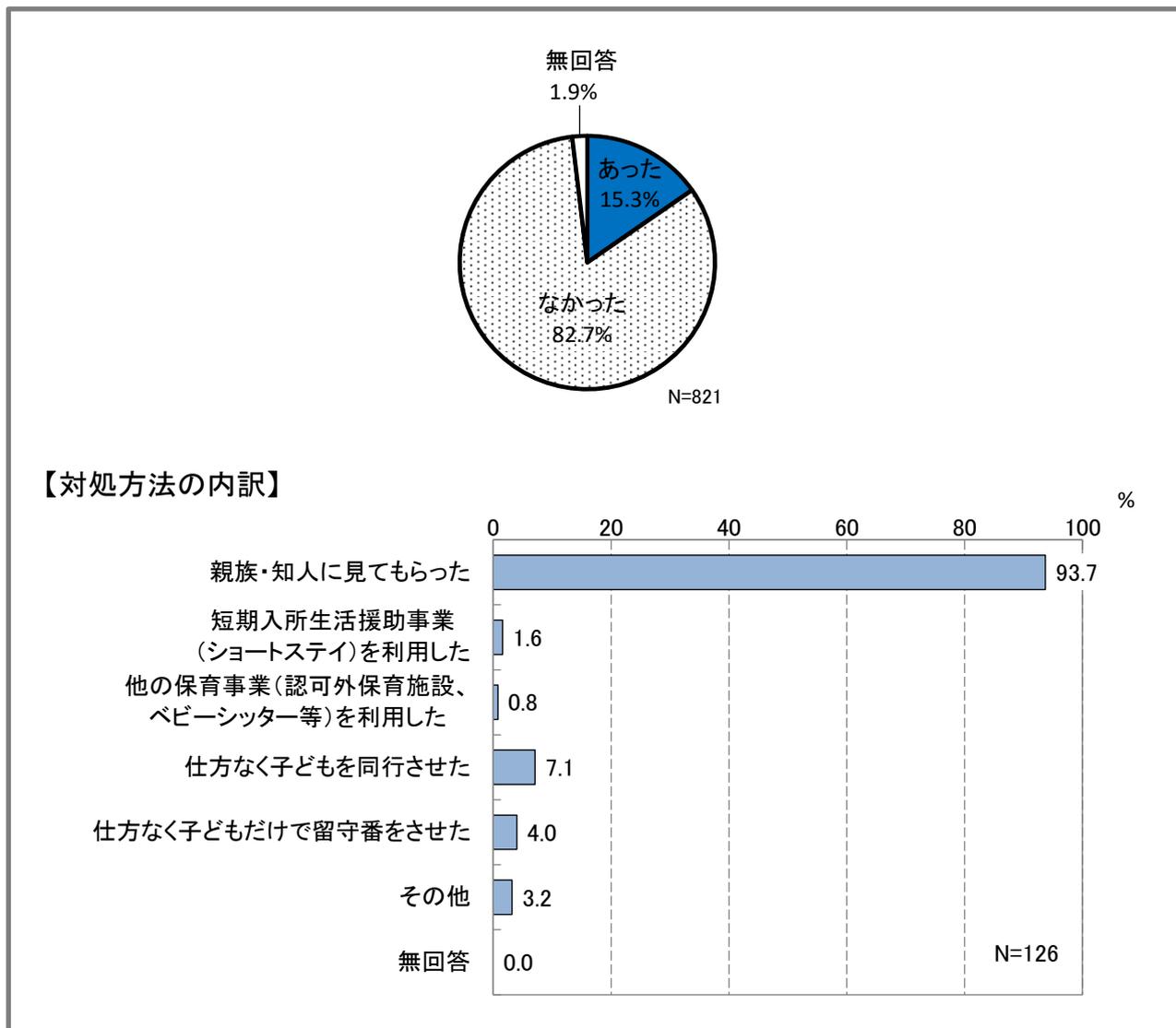
- 私用や親の通院、不特定の就労などのため、不特定に利用している事業があるかについては「利用していない」の回答割合が91.4%と最も高く、次いで「一時預かり」が1.6%、「ファミリー・サポートセンター」が1.1%となっている。

問14 宛名のお子さんについて、私用（冠婚葬祭、リフレッシュなど）、親の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけてください。



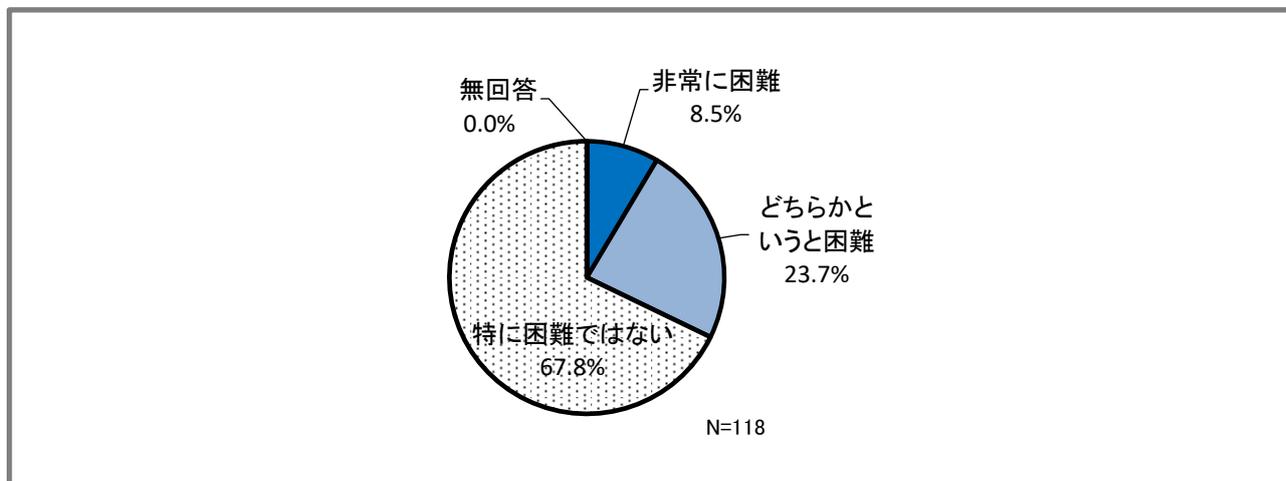
- 私用や親の通院、不定期の就労などのため、一時預かりなどの事業を利用する必要があるかどうかについては「利用する必要はない」が81.0%、「利用したい」が14.6%となっている。
- 利用目的としては「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院など」の回答割合が60.8%と最も高く、次いで「私用、リフレッシュ目的」が54.2%、「不定期の就労」が29.2%となっている。

問15 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外に見てもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。



- この1年間に、保護者の用事などにより、対象の子どもを泊まりがけで家族以外に見てもらわなければならないことがあったかについては「なかった」が82.7%、「あった」が15.3%となっている。
- 対処方法の内訳としては、「親族・知人に見てもらった」の回答割合が93.7%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が7.1%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が4.0%となっている。

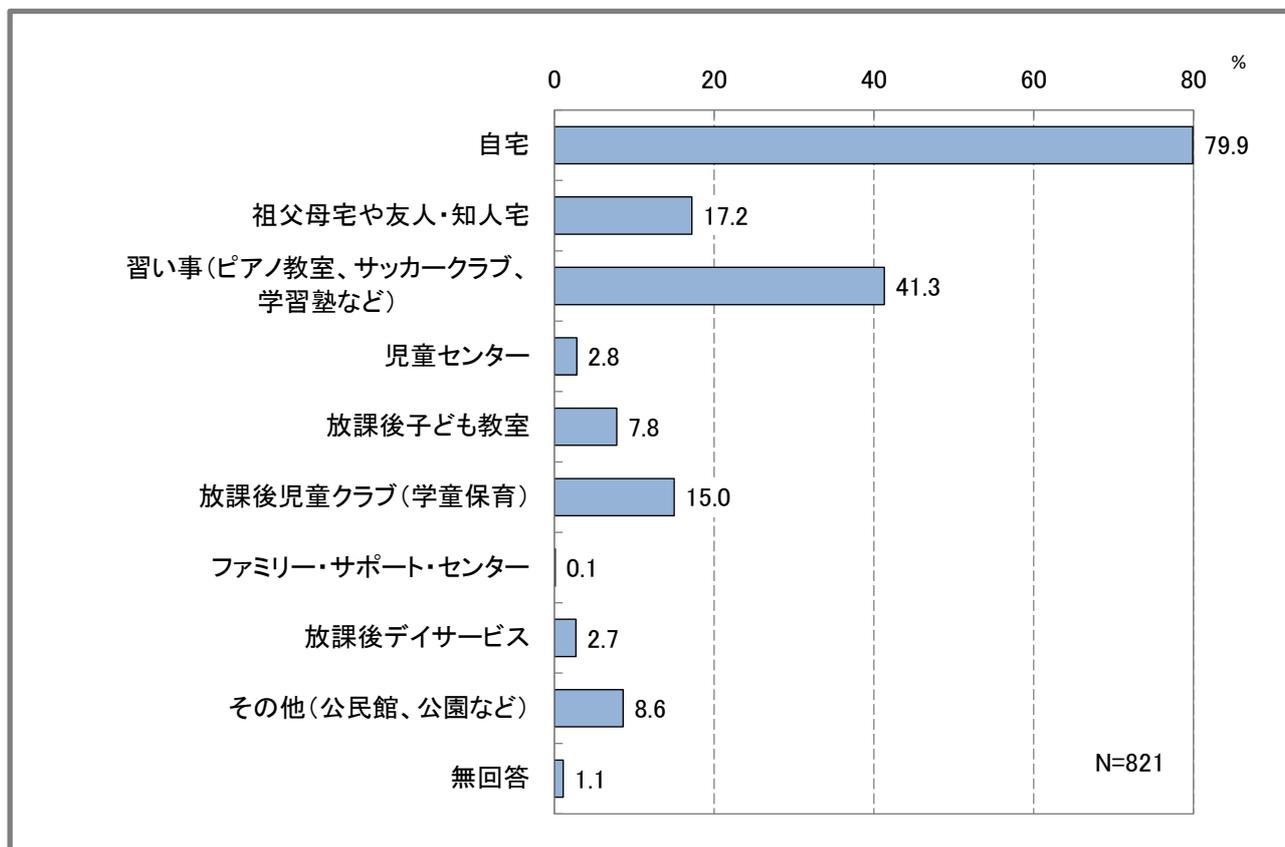
問15-1 問15で「1. あったア.(同居者を含む)親族・知人に見てもらった」と答え
た方にうかがいます。その場合の困難度（頼むことが簡単にできたか）はどの
程度でしたか。（1つだけ○）



- 前問で、「親族・知人に見てもらった」と回答した方で、その際の困難度については「特に困難ではない」の回答割合が67.8%と最も高く、次いで「どちらかという困難」が23.7%、「非常に困難」が8.5%となっている。

8. 放課後の過ごし方について

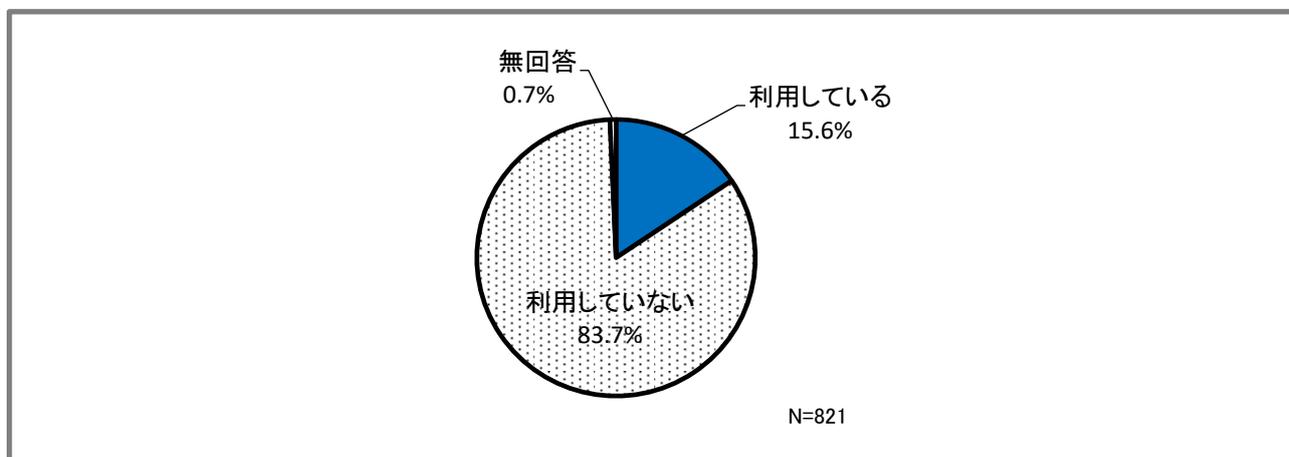
問16 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか（過ごさせたいと思いますか）。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



- 放課後の過ごし方については「自宅」の回答割合が79.9%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が41.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」が17.2%となっている。

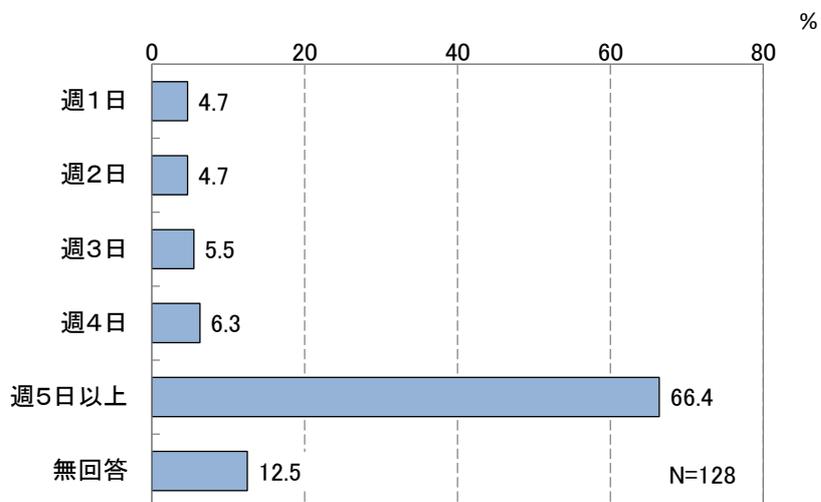
9. 放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用について

問17 宛名のお子さんについて、現在、放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用していますか。（〇は1つだけ）

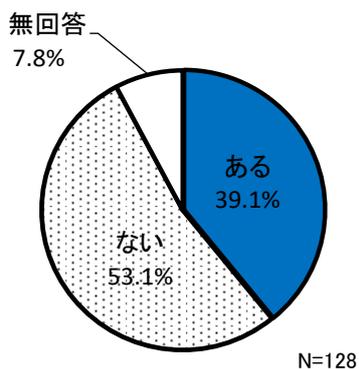


- 現在、放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用しているかについては「利用していない」が83.7%、「利用している」が15.6%となっている。

問17-1 問17で「1. 利用している」と答えた方にうかがいます。
放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用日数はどれくらいですか。（数字で記入）

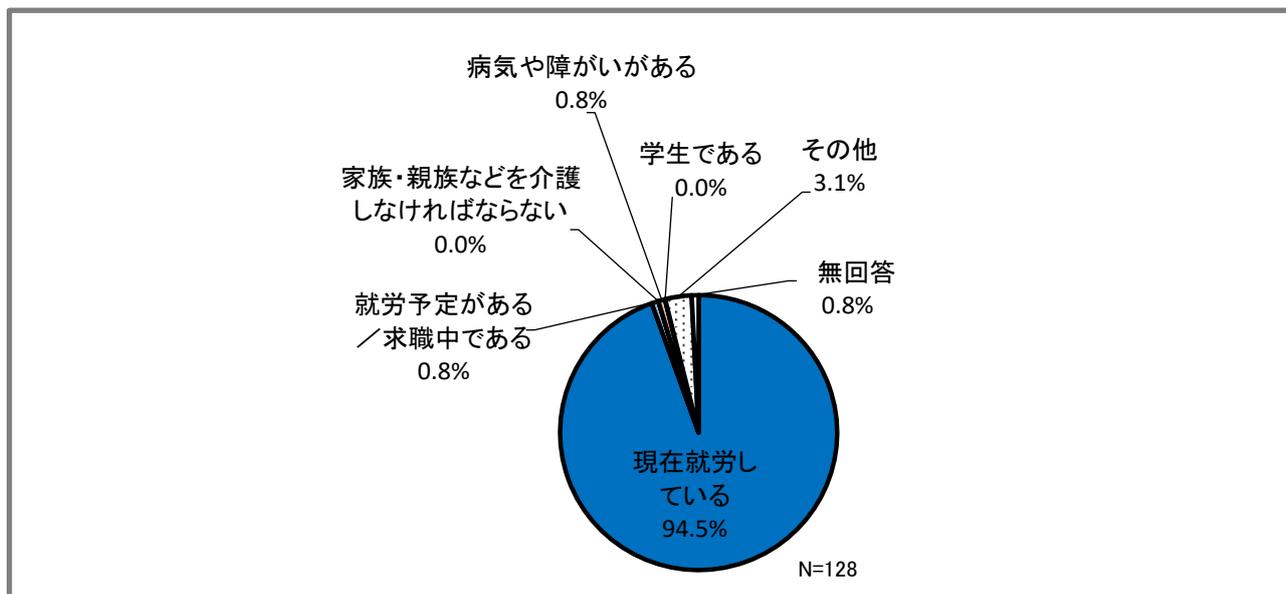


【うち土曜日の利用】



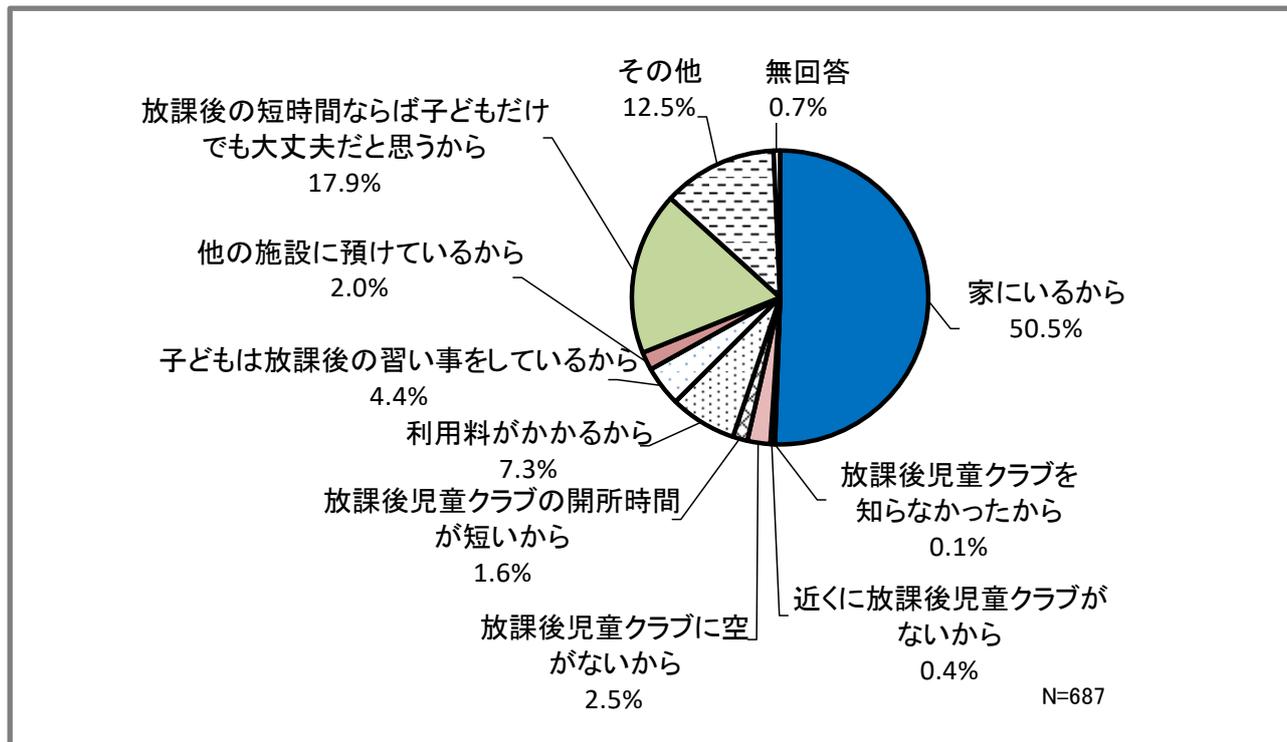
- 前問で、「利用している」と回答した人の利用日数については「週5日以上」の回答割合が66.4%と最も高く、次いで「週4日」が6.3%、「週3日」が5.5%となっている。
- 土曜日の利用については「ない」が53.1%、「ある」が39.1%となっている。

問17-2 放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用していらっしゃる理由は何ですか。(〇は1つだけ)



- 放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用している人の理由については「(お子さんの身の回りの世話を主にしている人が) 現在就労している」の回答割合が94.5%と最も高く、次いで「就労予定がある／求職中である」と、「病気や障がいがある」がともに0.8%となっている。

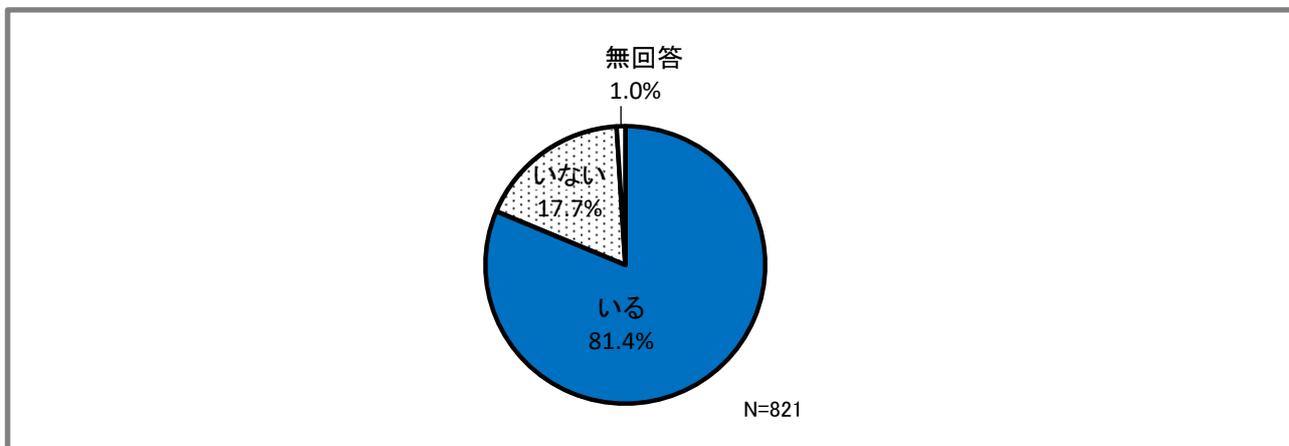
問17-3 問17で「2. 利用していない」と答えた方にうかがいます。
利用していない理由は何ですか。（○は1つだけ）



- 問17で「利用していない」と回答した人の理由については「(お子さんの身の回りの世話を主にしている人が) 家にいるから」の回答割合が50.5%と最も高く、次いで「放課後の短時間ならば子どもだけでも大丈夫だと思うから」が17.9%、「利用料がかかるから」が7.3%となっている。

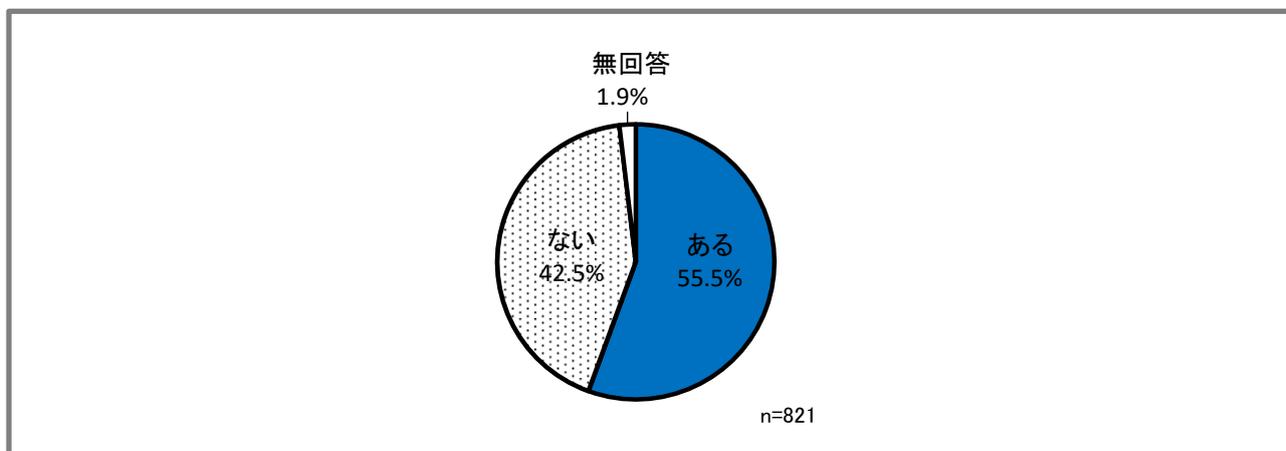
10. 宛名のお子さんの遊びや地域活動について

問18 近所にお子さんの遊び相手はいますか。(1つだけ○)



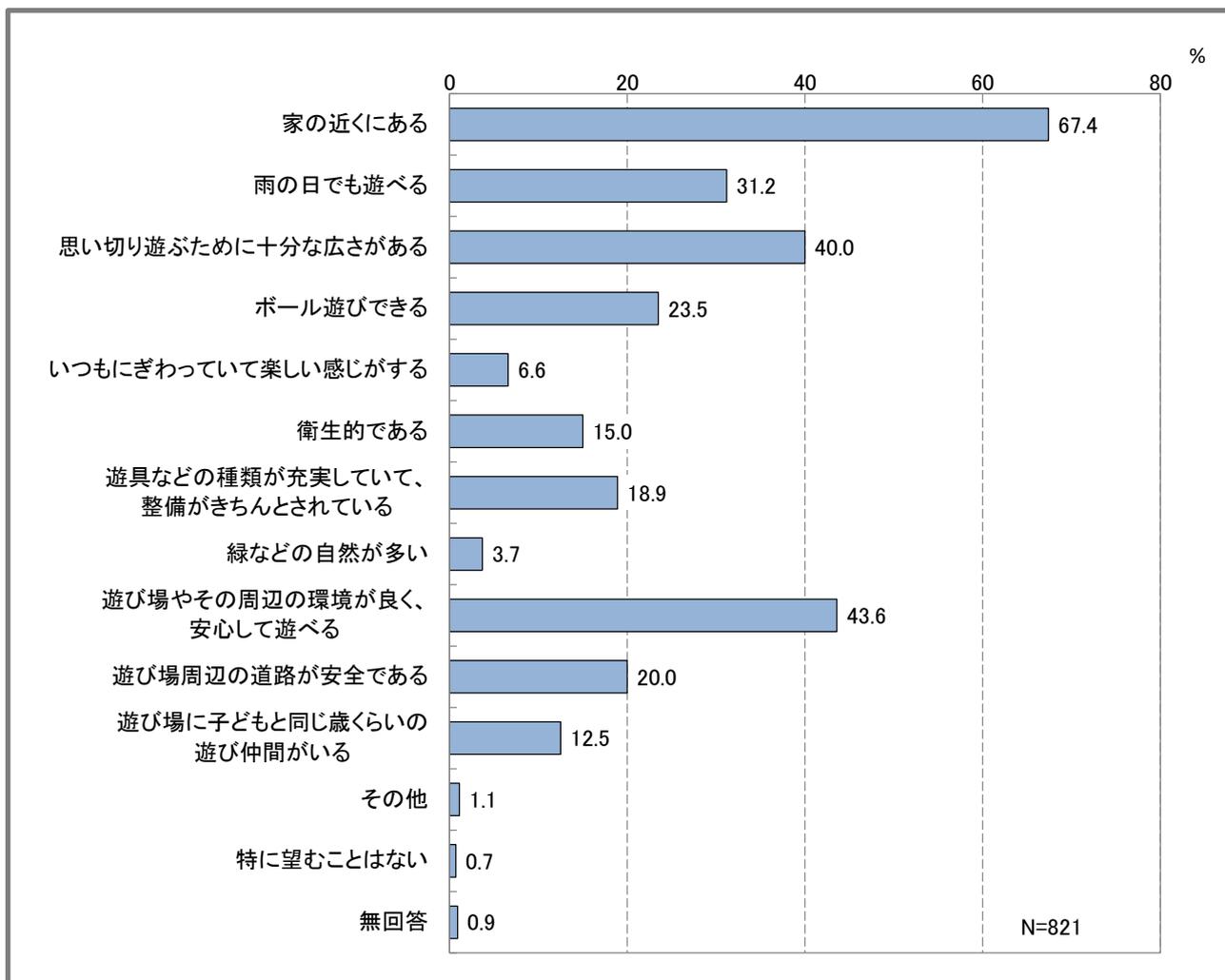
- 近所にお子さんの遊び相手がいるかについては「いる」が81.4%、「いない」が17.7%となっている。

問19 近くに安心して遊べる場所がありますか。(1つだけ○)



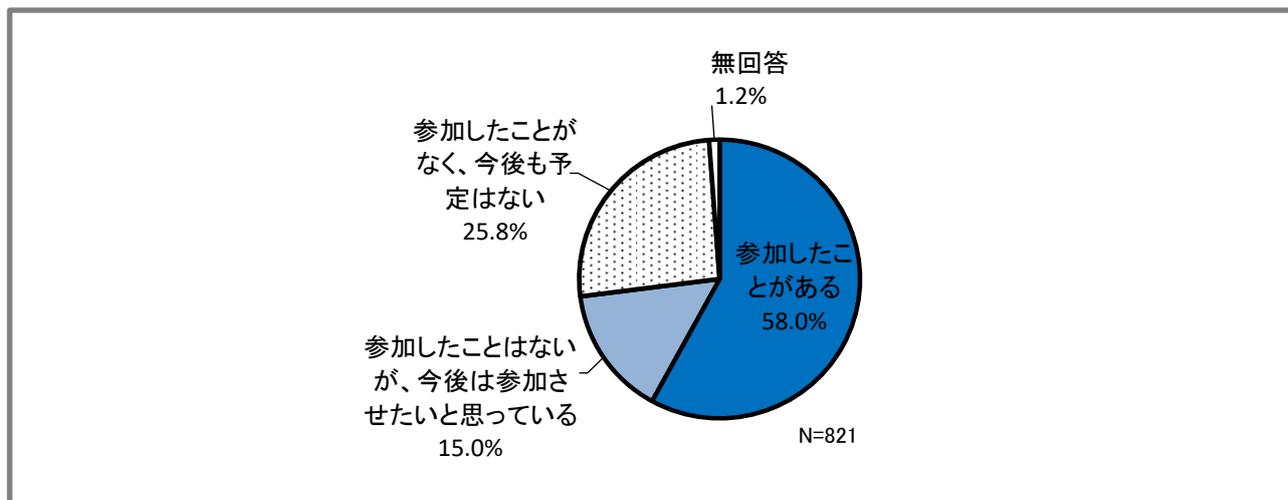
- 近くに安心して遊べる場所があるかについては「ある」が55.5%、「ない」が42.5%となっている。

問20 どのような遊び場を望みますか。（〇は3つまで）



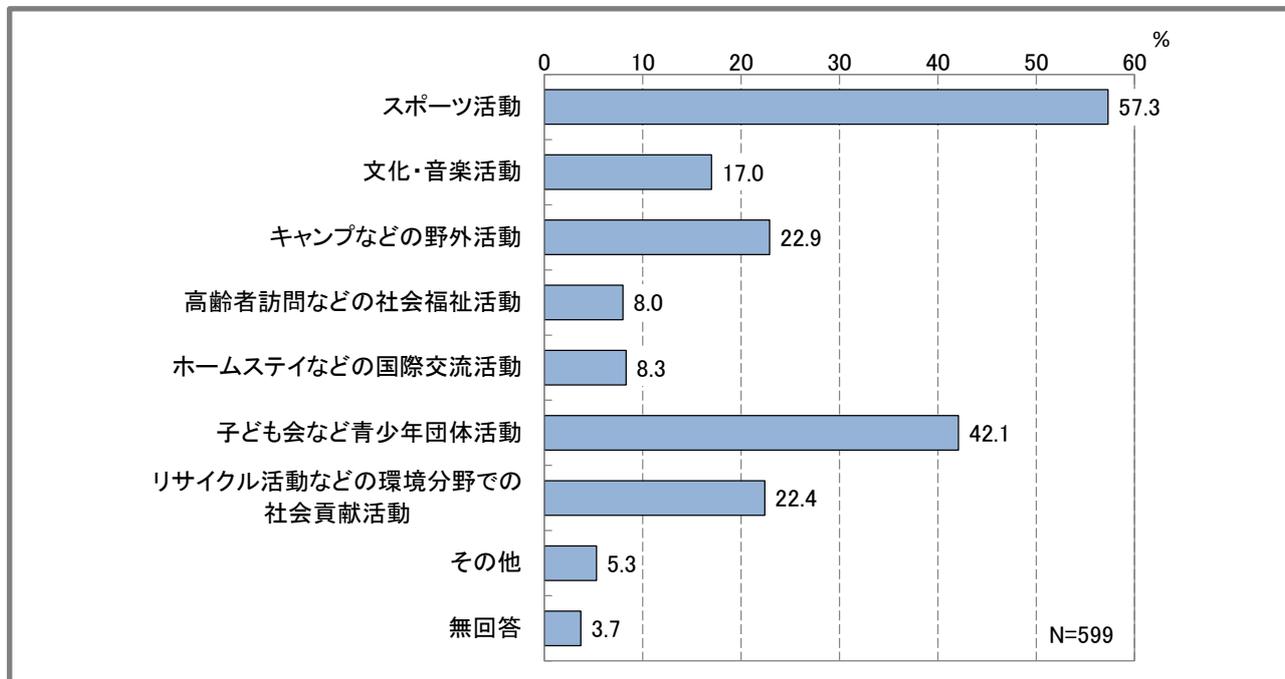
- どのような遊び場所を望むかについては「家の近くにある」の回答割合が67.4%と最も高く、次いで「遊び場やその周辺の環境が良く、安心して遊べる」が43.6%、「思い切り遊ぶために十分な広さがある」が40.0%となっている。

問21 宛名のお子さんは地域活動やグループ活動などに参加されたことがありますか。
（1つだけ○）



- お子さんが地域活動やグループ活動などに参加されたことがあるかについては「参加したことがある」が58.0%と最も高く、次いで「参加したことがなく、今後も予定はない」が25.8%、「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」が15.0%となっている。

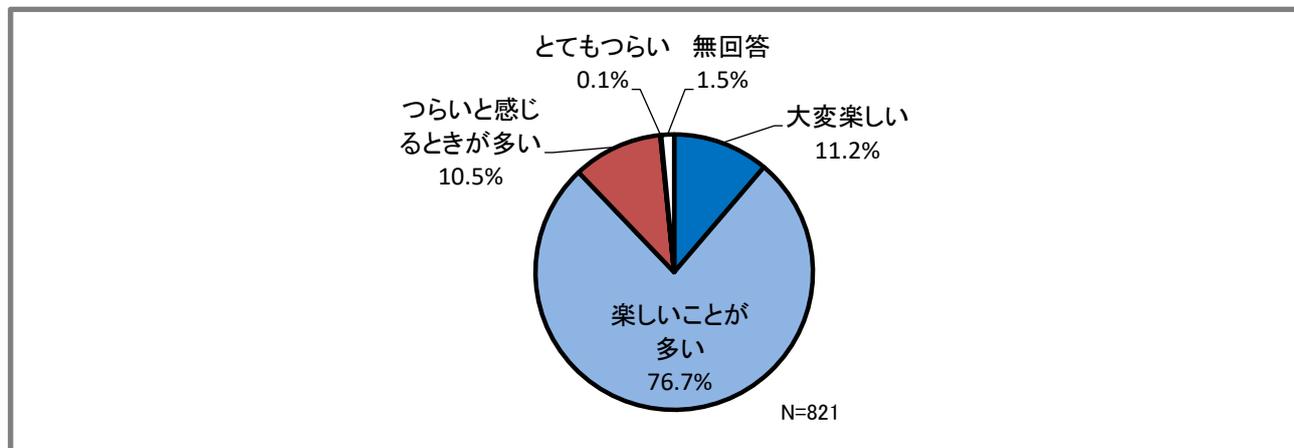
問22 問21で「1. 参加したことがある」または「2. 参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」を選んだ方におたずねします。お子さんが参加したことがある、または今後参加させたい地域活動やグループ活動の種類は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



- 前問で、「参加したことがある」または「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」と回答した人の活動の種類については「スポーツ活動」が57.3%と最も高く、次いで、「子ども会など青少年団体活動」が42.1%、「キャンプなどの野外活動」が22.9%となっている。

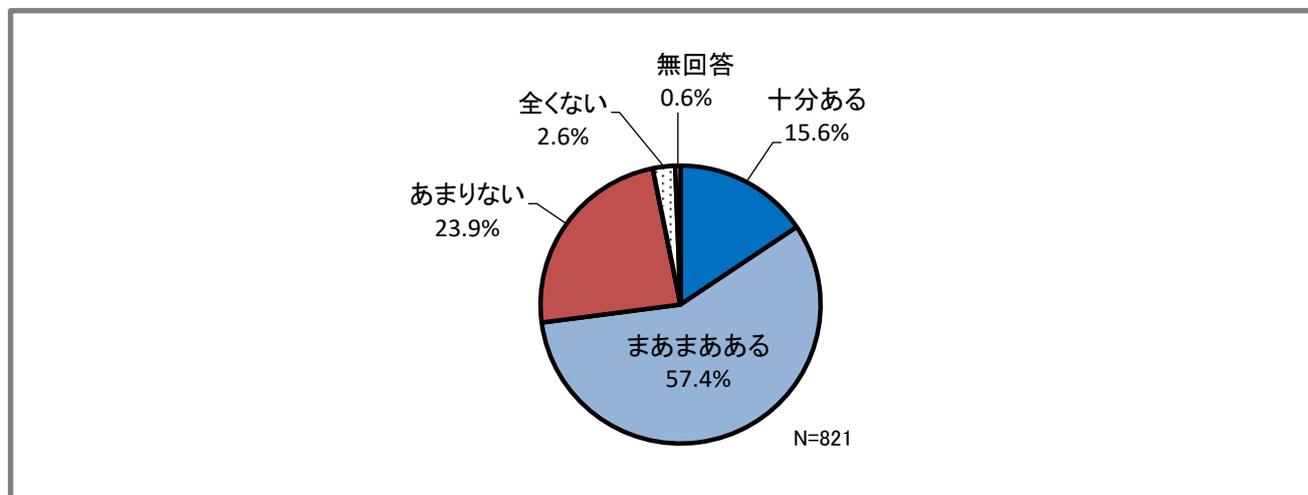
1.1. 宛名のお子さんにかかわらず、子育て全般について

問23 あなたは、子育てをどのように思いますか。（1つだけ○）



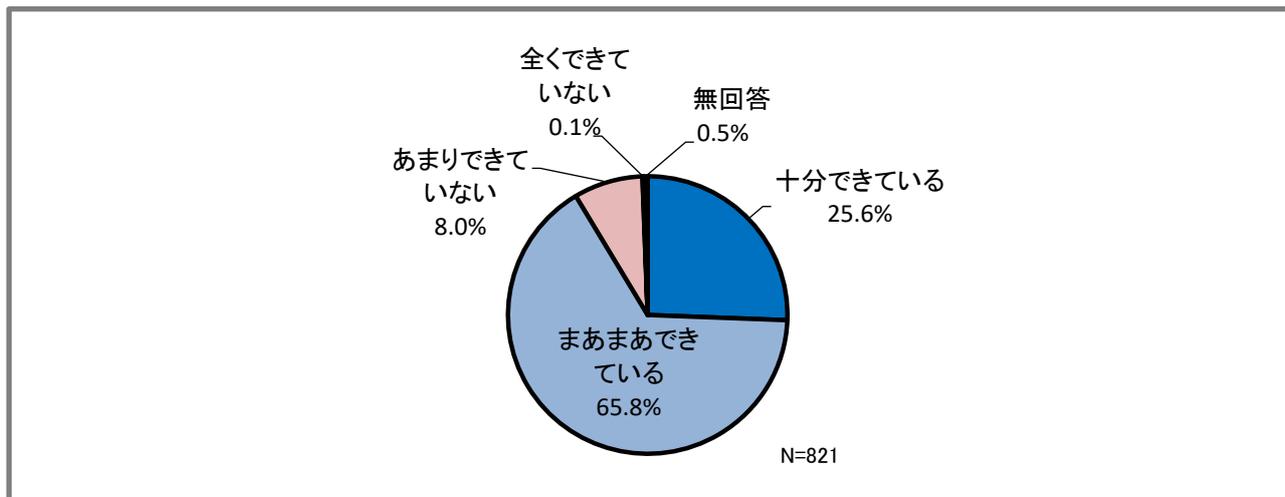
- 子育てをどのように思うかについては「楽しいことが多い」の回答割合が76.7%と最も高く、次いで「大変楽しい」が11.2%、「つらいと感じるときが多い」が10.5%となっている。

問24 ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がありますか。（1つだけ○）



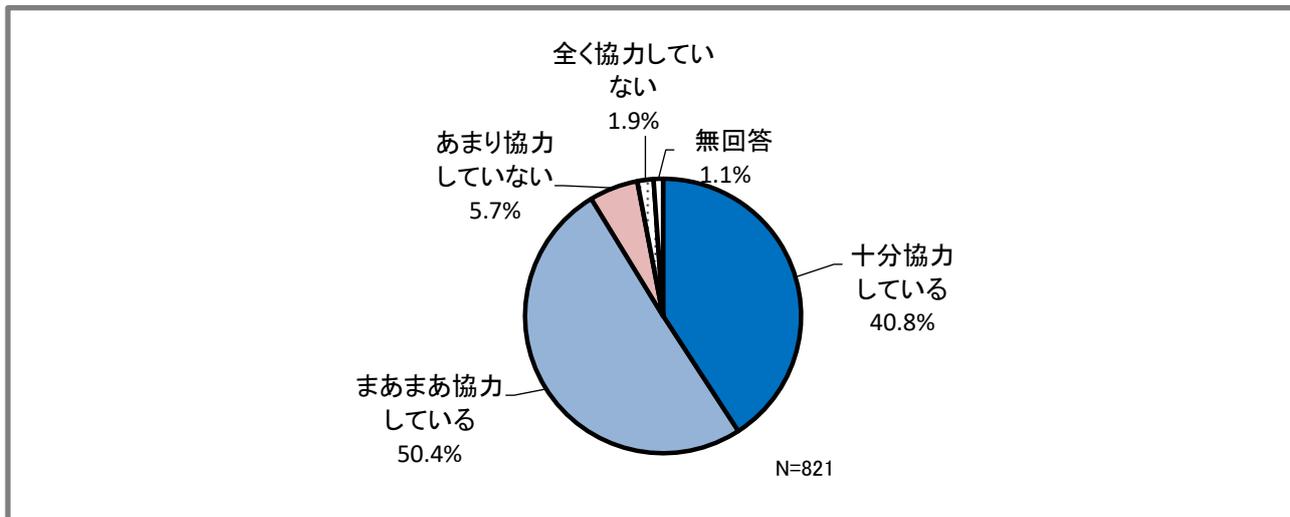
- ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間があるかについては、「まあまあある」が57.4%と最も高く、ついで「あまりない」が23.9%、「十分ある」が15.6%となっている。

問25 ふだん家族の間でコミュニケーションができていますか。（1つだけ○）



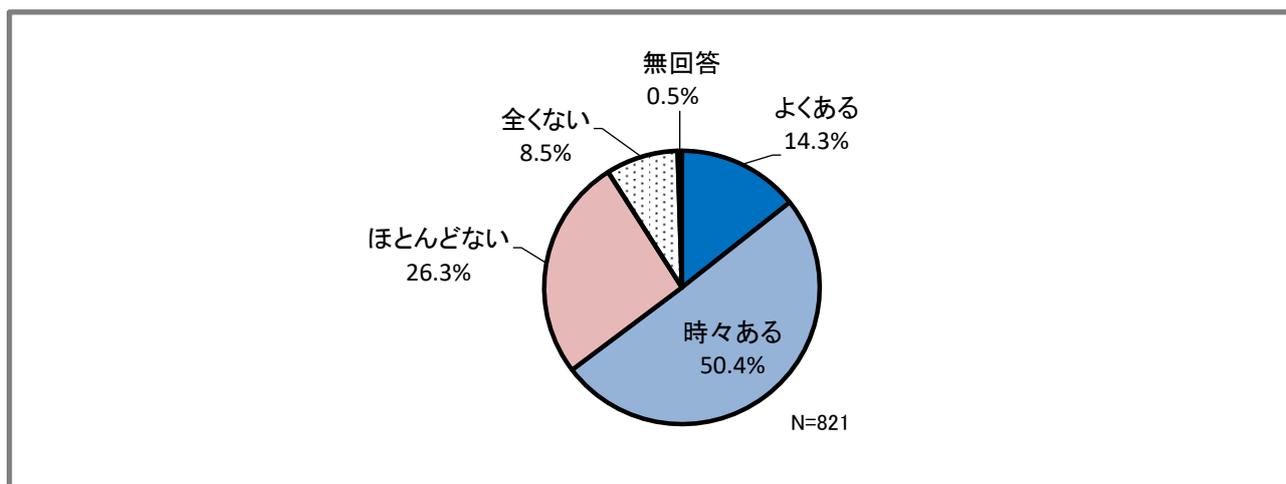
- ふだんの家族の間のコミュニケーションについては「まあまあできている」の回答割合が65.8%と最も高く、次いで「十分できている」が25.6%、「あまりできていない」が8.0%となっている。

問26 家族で協力して子育てをしていますか。（1つだけ○）



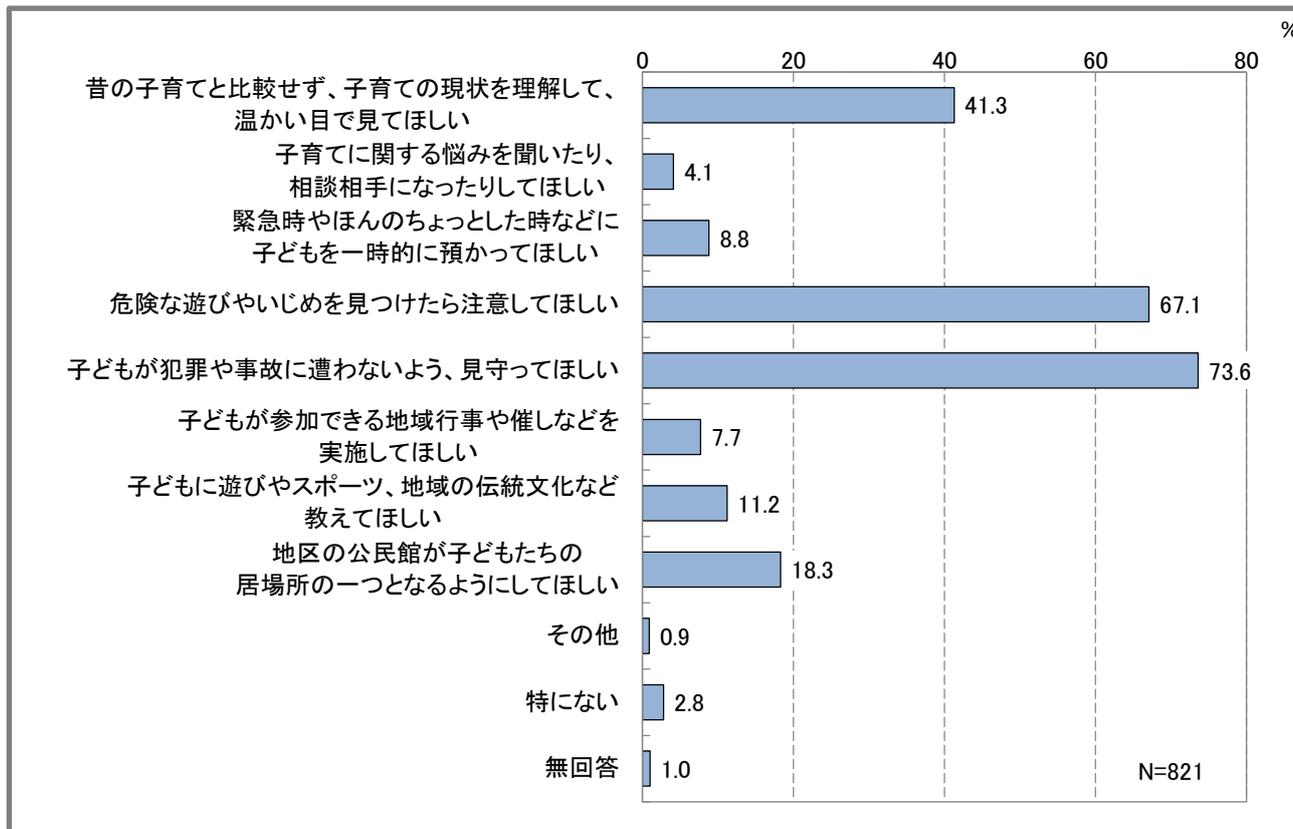
- 家族で協力して子育てをしているかについては「まあまあ協力している」が50.4%と最も高く、次いで「十分協力している」が40.8%、「あまり協力していない」が5.7%となっている。

問27 地域の人から子どものことで声をかけてもらうことがありますか。（1つだけ○）



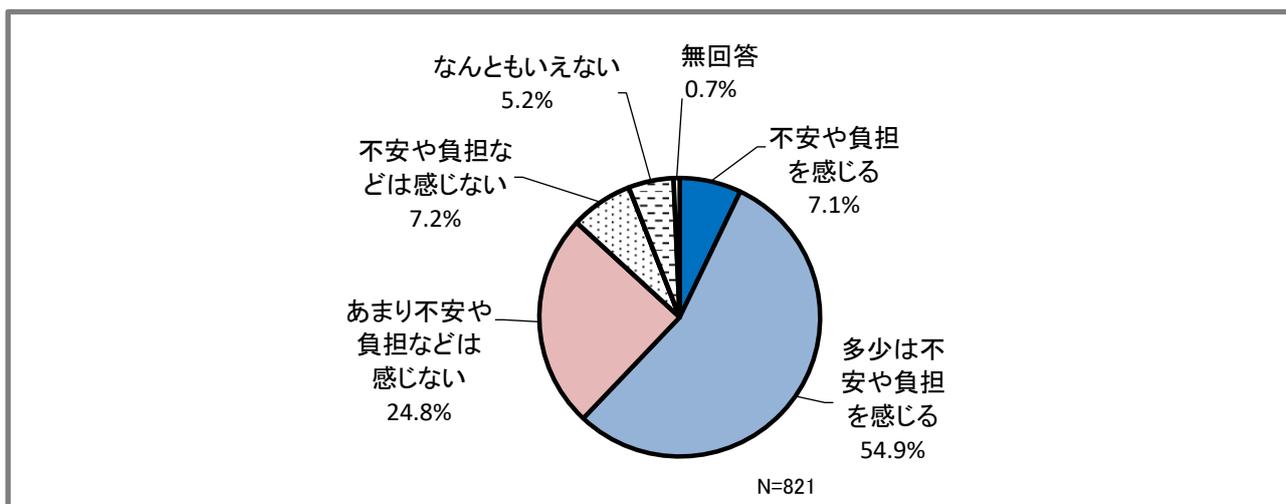
- 地域の人から子供のことで声をかけてもらうことがあるかについては「時々ある」の50.4%が最も高く、次いで「ほとんどない」が26.3%、「よくある」が14.3%となっている。

問28 子育て支援として、身近な地域の人にどのようなことを期待しますか。（〇は3つまで）



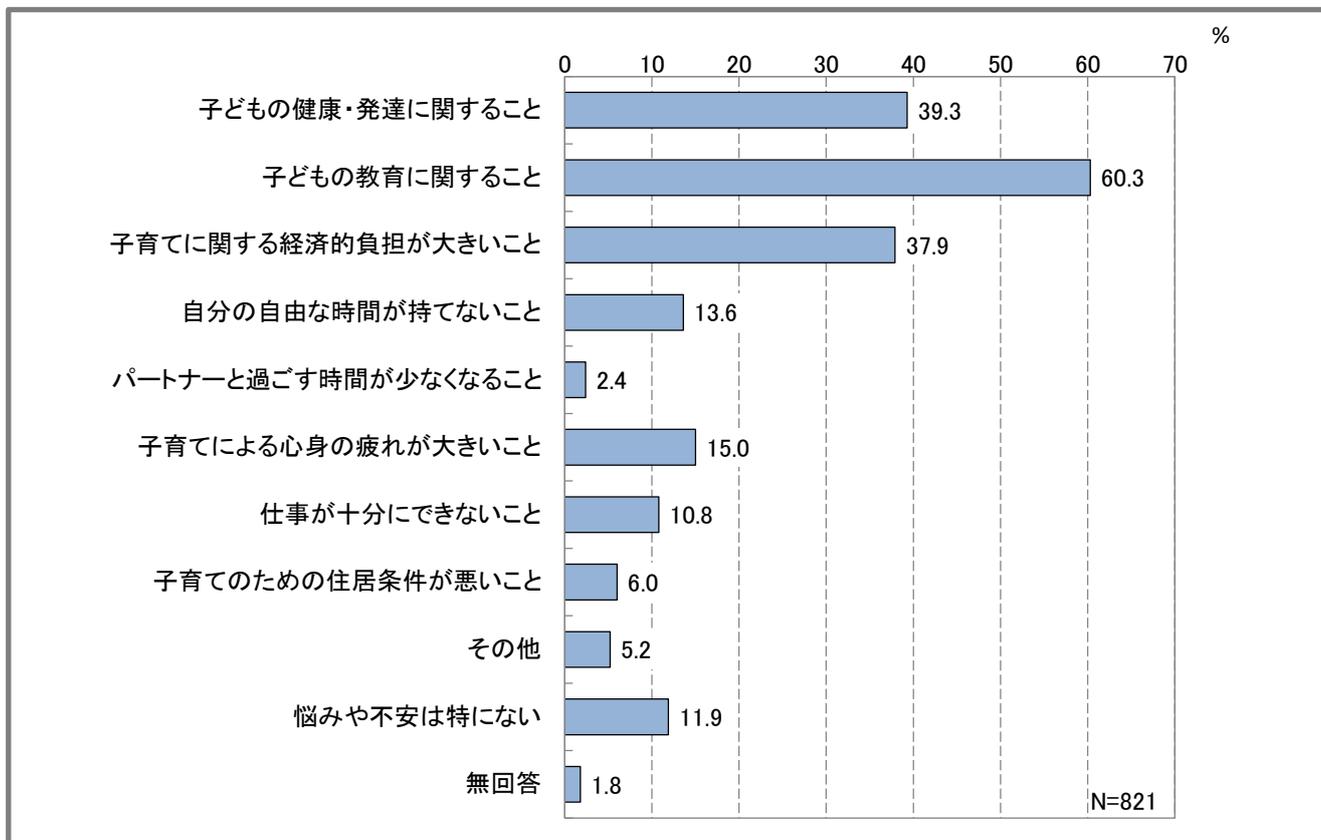
- 子育て支援として、身近な地域の人にどのようなことを期待するかについては「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」の回答割合が73.6%と最も高く、次いで「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が67.1%、「昔の子育てと比較せず、子育ての現状を理解して、温かい目で見たい」が41.3%となっている。

問29 子育てに不安や負担を感じることがありますか。（1つだけ○）



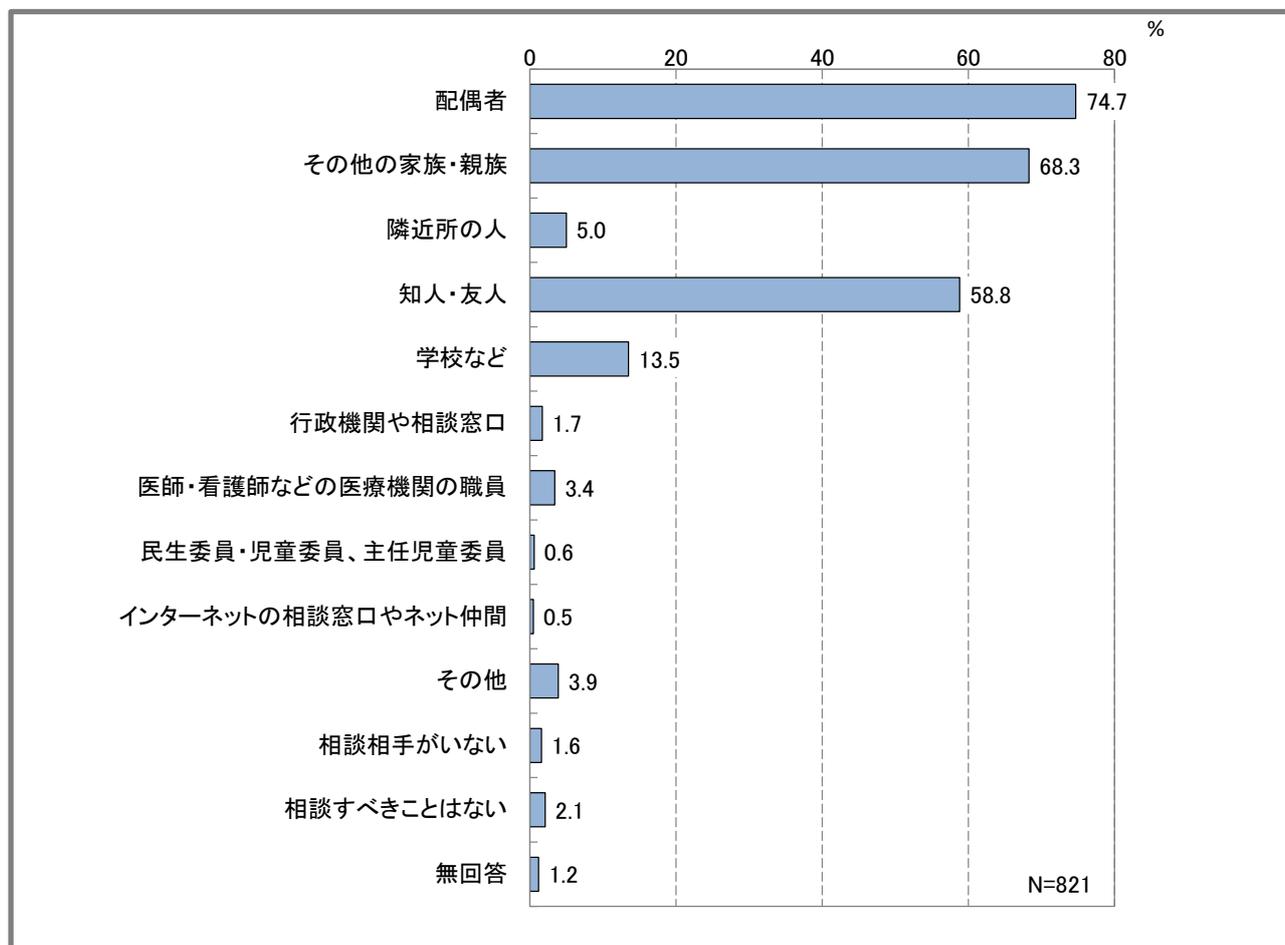
- 子育てに対する不安や負担については「多少は不安や負担を感じる」が54.9%と最も高く、「あまり不安や負担などは感じない」が24.8%、「不安や負担などは感じない」が7.2%となっている。

問30 子育てをする上で、どのような悩みや不安がありますか。
 （あてはまるものすべてに○）



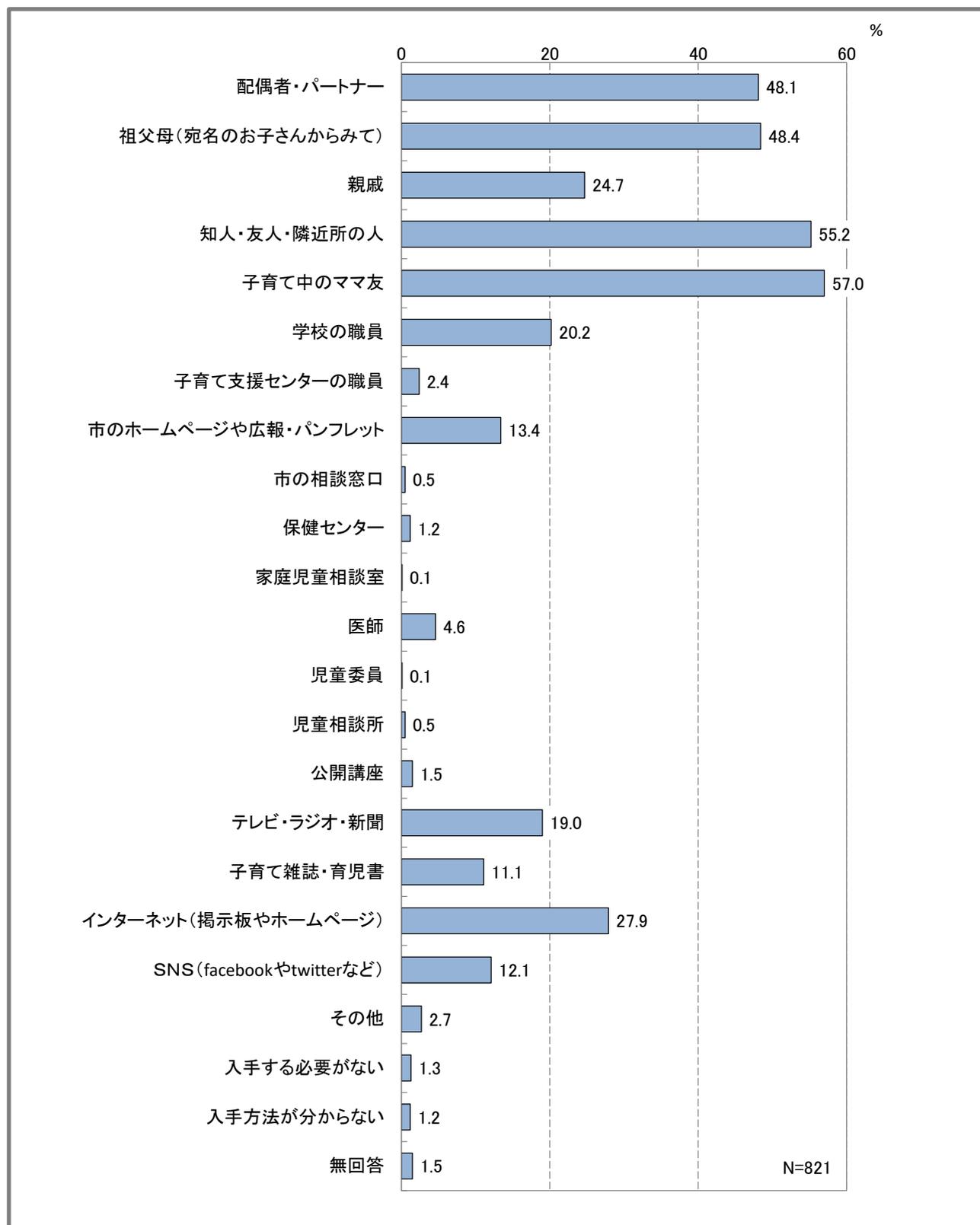
- 子育てに対する悩みや不安については「子どもの教育に関すること」の回答割合が60.3%と最も高く、次いで「子どもの健康・発達に関すること」が39.3%、「子育てに関する経済的負担が大きいこと」が37.9%となっている。

問31 子育てに関する悩みや不安や負担をどなたに相談していますか。
 （あてはまるものすべてに○）



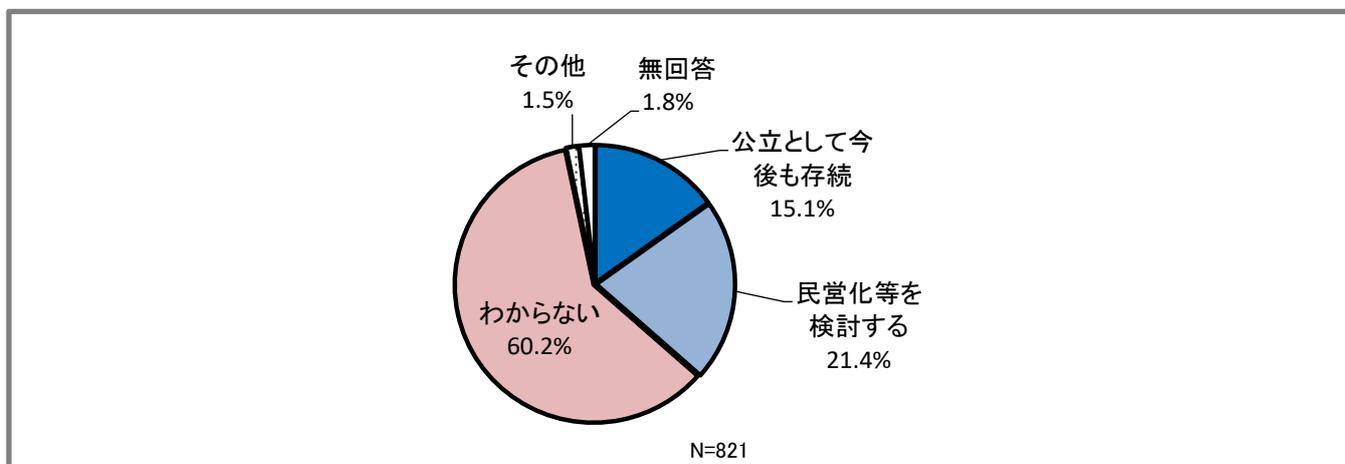
- 子育てに関する悩みや不安の相談相手としては「配偶者」の回答割合が74.7%と最も高く、次いで「その他の家族・親族」が68.3%、「知人・友人」が58.8%となっている。

問32 あなたは子育てに関する情報はどこから得ていますか。
（あてはまるものすべてに○）



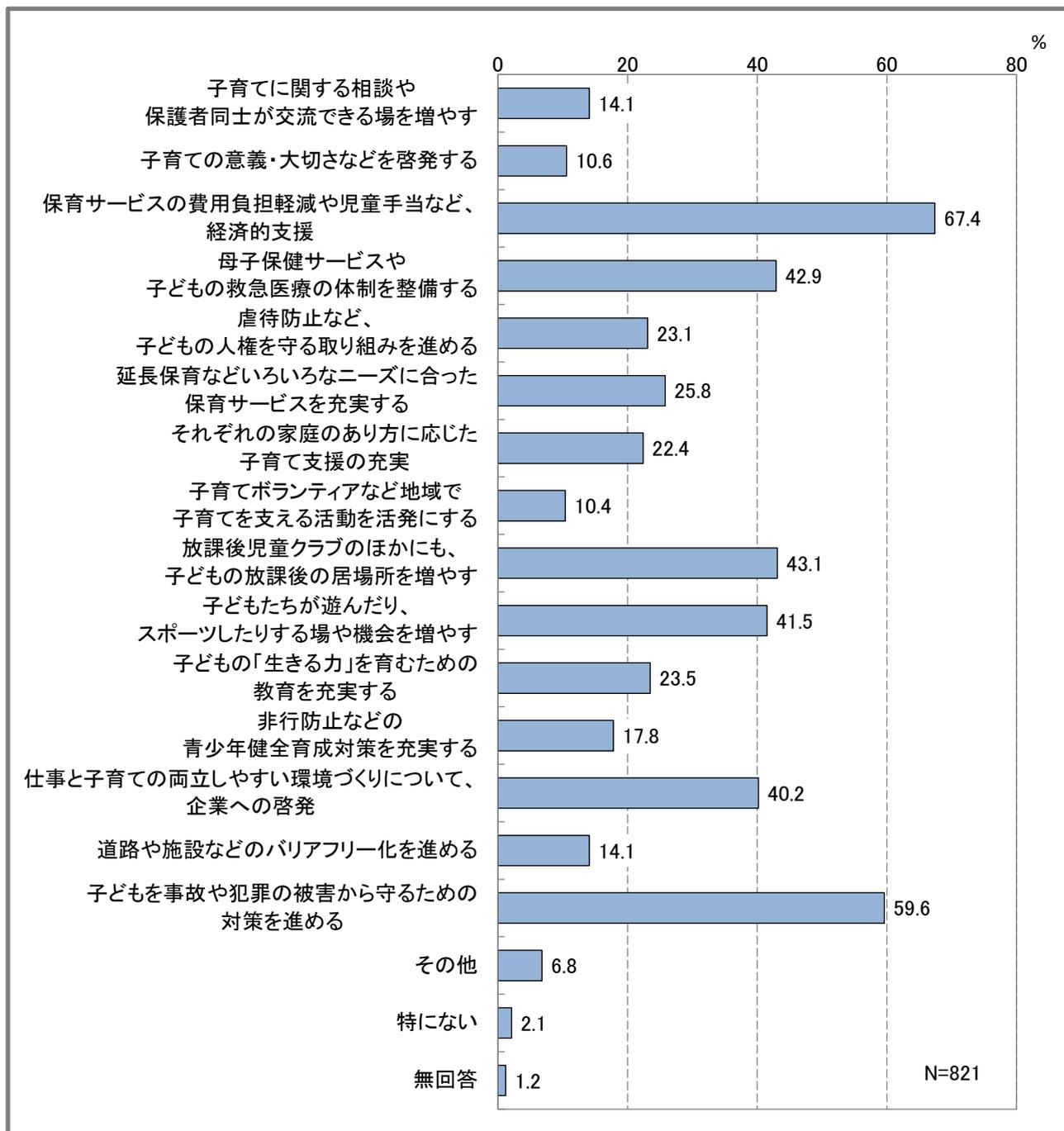
- 子育てに関する情報源については「子育て中のママ友」の57.0%が最も高く、次いで「知人・友人・隣近所の人」が55.2%、「祖父母(宛名のお子さんからみて)」が48.4%となっている。

問33 現在、荒尾市の公立保育所は荒尾市清里保育園の1園のみですが、老朽化等の問題を抱えております。今後の運営の在り方についてご意見をお聞かせください。（1つだけ○）



- 荒尾市の公立保育所に関する老朽化の問題における今後の運営の在り方については「わからない」の回答割合が60.2%と最も高く、ついで「民営化等を検討する」が21.4%、「公立として今後も存続」が15.1%となっている。

問34 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを期待しますか。
 （あてはまるものすべてに○）



- 市に充実を期待する子育て支援については「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、経済的支援」の回答割合が67.4%と最も高く、次いで「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策を進める」が59.6%「放課後児童クラブのほかにも、子どもの放課後の居場所を増やす」が43.1%となっている。

